技術基準適合認定品

取扱説明書

NTTFAX T-340

このたびは、NTTFAX T-340をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

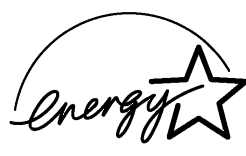
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

はじめに

**このたびは、NTTFAX T-340をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。**

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しております。

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。
●本商品の外付電話機端子は、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
●電話網と本商品のあいだに、アダプタ（ナンバー・ディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致していないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、ファクスの送受信、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
●本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対おやめください。
●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●操作ガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
●本書を紛失または損傷したときは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。
●本書に記載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本商品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー 化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならび にマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本商品は、お買い求め時には、国内の相手と通信することを前提とした設定になっています。
海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。
正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、サービス取扱所にご相談ください。

安全にお使いいただくために

本商品をご使用になるときは、必ず次の内容をお守りください。

⚠警告

発煙への対処のしかた

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

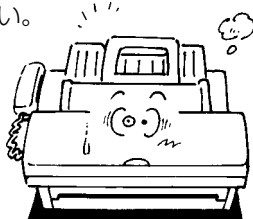
水が本商品の内部に入った場合の対処のしかた

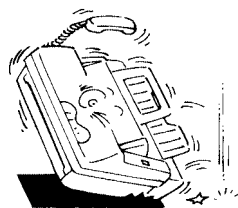
万一、内部に水などが入った場合は、まず本商品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

分解や改造をしないでください

本商品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電や故障の原因となります。指定以外の内部の点検・調整・清掃修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

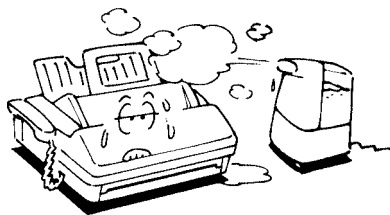
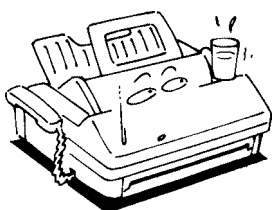
本商品の上に水、薬品を置かないでください

本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

破損時の対処のしかた

万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異物が本商品の内部に入った場合の対処のしかた

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本商品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

湿度の高い場所へ設置しないでください

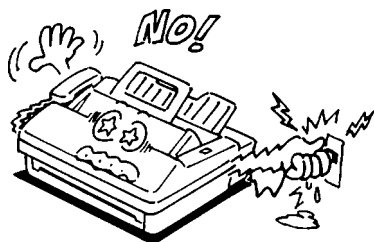
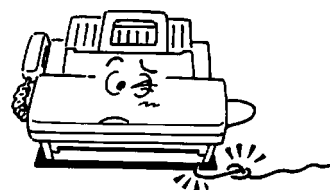
ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

アース線を取り付けてください

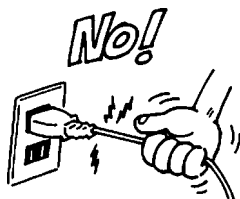
万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

○アース線が取り付けられるところは次の部分です。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 接地工事（第3種）が行われている接地端子

○次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
- ガス管
- 電話専用アース線
- 避雷針
- 水道管や蛇口

⚠警告

ぬれた手で操作しないでください

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

プラグの取扱に注意してください

電源プラグは接触不良がないように確実に差し込んでください。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

国内でのみ使用してください

本商品は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

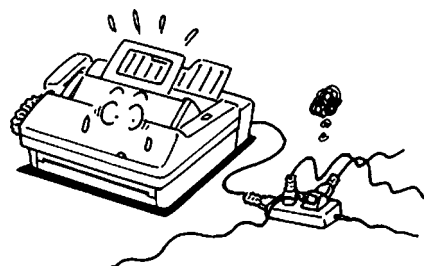
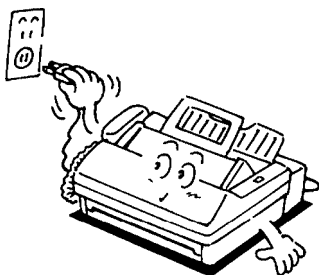
商用電源以外の使用をしないでください

交流100V、50Hzまたは60Hzの家庭用電源コンセントにつないでご使用ください。本商品は国内用ですので海外ではご使用になれません。

電源コードの取扱に注意してください

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

タコ足配線をしないでください

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

電源プラグを定期的に点検してください

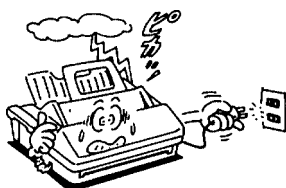
電源プラグは、埃が付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを点検してください。埃により、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

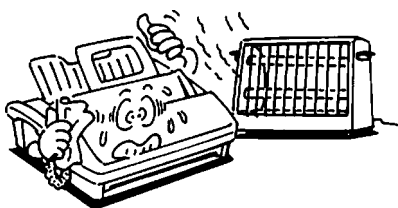
清掃時に注意してください

- 本商品の清掃にはぬれた布などは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 感電防止のため、記録部の清掃を行う場合は、通信予約やメモリに原稿が蓄積されていないことを確認して必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- 本商品の精密部品を破損しないようにご注意ください。また、本商品内部に紙片や糸クズを残さないようにしてください。火災・感電および故障の原因となります。

⚠注意

雷ではコンセントおよび電話機ひもを抜いてください

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから、電話機ひもを回線端子から抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

火気のそばへ設置しないでください

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被膜が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所へ設置しないでください

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

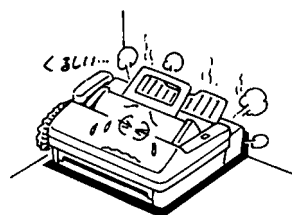
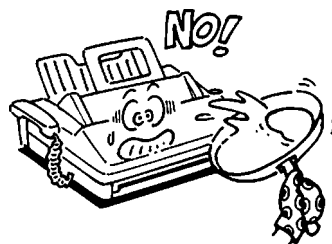
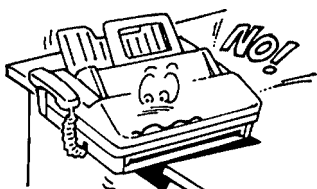
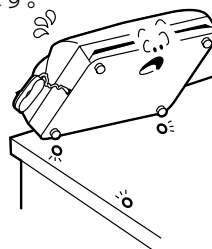
不安定な場所へ設置しないでください

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

長期不在はコンセントから抜いてください

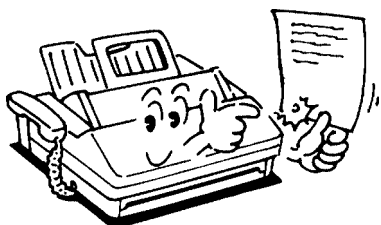
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

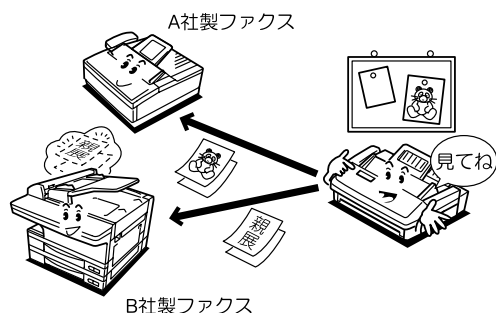
通風孔をふさがないでください

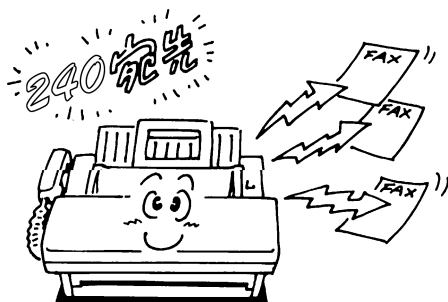
本商品の後部上面および背面には通風孔がありますので、必ず壁から20cm以上離してください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

油飛びや湯気の当たる場所へ設置しないでください

調理台のそばなど、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本商品の底面には、ゴム製とプラスチック製のすべり止めを使用していますのですべり止めとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

NTTFAX T-340の特長

詳しくは、該当するページをお読みください。

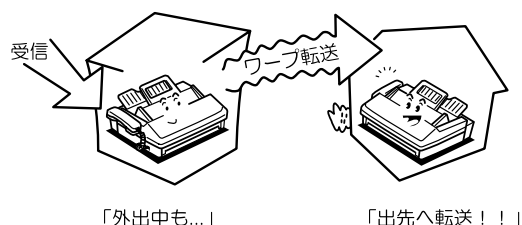
済スタンプ（38ページ）

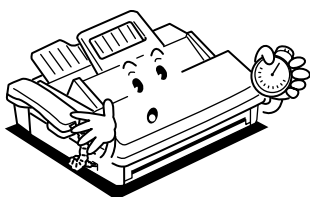
●ダイレクト送信の際は、送信済みの原稿に○印をスタンプし、送信モレや二重送信を防ぎます。メモリ送信の際には、メモリに読み込まれたことを示す読み込みスタンプとなります。

Fコード通信対応（109ページ）

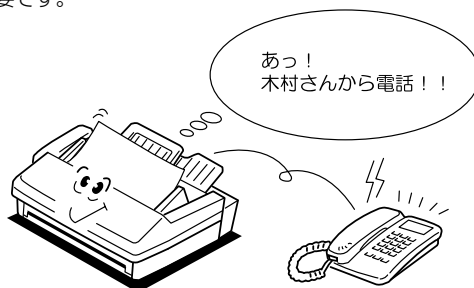
●ITU-T（国際電気通信連合電気通信標準化部門）の規格に準拠したFコード通信に対応しているので、他メーカーの対応機種間であれば、親展、掲示板機能、中継指示通信が利用できます。

同報送信（76ページ）

●ワンタッチ、短縮ダイヤル、グループ番号などを利用すると、最大240宛先までの1度の操作で送信することができます。

FAXワープ機能（91ページ）

●指定時間内に受信した原稿をあらかじめ設定した宛先に転送することができます。例えば、外出中にオフィスに送信された原稿を出先や自宅で受信できます。
また、ナンバー・ディスプレイワープ機能（124ページ）を利用すると、あらかじめ登録した相手先からのファクスを転送することもできます。

「外出中も...」　「出先へ転送！！」

スーパーG3＆JBIG

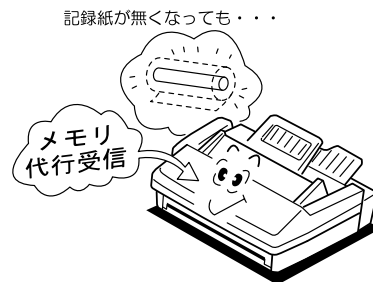
●ITU-T（国際電気通信連合電気通信標準化部門）の新規格V.34準拠の33.6Kbpsファクスモデムの搭載により、一般電話回線で超高速2秒台電送のスーパーG3通信が可能です。さらに新標準圧縮方式JBIGを採用。写真原稿も超高速で送信できます。

ナンバー・ディスプレイ対応（124ページ）

●当社のナンバー・ディスプレイを利用すると、相手先の番号がディスプレイに表示されます。またよくかかってくる相手先の名前を登録しておくと、番号の代りに名前が表示されますので、一目で確認できます。
またナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続すれば、FAXと電話機の両方で同サービスを利用することもできます。
＊ナンバー・ディスプレイをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

詳しくは、該当するページをお読みください。

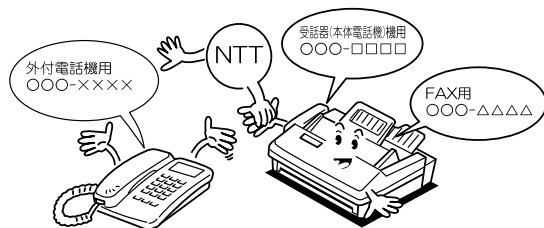
プログラムワンタッチ（150ページ）

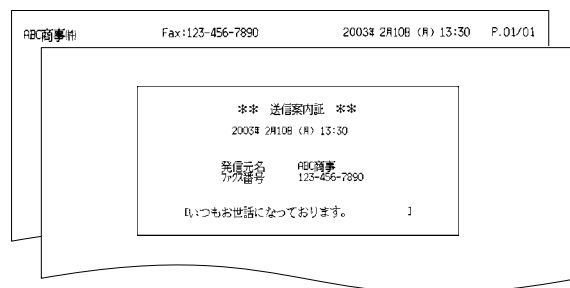
●応用機能の通信メニューを登録した後、ワンタッチで自動通信することができます。通信以外にもリストの出力や原稿蓄積などの操作もワンタッチで実行できます。

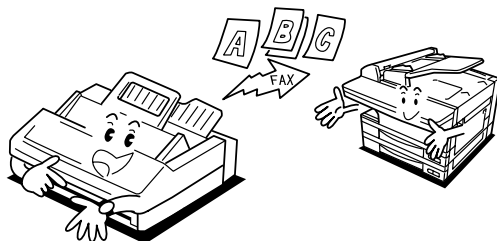
代行受信（63ページ）

●記録紙が無くなっても補給までの間、メモリが代わってファクスを受信します。（最大100通信、A4標準原稿で約255枚分蓄積できます。）新しい記録紙を補給した時点でプリントアウトするので安心です。

TEL/FAX切替&ダイヤルイン切替（60ページ）

●一本の電話回線をファクスと電話に自動切替で利用できます。相手が電話の時はベルが鳴り、ファクスの時は自動受信します。また、当社のダイヤルインをご利用になると、一本の電話回線に、受話器（本体電話機）用、外付電話機用、ファクス用と3つ別々の電話番号がつけられ、それぞれ自動切替で利用できます。

＊ダイヤルインをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

漢字入力（23ページ）

●発信元名や送信案内証のメッセージに漢字を入力できますので、見やすくなり便利です。
（第二水準一部対応）

一括送信（80ページ）

●メモリに蓄積した同じ相手先への原稿を、指定した時刻に一括して送信します。送信時間や通信コストの削減に役立ちます。

通信結果確認（137ページ）

●通信した結果を液晶ディスプレイに表示でき、簡単に確認できます。

もくじ

第3章 便利な使いかた …………………… 76

送信編

受信編

送受信編

確認編

第4章　機能のセット ……………………… 143

本書のみかた

本書で使用するキー記号

［　　　］………［　　　］内に記載された名称のボタンを示します。

例）［スタート］…スタートキーを示します。

第1章

ご使用のまえに

ご使用のまえによくお読みください。

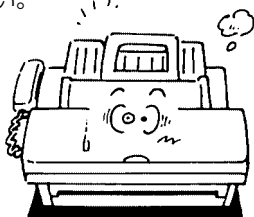
もくじ

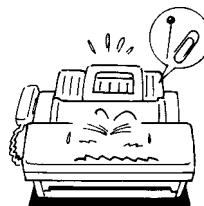
1 使用上のご注意

本商品をご使用になるときは、必ず次の内容をお守りください。

⚠警告

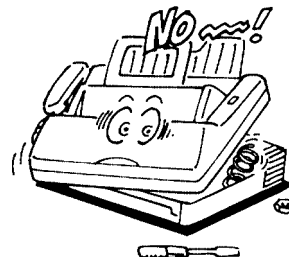
発煙への対処のしかた

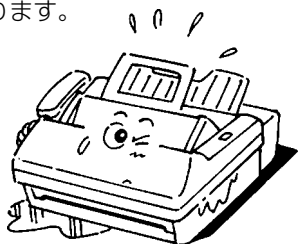
万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

異物が本商品の内部に入った場合の対処のしかた

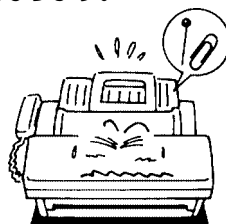
本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本商品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

改造しないでください

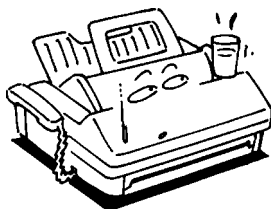
本商品を改造しないでください。火災・感電及び故障の原因となります。

分解しないでください

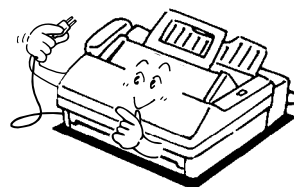
本商品を分解しないでください。感電や故障の原因となります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

水が本商品の内部に入った場合の対処のしかた

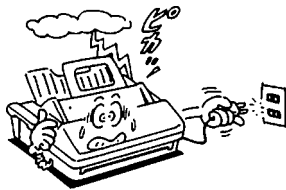
万一、内部に水などが入った場合は、まず本商品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

破損時の対処のしかた

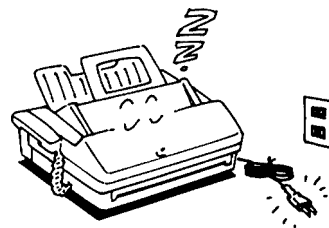
万一、本商品を落としたり、破損した場合、本商品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま、使用すると火災・感電の原因となります。

本商品の上に水、薬品を置かないでください

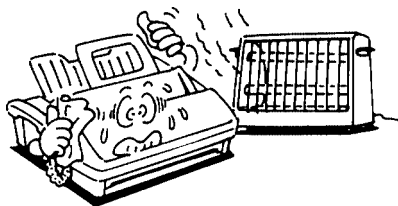
本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

電源プラグについて

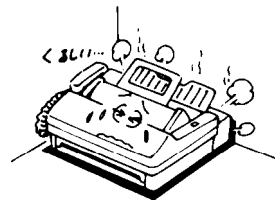
電源プラグは、埃が付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。埃により、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

雷ではコンセントおよび電話機ひもを抜いてください

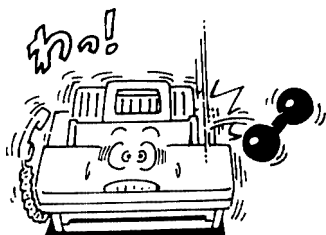
近くに、雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜き、電話機ひもを回線端子から抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

長期不在時はコンセントから抜いてください

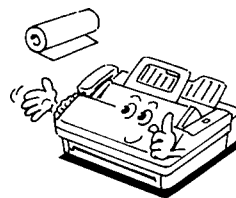
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火気のそばに設置しないでください

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被膜が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがないでください

本商品の側面および背面には通風孔がありますので、必ず壁から20cm以上離してください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

STOP お願い

落下させたり衝撃をあたえないでください

落としたり、強い衝撃をあたえないでください。（本商品の故障の原因となります。）

推奨紙を使用してください

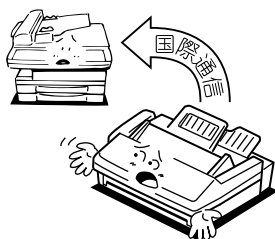
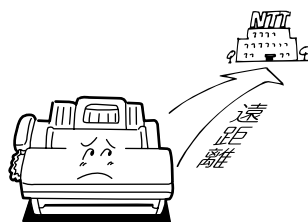
記録紙は当社推奨紙をご使用ください。推奨紙以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。また、記録紙を保管するときは、包装紙に包み、湿気が少なく直射日光のあたらないところに保管してください。

装置上に重いものを置かないでください

本商品の上に重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。本商品の故障の原因となります。

動作中に電源スイッチを切ったり、開閉部を開けたりしないでください

通信やコピー等の動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、トップカバーや原稿カバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。

お願い

本商品は、お買い求めの時には、国内の相手と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できない時は、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合がありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。

当社の支店、営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。

キャッチホンご利用の注意

キャッチホンをご契約の場合は、次の点にご注意ください。

- ファクスの送信や受信中に他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- また上記の場合、電話がかかってきたことは、こちらではわかりません。キャッチホンの異常ではありませんので、ご了承願います。
- キャッチホンⅡをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

メモリバックアップについて

停電が起きたときや電源を切った場合でも、メモリに記憶されたデータは標準仕様で約50時間バックアップされます。但し次のデータはバックアップされません。

・コピー中の原稿
・蓄積途中の原稿

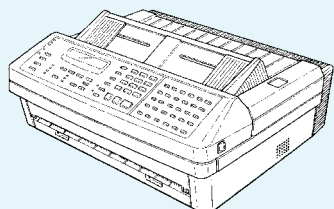
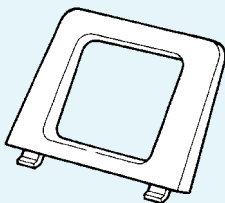
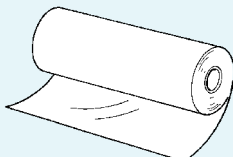
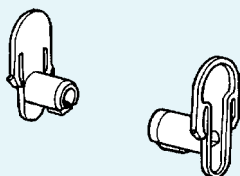
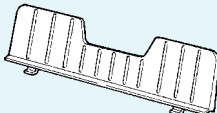
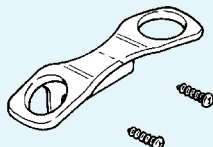
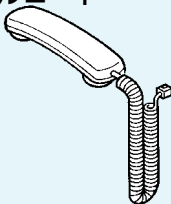
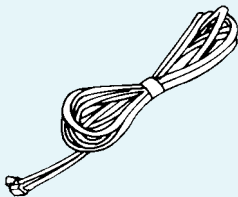
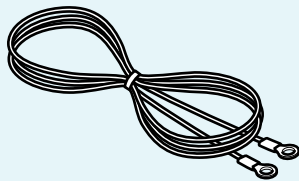
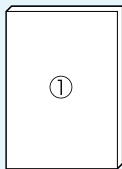
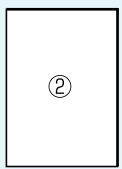
バックアップ時間はバックアップ電池の充電時間により異なります。

メモリ容量	メモリバックアップ時間
3.2 MB（標準仕様）	：約50時間

停電時や電源を切った場合に、画情報を維持するバックアップ電池の充電には、連続して24時間以上の通電が必要です。バックアップ電池は本商品に内蔵されており、電源をONすると自動的に充電されます。また、100%充放電を約40回行うと電池寿命となりますので、お客様には夜間等に電源を切っておくような使用は避けるようご注意願います。なお、画情報のバックアップ電池は電池単体での交換はできません。高価なパッケージの交換となりますので注意してください。

ワンポイント

- 停電中でも通常の電話として使用できます。ただし、受話器（本体電話機）のダイヤルボタンのみ使用できます。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルは使用できません。
- 停電がおきると、すべてのファクス機能およびコピー機能が停止します。また、ダイヤルインをご利用の場合、受話器（本体電話機）を使って電話をかけることができます。ダイヤルイン、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、停電時に電話を受けるには特別な操作を行う必要があります。（62ページ、126ページ参照）
- 停電がおきても、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、各種登録・設定、通信管理レポートの内容は消えません。

STOP お願い

コピー時の注意

●次のようなものをコピーすることは法律で禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手や官製ハガキ
- 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

●次のようなものをコピーすることは、注意が呼びかけられています。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

●著作権の対象となっている著作物は、個人的に限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。

2 本商品の構成

次のものがそろっているか、確かめてください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があったりした場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

本商品と付属品、添付品

1. 本商品	2. 原稿台	*3. 記録紙（B4 100m）
4. 記録紙ホルダー	5. 記録紙受け	6. 電話台 ネジ2本
7. 受話器（本体電話機）および カールコード	8. 電話機ひも	9. アース線

10. 取説キット(スターターキット)

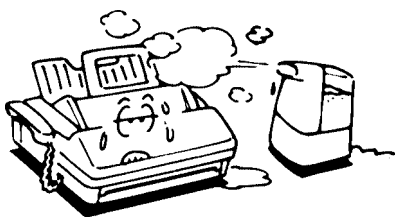
①取扱説明書：1冊
②操作ガイド：1枚
③工事説明書：1冊
④商品アンケートハガキ：1枚
⑤NTT通信機器お取扱相談センタシール：1枚
⑥保証書（外装箱に貼付）：1枚

● ＊は消耗品です。消耗品や別売品については212ページを参照願います。

3 設置時のご注意

設置工事は、担当者（工事担任者資格を有する者）におまかせください。
本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は**局番なしの116番**にご連絡いただければ、**「機器使用料」は不要**となります。
本商品の設置にあたっては、必ず次の内容をお守りください。

⚠警告

湿度の高い場所へ設置しないでください

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

アース線を取り付けてください

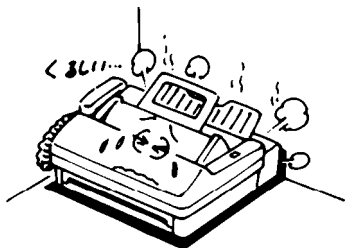
万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

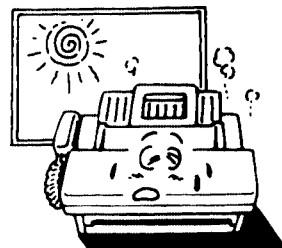
○アース線が取り付けられるところは次の部分です。
- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）が行われている接地端子

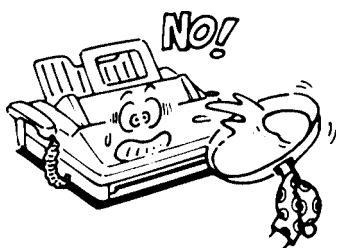
○次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
- ・ガス管
- ・電話専用アース線
- ・避雷針
- ・水道管や蛇口

⚠注意

通風孔をふさがないでください

本商品の後部上面および背面には通風孔がありますので、必ず壁から20cm以上離してください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

温度の高い場所へ設置しないでください

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

油飛びや湯気の当たる場所へ設置しないでください

調理台のそばなど、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所へ設置しないでください

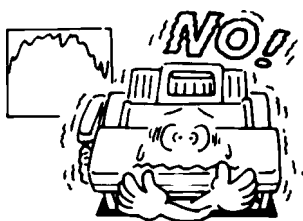
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

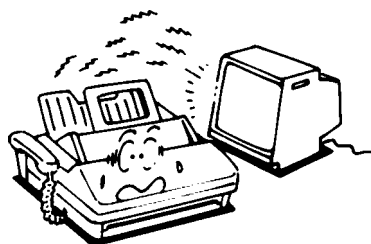
STOP お願い

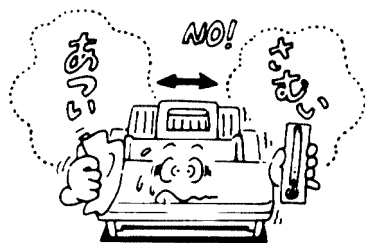
設置禁止場所

本商品を正常にまた安全に使用していただくために、次のような場所への設置は避けてください。

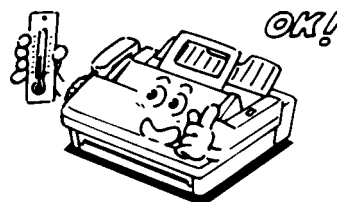
低温環境へ設置しないでください

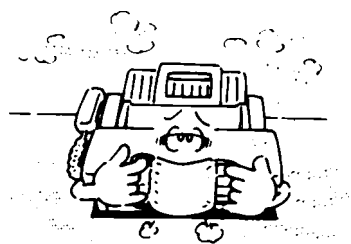
製氷倉庫など特に温度が下がるところなど、低温環境では本商品が正常に動作しないことがあります。

磁気が発生する場所へ設置しないでください

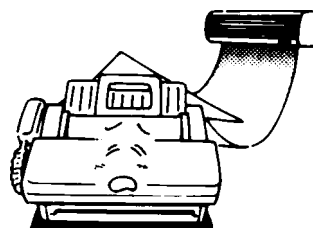
テレビ、ラジオ、こたつの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところなどでは、本商品が正常に動作しないことがあります。

温度が急激に変化する場所へ設置しないでください

冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、部分的に写らないプリントが発生する原因となります。

高温、多湿、低温の場所へ設置しないでください

いつも良い条件でお使いいただける環境は次のとおりです。

温度　5～35 ℃
湿度 10～80 %
＊高温多湿、低温低湿環境を除く

ほこりや振動が多い場所へ設置しないでください

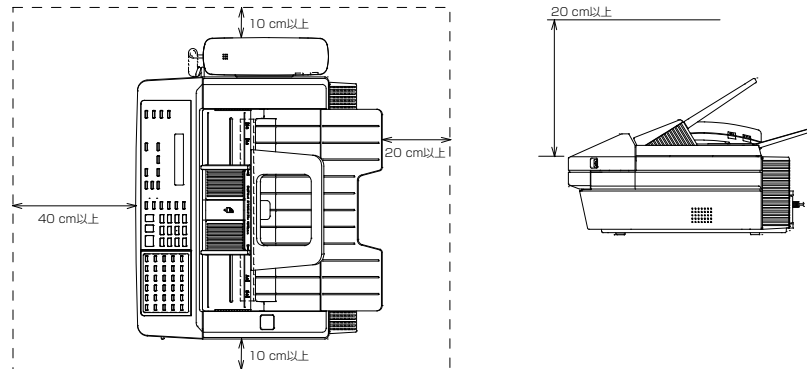
人や物の出入りが激しい場所など、ほこりや振動が多い場所では、本商品が正常に動作しないことがあります。

その他

・クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
・換気の悪い場所
・揮発性可燃物やカーテンに近い場所

STOP お願い

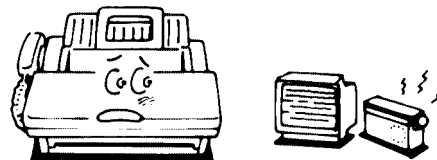
設置禁止場所

本商品を正常にまた安全に使用していただくために、次のような場所への設置は避けてください。

設置スペースを確保

本商品の操作、消耗品の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し、性能を維持する作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。

電波障害時の対処

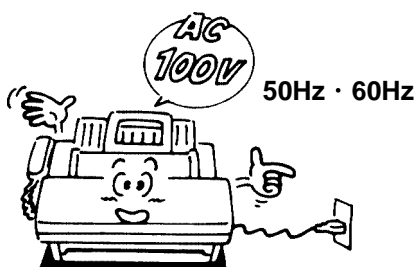
本商品の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。このような現象が本商品の影響によると思われましたら、本商品の電源をいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

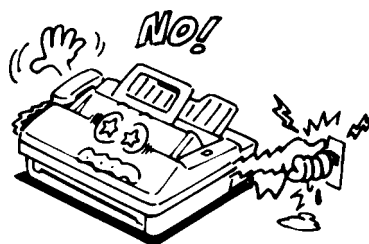
・本商品をテレビ等から遠ざける
・本商品またはテレビ等の向きを変える

電源について

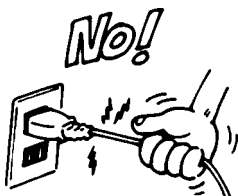
電源については次の内容を、必ずお守りください。

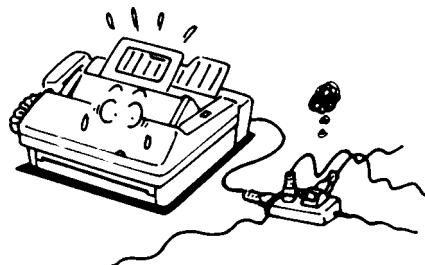
⚠警告

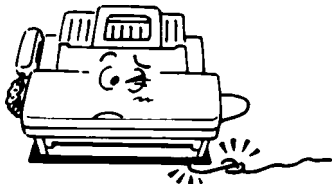
商用電源以外は使用をしないでください

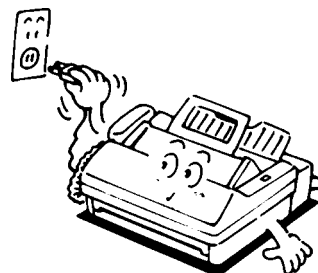
交流100V、50Hzまたは60Hzの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となります。

ぬれた手で操作しないでください

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

プラグの取扱に注意してください

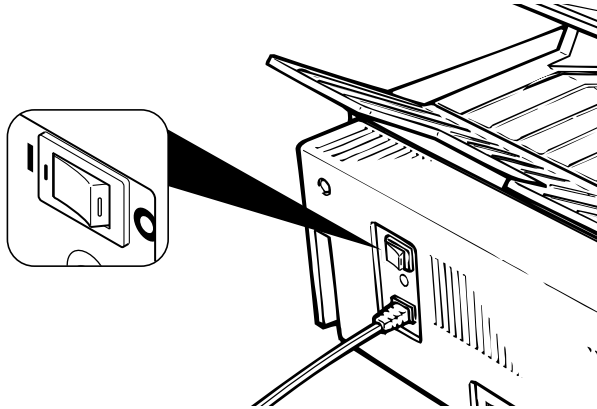
電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしないでください

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱に注意してください

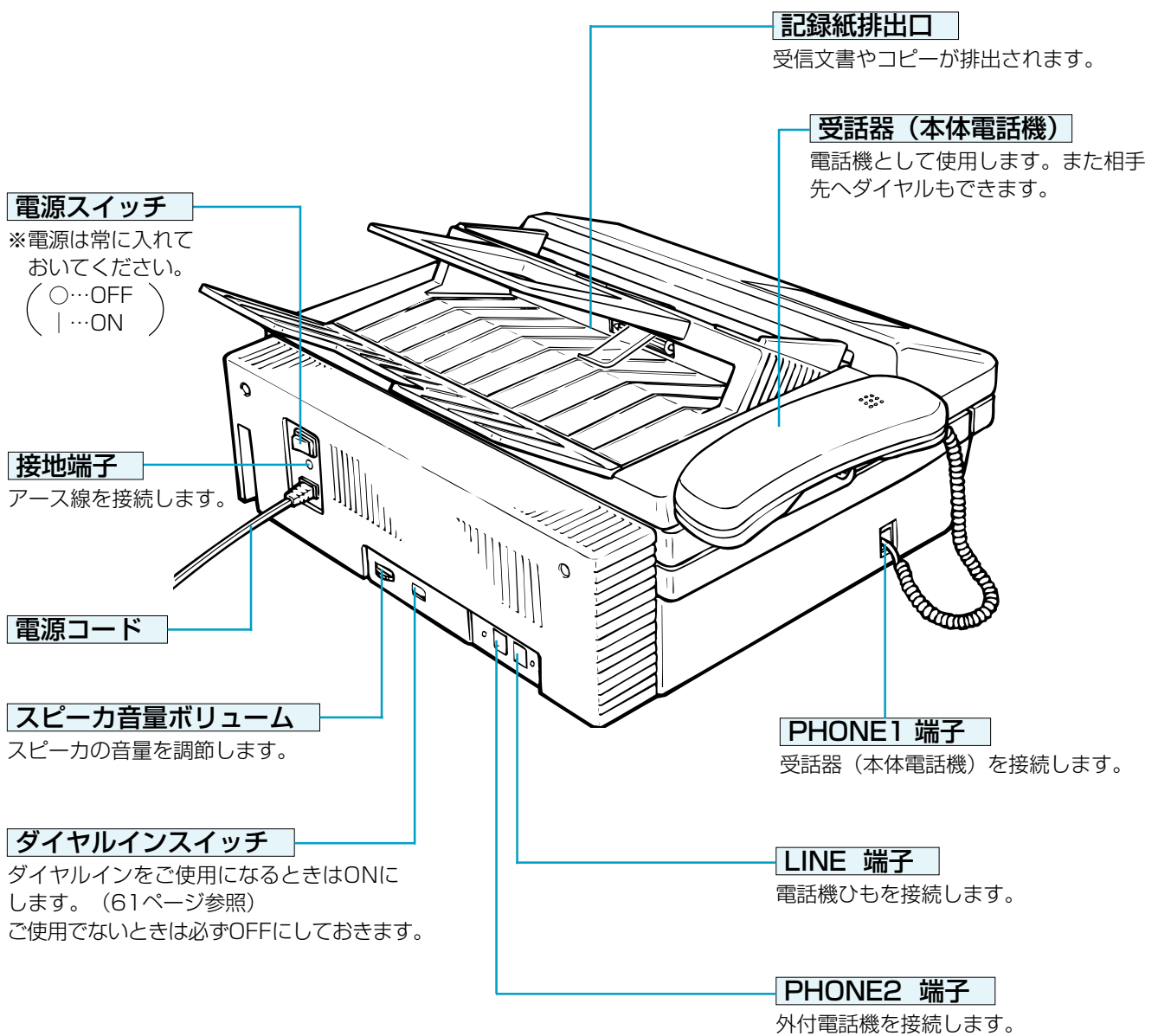
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

国内でのみ使用してください

本商品は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

電源スイッチについて

初めて本商品をご使用になるときにON（ I ）にします。通常は常にONの状態にしておきます。長期間使用しないときや、本商品を移動するときはOFF（O）にします。

＊電源スイッチをOFFにすると動作が制限されます。4ページ「メモリバックアップについて」「ワンポイント」を参照してください。

4 本商品の各部の名称とはたらき

本商品の各部の名称とはたらき

記録紙排出口
受信文書やコピーが排出されます。
受話器（本体電話機）
電話機として使用します。また相手先へダイヤルもできます。
電源スイッチ
※電源は常に入れておいてください。
（○…OFF ｜…ON）
接地端子
アース線を接続します。
電源コード
スピーカ音量ボリューム
スピーカの音量を調節します。
ダイヤルインスイッチ
ダイヤルインをご使用になるときはONにします。（61ページ参照）
ご使用でないときは必ずOFFにしておきます。
PHONE1 端子
受話器（本体電話機）を接続します。
LINE 端子
電話機ひもを接続します。
PHONE2 端子
外付電話機を接続します。

操作パネルの名称とはたらき

アラーム ランプ
・通信エラーなど異常が発生したときに点灯します。

通信中 ランプ
・通信中に点灯します。

代行受信 ランプ
・メモリにデータが入ると点灯します。

自動受信 キー、
自動受信 ランプ
・自動受信と手動受信を切り替えるときに押します。
・自動受信に設定されているときに、ランプが点灯します。

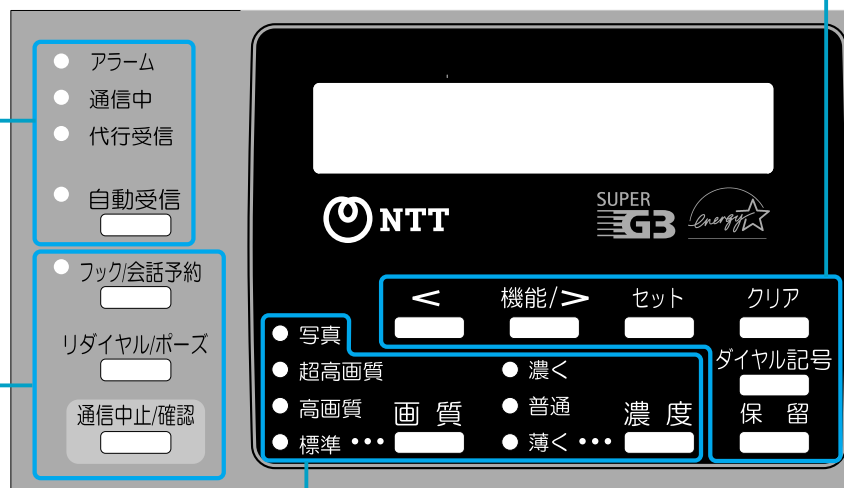
＜ キー
・カーソルを左に移動したいときに押します。

機能／＞ キー
・各種の設定や登録するときに押します。 また、カーソルを右に移動したいときに押します。

セット キー
・機能キーで選択した内容をセットするときに押します。

クリア キー
・文字入力や電話番号入力で間違ったとき、１桁戻りながら文字や数字を消します。

ダイヤル記号 キー
・ハイフン（－）や外線検出（！）などのダイヤル記号を入力するとき押します。（38ページ参照）

保留 キー
・相手との通話を一時保留するときに使います。（69ページ参照）

フック／会話予約 キー
フック／会話予約 ランプ
・受話器（本体電話機）を置いたままダイヤルするときに押します。この時フック／会話予約ランプが点灯します。（42ページ参照）
・通信中に押すと通信後会話をすることができます。（142ページ参照）

リダイヤル／ポーズ キー
・最後にかけた相手に再ダイヤルするときや、ダイヤルに間隔を開けたいときに押します。（38、41ページ参照）

通信中止／確認 キー
・通信を中止または確認することができます。（46ページ参照）

画質 キー
画質 ランプ
・画質を選択するときに押します。選択された画質のランプが点灯します。（36ページ参照）

濃度 キー
濃度 ランプ
・読み取り濃度を選択するときに押します。選択された濃度のランプが点灯します。（36ページ参照）

ワンポイント

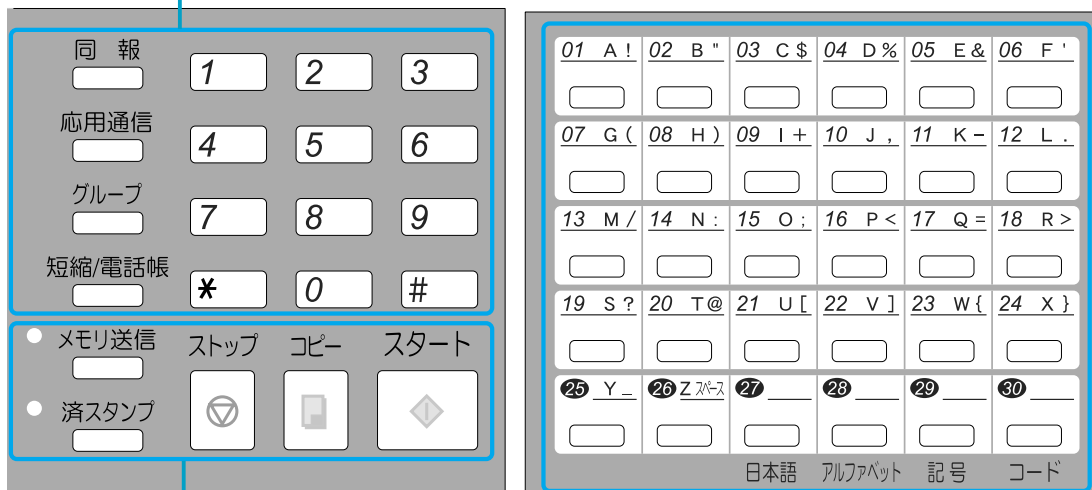
●表示を英語にするには 機能 キー＋ダイヤルキーの # で切り換えます。

同報 キー
・同報で複数の宛先を指定するときに押します。（76ページ参照）

応用通信 キー
・時刻指定、親展送信、中継同報指示、ポーリング、一括送信、Fコード送信、Fコードポーリングをするときに押します。
（第3章　便利な使いかた参照）

グループ キー
・グループ送信をするときに押します。（77ページ参照）

短縮／電話帳 キー
・短縮ダイヤルを使うときに押します。また、電話帳機能を使うときに押します。
（40、44ページ参照）

ダイヤルキー
・ダイヤルしたり、コピー部数を指示するときなどに押します。 ＊ ＃ ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

ワンタッチキー
・ワンタッチダイヤル、プログラムワンタッチを使うときに押します。（39、144、150ページ参照）また、日本語、アルファベット、記号など文字を入力するときに押します。

メモリ送信 キー
(メモリ送信) ランプ
・原稿をメモリに蓄積して送信するときに押します。メモリ送信にセットしたときにランプが点灯します。（37ページ参照）

済スタンプ キー
(済スタンプ) ランプ
・原稿に読み取りマークをつけるときに押します。
・済スタンプをセットしたときにランプが点灯します。
（38ページ参照）

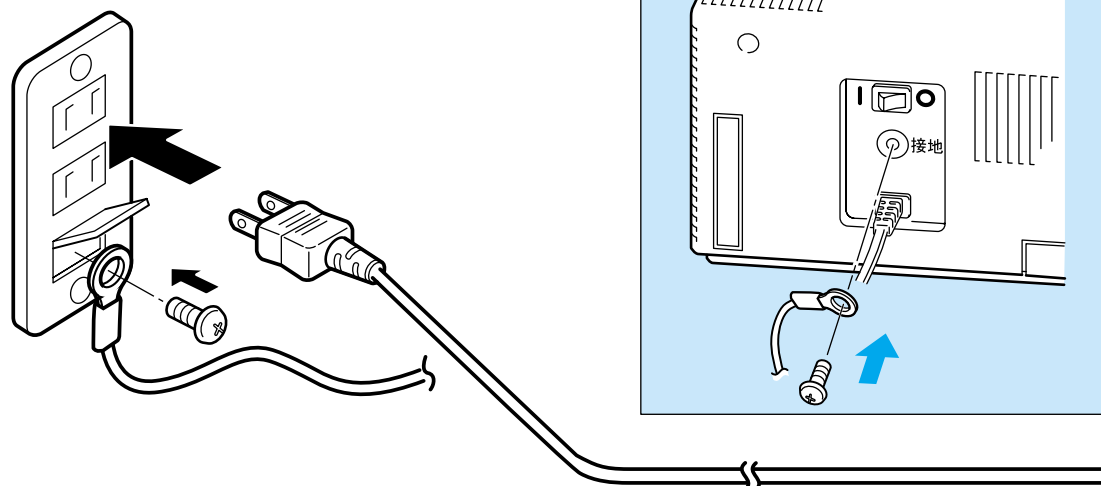
スタート キー
・送信や手動受信のときに押します。

コピー キー
・原稿をコピーするときに押します。（72ページ参照）

ストップ キー
・動作や操作を途中で中止するときや、原稿を排出するときに押します。

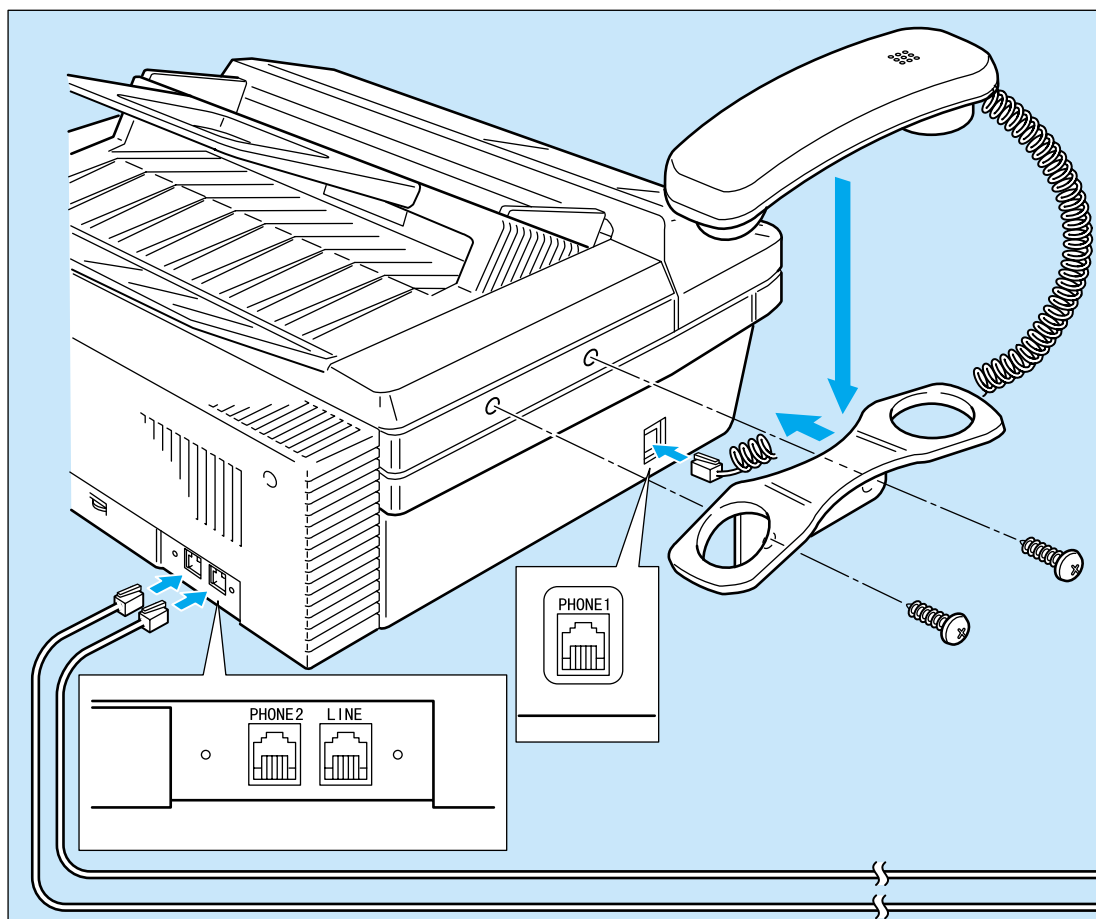
5 接続のしかた

電源コードの接続

電源スイッチOFF（○）になっていることを確認して、電源プラグをコンセントに接続してください。アース線は電源スイッチの下にある接地端子に取り付けます。もう一方を、コンセントの接地端子に接続します。

電話台の取り付け

電話台をネジ2本で取り付けてください。

受話器（本体電話機）の接続

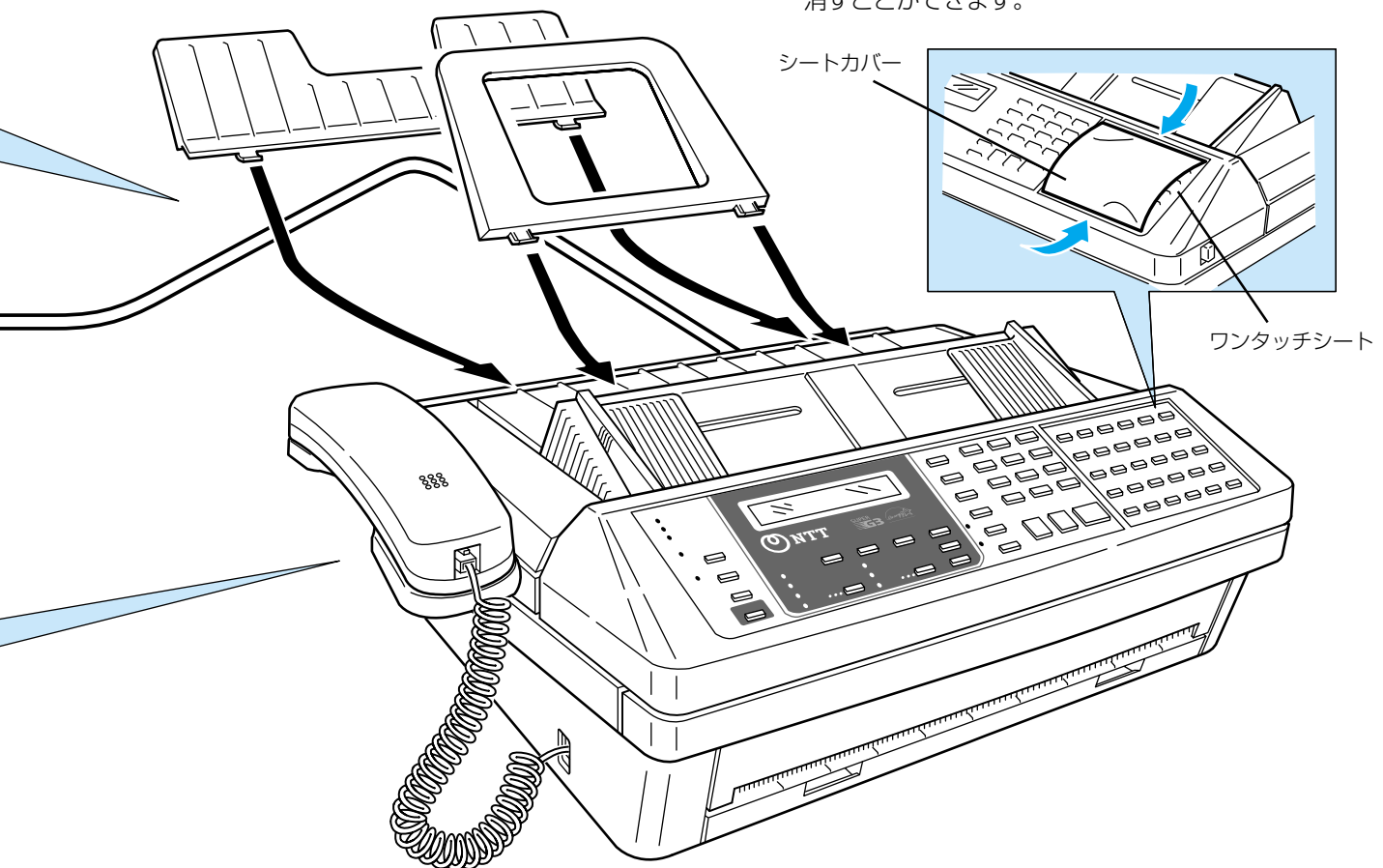
受話器（本体電話機）のカールコードを、本商品のPHONE1端子に接続してください。

原稿台・記録紙受けの取り付け

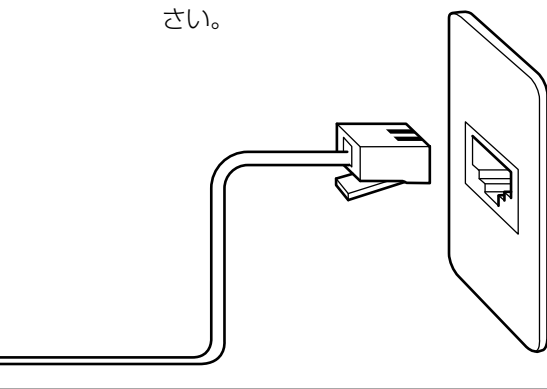
原稿台・記録紙受け両端のフックを、商品本体の取り付け穴に挿入します。

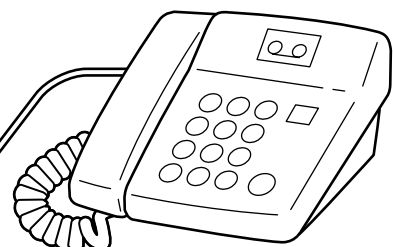
ワンタッチシートの取り付け

まず透明のシートカバーを外し、ワンタッチシートを外します。ワンタッチシートに直接記入してください。記入後、ワンタッチキーシート、シートカバーを元に戻します。
ワンタッチシートは、ボールペン、鉛筆または油性ペンで直接名前を記入します。鉛筆で記入した場合は消しゴムで消すことができます。

シートカバー

ワンタッチシート

電話機ひもの接続

電話機ひも（回線接続用）を本商品のLINE端子と室内の電話コンセントに接続してください。
※電話機ひもは、電話コンセントにカチッと音がするまで差し込み、抜くときは、レバーを押しながら抜いてください。

外付電話機（留守番電話）の接続

必要に応じて一般の電話または留守番電話の回線コードを本商品のPHONE 2端子に接続してください。

記録紙のセット

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙をおすすめします。

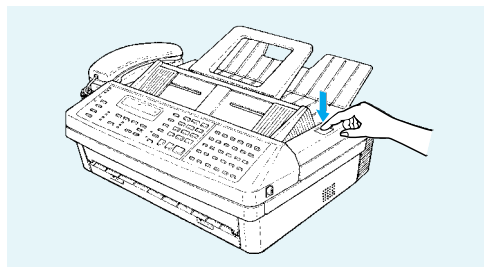
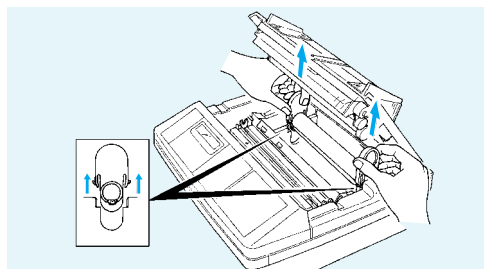
注意

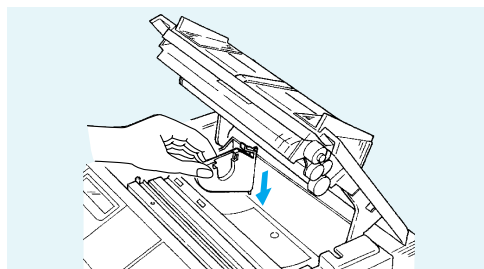
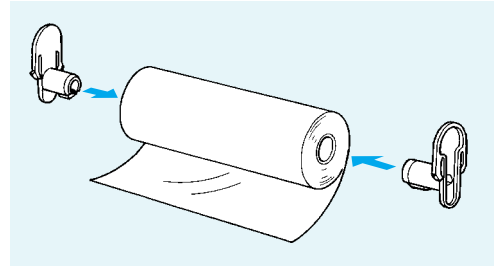
- サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因となります。
- トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

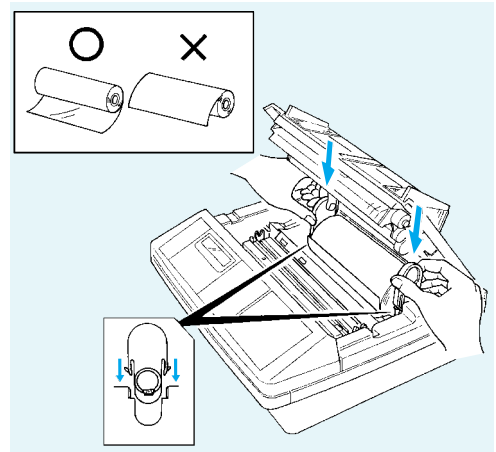
STOP お願い

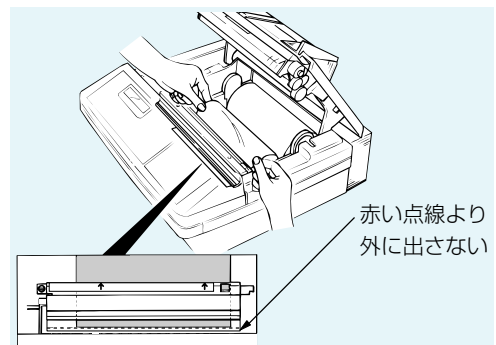
- 記録紙を交換するときは、電源を切らずに交換してください。電源を切ると蓄積原稿が消えることがあります。

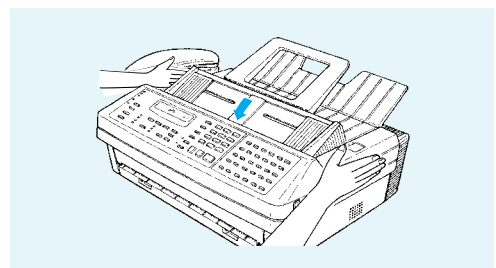
1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。

●トップカバーを完全に開きます。

2 記録紙を交換するときは、記録紙ホルダーを持ち上げ、記録紙の芯を取り除きます。

3 仕切板を記録紙サイズに合わせます。

●A4の記録紙を使用するときは、仕切板を内側に移動させます。

記録紙に記録紙ホルダーを取り付けます。

記録紙ホルダーを溝に差し込み、記録紙を本体にセットします。

●記録紙ホルダーを図のように差し込んでください。
●記録紙を入れる向きに注意してください。

記録紙の先端をペーパーガイドの下（黒い矢印の下）に挿入します。

●ペーパーガイドのフィルムから記録紙が見えるまで挿入します。記録紙がフィルムの赤い点線より外に出ないようにします。

トップカバーの両端を押さえて閉じます。

●電源がONのときトップカバーを閉じると、記録紙の先端をテストカットします。これが行われないときは、もう一度記録紙をセットしなおしてください。

6 基本設定

STOP お願い

- 本商品をご使用いただくために必要な登録をおこないます。この設定は必ず行ってください。設定しないと正しくお使いになれない場合があります。

［操作の前に］

設定内容は以下の通りです。登録する内容を、あらかじめ紙に書き出しておくとすばやく登録できます。

・時刻　…………ディスプレイの時刻を正しく設定します。時刻指定送信や通信管理などファクスすべての基準になります。
西暦の下2桁、月日、時分を入力します。時刻は24時間制で入力します。
※時計表示はあくまでも目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±1分以内）

・発信元　………発信元名やファクス番号を相手先の記録紙にプリントしますので、受信側はどこから送信された原稿なのかを確認しやすくなります。

- ・発信元番号　：発信元のファクス番号を20桁まで登録できます。
- ・発信元名　：半角文字では22文字、全角文字では11文字まで登録できます。
- ・発信元名（カナID）：通信中、相手側のディスプレイに表示されます。半角文字で16文字まで登録できます。
※発信元名は相手先の機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

・通信回線　……接続する回線の種類に合わせて設定します。設定が合っていない場合は、電話やファクスが使用できません。

・受信モード　…ご使用に合わせた受信モードを選びます。（51ページ参照）

すべての登録を終了後、機器設定リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。（176ページ参照）

基本設定のしかた（設置モード）

1

［機能］キー → ワンタッチキー［I］→［セット］キーを押します。

① ダイヤルキーで現在の時刻を入力します。

【例】2003年2月10日午後1時30分と入力します。

- ●年（西暦下2桁）、月（2桁）、日（2桁）、時（24時間制2桁）、分（2桁）の順にダイヤルキーで現在の時刻を入力します。
- ●変更の必要がないときは［<］［>］キーを押して、次の数字にカーソルを移動できます。

② ［セット］キーを押します。

ｹﾞﾝｻﾞｲ ｼﾞｺｸ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
'03 02/10 13:30

① ダイヤルキーで発信元ファクス番号を入力します。

- ●20桁まで登録できます。
- ●ハイフンは［ダイヤル記号］キーを1回押すと入力できます。
- ●番号を間違えたときは［クリア］キーを押して、正しい番号を入力してください。

② ［セット］キーを押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890

① **発信元名を入力します。**

●半角文字は22文字まで、全角文字は11文字まで登録できます。
●文字入力については「文字入力のしかた」を参照してください。（23ページ参照）
●間違えた文字を消去するときは、［＜］［＞］キーで消去したい文字にカーソルを合わせ［クリア］キーを押します。正しい文字を入力し直してください。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
ABC(3E26)(3B76)█

② **［セット］キーを押します。**

① **発信元名（カナID）を入力します。**

●半角文字（アルファベット、記号、カタカナ、数字）で16文字まで登録できます。
●文字入力については「文字入力のしかた」を参照してください。（23ページ参照）

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｶﾅID:ｶﾀｶﾅ
ABCｼｮｳｼﾞ█

② **［セット］キーを押します。**

① **通信回線を選びます。**

●［機能］キーで通信回線を選択してください。
●通信回線が分からない場合は、「回線種別の見分けかた」を参照してください。（22ページ参照）

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾌﾟ :ﾌﾟｯｼｭ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾌﾟ :10pps
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾌﾟ :20pps
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② **［セット］キーを押します。**

受信モードを選びます。

●［機能］キーで受信モード（51ページ参照）を選択してください。

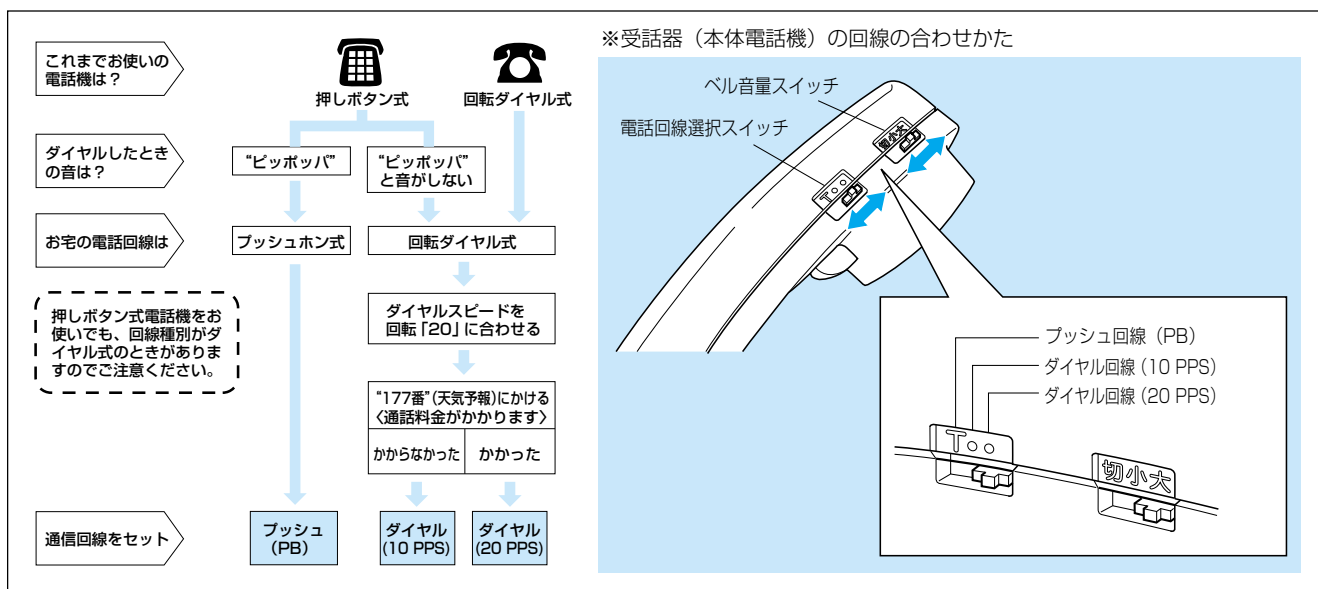
セット キーを押します。

●設置モードが登録され、待機画面に戻ります。
●登録した内容を確認するには、機器設定リストをプリントしてください。（176ページ参照）

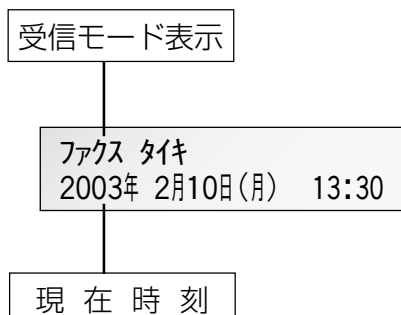
ﾌｧｸｽ ﾀｲｷ
2003年 2月10日(月) 13:30

ワンポイント

● 操作を中止したいときは、ストップ キーを押します。
● 設定状態を変更したくない場合は、セット を押すと次の項目に移ります。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

回線種別の見分けかた

ワンポイント

● 電話回線種別について、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
● お買い求め時は、本商品はダイヤル回線のダイヤル20にセットされています。

待機画面

7 文字入力のしかた

発信元セットやワンタッチ、短縮ダイヤルを登録するときなど、文字を入力するときに参照ください。

文字や記号はともに1文字ずつ入力します。
カタカナ、アルファベット、数字、#、＊、記号は半角文字で入力されます。
ひらがなや漢字などの全角文字は、漢字コードで入力します。
ひらがなや漢字などの全角文字は、発信元名登録（21ページ参照）と送信案内証のメッセージを登録する（89ページ参照）ときのみ使用できます。

漢字・全角文字を入力するとき（発信元名登録、メッセージ登録時のみ）

1 操作の前に文字のコードを確認します。
197ページを参照し、全角文字コードを確認します。

2 漢字コード入力に切り替えます。
●ワンタッチキー 27日本語 を押し、「カンジ　コード」に切り替えます。

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ   :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
█
```

3 コードを数字はダイヤルキー、アルファベットはワンタッチキーで4桁入力します。

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ   :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
[345█]
```

4 コードが正しいときは漢字コードがカッコで囲まれます。

【例】「関西」と入力するとき

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ   :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(3458)(403E)█
```

カタカナを入力するとき

1 日本語に切り替えます。
●ワンタッチキー 27日本語 を押し、「カタカナ」に切り替えます。

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ   :ｶﾀｶﾅ
█
```

2 入力したい文字をローマ字変換で入力します。
●ローマ字変換表（206ページ）を参照してください。

【例】「ブ」と入力するとき

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ   :ｶﾀｶﾅ
ﾌﾞ█
```

＊ワンタッチキーの 02B 、21U と押します。

3 「ツ」の小文字を入力するときは次の文字を2回重ねて入力します。

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ   :ｶﾀｶﾅ
ﾌﾞﾛｯｸ█
```

アルファベットを入力するとき

1 アルファベットに切り替えます。

●ワンタッチキー 28アルファベット を押します。
●もう一度 28アルファベット を押すと、大文字（エイスウダイ）／小文字（エイスウショウ）が切り替わります。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｴｲｽｳ ﾀﾞｲ
█

2 文字を入力します。

●入力したいアルファベットのワンタッチキーを押します。

【例】Aを入力するとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｴｲｽｳ ﾀﾞｲ
A█

数字、#、＊を入力するとき

1 日本語に切り替えます。

●ワンタッチキー 27日本語 を押し、「カタカナ」に切り替えます。

2 ダイヤルキーより直接入力します。

【例】5を入力するとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
5█

記号を入力するとき

1 記号に切り替えます。

●ワンタッチキー 29記号 を押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｷｺﾞｳ
█

2 入力したい記号のワンタッチキーを押します。

【例】＋を入力するとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｺｰﾄﾞ
+█

コードで入力するとき

1 操作の前に文字のコードを確認します。
196ページを参照し、半角文字コードを確認します。

2 コード入力に切り替えます。
●ワンタッチキー 30コード を押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｺｰﾄﾞ

3 コードを数字はダイヤルキー、アルファベットはワンタッチキーで2桁入力します。

【例】ダイヤルキー 5 ワンタッチキー C と入力したとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｺｰﾄﾞ
¥

電話帳から入力するとき

文字入力のとき、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにセットした相手先名を、電話帳から検索して入力することができます。同じ文字を何度も登録するときに便利です。

1 文字登録のときに、 短縮／電話帳 キーを押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :[ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ :[01]

2 ダイヤルキーで、入力したい相手先名を検索し、表示させます。
●相手先名の右側には、この相手先名が登録されているワンタッチ番号・短縮番号が表示されます。
●検索方法については44ページを参照してください。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :[ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ :[01]

▼

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :[ｶ]
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ:S003

3 セット キーを押します。
●検索した文字を修正したいときは クリア キーを押して不要な文字を消去し、入力し直してください。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ

文字を修正するには

《文字を削除するには》

[<] [>] キーを押し、削除したい文字にカーソルを移動します。

●漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯｸ

[クリア] キーを押します。

●漢字コードの削除は、4桁のコード全体が削除されます。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)ﾌﾞﾛｯｸ

《直前に入力した文字を消去するには》

[クリア] キーを押します。

●直前に入力された文字が削除されます。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯｸ

▼

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯ

文字を挿入するには

[<] [>] キーを押し、挿入したい場所の次の文字にカーソルを移動します。

●漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞｯｸ

2 文字を入力します。

●ワンタッチキーで挿入したい文字を入力します。
●文字が挿入されます。

【例】ロと入力するとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯｸ

文字入力例 「関西ブロック」と入力するには

1 操作の前に「関」「西」の文字コードを確認しておきます。

●198、200ページを参照し、「関」が文字コード「3458」、「西」が文字コード「403E」であることを確認しておきます。

2 漢字コード入力に切り替えます。

●ワンタッチキー 27日本語 を押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
█

3 「関」の文字コードを入力します。

●コードが間違っている場合はブザーが鳴ります。
●数字はダイヤルキーで、アルファベットはワンタッチキーで4桁入力します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(3458)█

4 続けて「西」の文字コードを入力します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(3458)(403E)█

5 カタカナ入力に切り替えます。

●ワンタッチキー 27日本語 をもう一度押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)█

6 「ブ」をローマ字で「BU」と入力します。

●ワンタッチキーの 02B と 21U を押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞ█

7 「ロ」をローマ字で「RO」と入力します。

●ワンタッチキーの 18R と 15O を押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛ█

8 「ック」をローマ字で「KKU」と入力します。

●「ッ」と「ク」に分けても入力できます。「ッ」は「LTU」と入力します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯｸ█

8 日常のお手入れ

本商品を最適な状態でご使用いただくために、定期的にお手入れしてください。

⚠警告

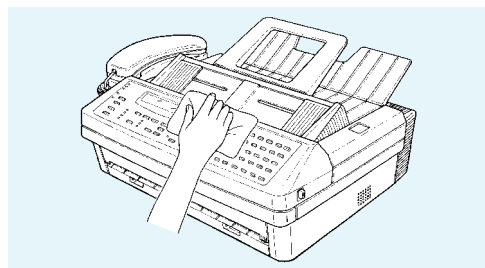
- ぬれた布などは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 感電防止のため、記録部の清掃を行う場合は、通信予約やメモリに原稿が蓄積されていないことを確認して必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- 本商品の精密部品を破損しないようにご注意ください。また、本商品内部に紙片や糸クズを残さないようにしてください。火災・感電および故障の原因となります。

外装、操作パネルのお手入れ

お願い

- シンナー、ベンジン、アルコールは表面の仕上げをいためますので使用しないでください。

1 **柔らかい布でから拭きします。**

●汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めたものを少量つけて拭き取ります。

記録部のお手入れ

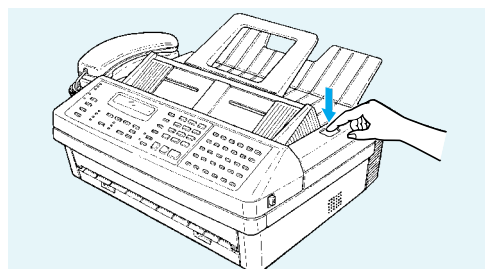
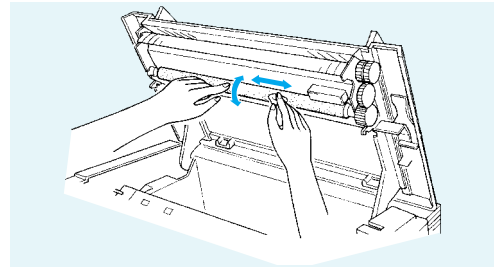
⚠注意

- サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっておりやけどの原因となります。
- トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

お願い

- 清掃には水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。汚れがひどいときは、アルコール（エタノール、メタノール）か薄い中性洗剤をしみこませたやわらかい布をご使用ください。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
- サーマルヘッド表面を金属などの硬いものや爪でこすらないでください。また、直接手で触れないでください。

1 **トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。**

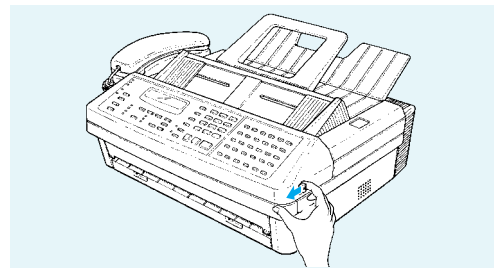
●完全にトップカバーを開けてください。

記録紙ローラーを回しながら、汚れを拭き取ります。

●水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。

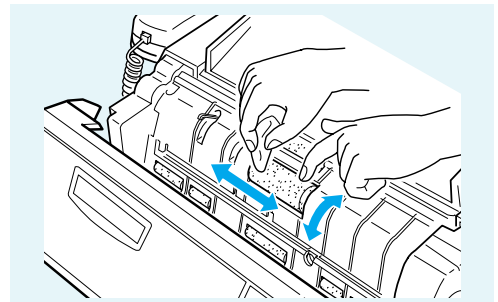
読取部のお手入れ

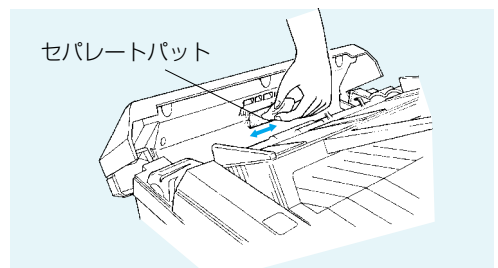
お願い

- 清掃には水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。汚れがひどいときは、アルコール（エタノール、メタノール）か薄い中性洗剤をしみこませたやわらかい布をご使用ください。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

原稿カバーを開けます。

●原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開けます。

原稿送りローラーを回しながら汚れを拭き取ります。

●水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。

セパレートパットの汚れを拭き取ります。

●水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。

9 保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（一年間）中の故障につきましては保証書の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をごらんください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」を提供いたしております。

実費保守サービスでは故障内容によって、高額になる場合もありますので、定額保守サービスのご契約をお勧めします。

●保守サービスの種類

定額保守サービス	●毎月決められた料金をお支払いいただくことで、本商品の定期点検、故障時の修理、定期交換部品の交換（※）など、本商品の性能維持に必要な保守サービスを行います。 ●定額保守サービスには、サービス内容により以下のような種別があります。 ・Aコース　：毎月の定額料金のみで、定期点検を含む保守サービスを提供いたします。 ・Cコース　：定期点検を除く保守サービスを提供いたします。
実費保守サービス	●定期交換部品の交換、故障時の修理等に要した費用をそのつど頂きます。 ・お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。 ・故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。 ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちの場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

※本商品には、原稿読み取り用の光源やセパレートパット等の定期交換を必要とする部品（定期交換部品）があります。定額保守Aコースをご契約いただければ、当社が責任をもって定められた交換時期に必要な部品の交換を行います。本商品を安心してお使いいただくために、是非とも定額保守Aコースのご契約を結ばれるようにお願いいたします。

●故障の場合のお問い合わせは

局番なしの113番へご連絡ください。

●お話中調べ

局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■ NTT東日本エリア(新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以東の各都道県)でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413

■ NTT西日本エリア(富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県)でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。

第2章 基本的な使いかた

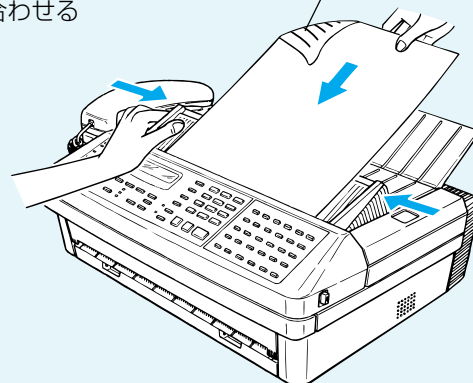
もくじ

1 原稿をセットする

原稿をセットするとき

●送信やコピーをするときは、次の手順で原稿をセットしてください。

原稿ガイドを左右に動かし、原稿の幅に合わせます。

●原稿ガイドは中央を持ってください。

読み取る面を下向きにします。

●一度にセットできる原稿の枚数は、A4・B4とも30枚までです。ただし、同一サイズ、同質のものに限ります。

3 原稿を奥に突き当たるまで差し込みます。

●セットした原稿を取り出したいときは、[ストップ]キーを押します。または原稿カバーを開けて取り出します。

原稿をセットするときの注意

1.原稿ガイドを広げたまま、原稿をセットしないでください。

→受信側に縮小されて写ることがあります。
→斜行することがあります。

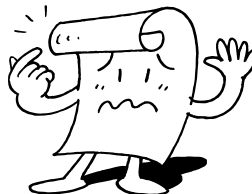
2.サイズが異なる原稿を、一緒にセットしないでください。

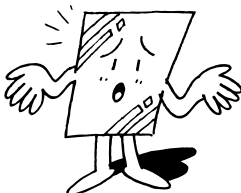
→不必要に縮小して送信されることがあります。
→紙詰まりすることがあります。
→斜行することがあります。

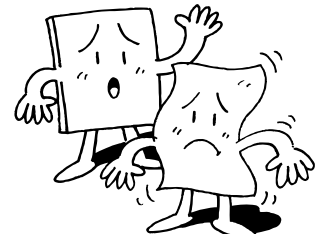
3.ホッチキス、クリップ、セロハンテープを取り除いてください。

4.次のような原稿は複写機でコピーをとるか、キャリアシート（別売品）を使って送信してください。

しわや折り目のある原稿

カールのはげしい原稿

やぶれている原稿

コーティングされている原稿

ノンカーボン紙
裏カーボン紙の原稿

薄すぎる原稿*
厚すぎる原稿*

＊ 0.06 mm ～ 0.13 mmの厚さの原稿であればそのまま送信できます。それ以外の原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。また、キャリアシート（別売品）を使えば薄い原稿でもセットできます。

STOP お願い

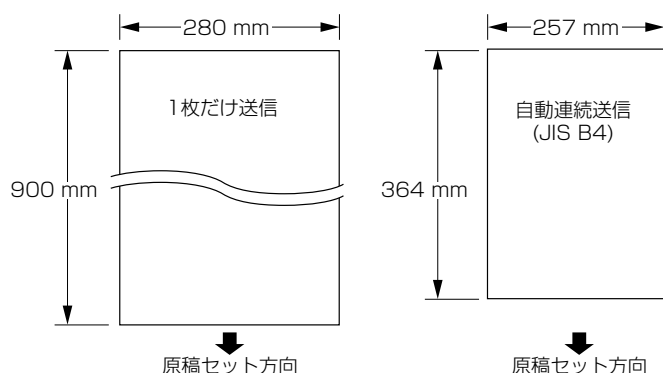
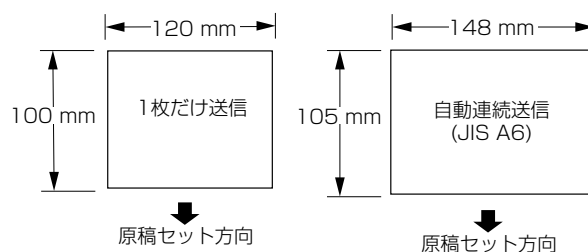
- クリップ、ホッチキスなどは必ず取り除いてください。
- インクやノリなどは乾かしてからセットしてください。
- 異なるサイズ、厚さの原稿をまぜてセットしないでください。
- 複数枚の原稿をセットするときはキャリアシート（別売品）をお使いになれません。
- キャリアシート（別売品）は当社指定のものをお使いください。

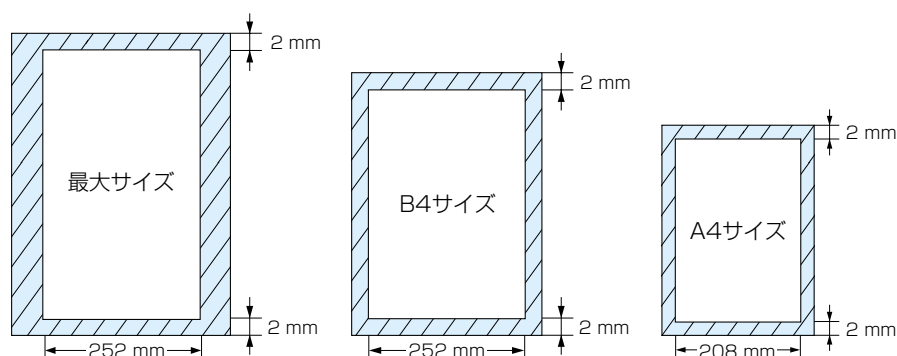
原稿サイズ

送信できる原稿サイズは次の範囲のものに限ります。
この範囲以外の原稿は複写機で拡大または縮小コピーするか、専用のキャリアシート（別売品）をお使いください。

	1枚だけ送る場合	自動連続送信の場合
最　　大	280 mm×900 mm	257 mm×364 mm（JIS B4）
最　　小	120 mm×　100 mm	148 mm×105 mm（JIS A6）
1度にセットできる枚数	――――	A4:30枚、B4:30枚
原稿の紙厚	0.05 mm～0.15 mm	0.06 mm～0.13 mm
原稿の紙質	上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）	

（参考）　新聞紙の紙厚が0.05～0.06 mm、上質紙が0.10 mm、官製はがきが0.23 mmですので原稿の紙厚の目安としてください。本取扱説明書の1ページのサイズがJIS A4サイズです。

●原稿の最大サイズ

●原稿の最小サイズ

原稿読取範囲について

送信する原稿の斜線部分に文字などを書いても、読み取れませんのでご注意ください。また、本商品でコピーしたときも記録されません。

STOP お願い

● 自動連続送信の場合、原稿は同一サイズ、同質のものに限ります。

ワンポイント

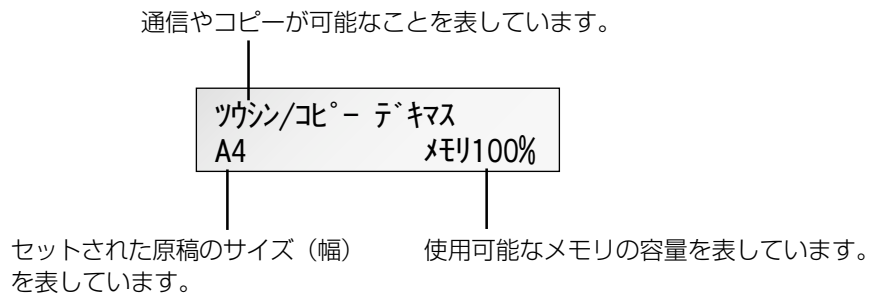
● 900 mm以上の長さの原稿を送信される場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

原稿サイズと記録紙サイズについて

原稿サイズに比べて、受信やコピーをする記録用紙のサイズが小さいときは、記録紙のサイズに合わせて自動的に縮小してプリントします。

記録紙サイズ ＼ 原稿サイズ	B4サイズ原稿	A4サイズ原稿
B 4	そのまま（等倍）	そのまま（等倍）
A 4	A4サイズに縮小（約81%）	そのまま（等倍）

※ 本商品の記録紙サイズは、最大B4サイズです。

原稿をセットしたときの表示

メモリ蓄積枚数について

本商品は画像蓄積をするために、メモリを搭載しています。

	蓄積枚数*
メモリ容量　3.2MB	約255枚

*蓄積枚数は、A4版700字程度で標準画質（8×3.85本/mm）の原稿を、MH符号化方式により蓄積したときの枚数です。なお、実際の枚数は蓄積するときの画質、原稿の内容、画像符号化方式などにより異なります。

2 送信の前に

画質の選びかた

原稿の文字などの細かさに合わせて、画質を選びます。
<送信時>
●写　　真…写真を送信するとき
●超高画質…精密なイラストや辞書のような細かい文字を送信するとき
●高 画 質…小さな文字の原稿を送信するとき（新聞など）
●標　　準…普通の文字の原稿を送信するとき
＊「超高画質」は相手機により使用できない場合があります。
＊画質の初期値を変更できます。変更方法は「スキャナパラメータを決める（169ページ）」を参照してください。

画質を選びます。

●希望する画質のランプが点灯するまで、[画質]キーを押します。

○ 写真
○ 超高画質
○ 高画質　画 質
○ 標準 ◦◦◦ [　]

濃度の選びかた

原稿に合わせて、濃度を選びます。
●濃く…濃く読み取りたいとき（鉛筆書きや、薄い文字のときなど）
●普通…普通の原稿のとき
●薄く…薄く読み取りたいとき
＊濃度の初期値を変更できます。変更方法は「スキャナパラメータを決める（169ページ）」を参照してください。

濃度を選びます。

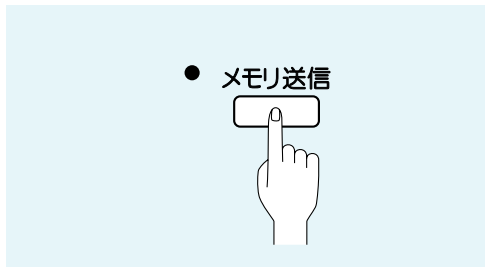
●希望する濃度のランプが点灯するまで、[濃度]キーを押します。

○ 濃く
○ 普通　濃 度
○ 薄く ◦◦◦ [　]

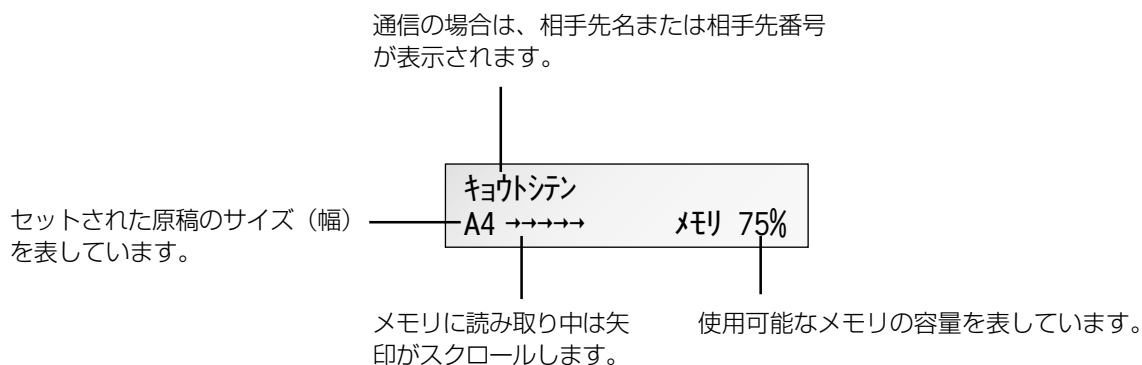
ワンポイント

●標準から写真になるほど、通信時間が長くなります。
●画質で写真を設定すると、メモリを多く消費するために、メモリを利用した送信では一度に蓄積できる原稿枚数が少なくなります。また情報量が増えるので通信時間が長くなります。
●複数枚の原稿をセットしているとき、原稿読み取り中に次の原稿の画質、濃度を変更することができます。

送信方法の設定（メモリ送信とダイレクト送信）

自動送信には、原稿を読み込んだ後に送信を開始するメモリ送信と、原稿を読み取りながら送信するダイレクト送信とがあります。お買い上げ時はメモリ送信が設定されていますが、［メモリ送信］キーを押してランプを消灯させて、一通信のみダイレクト送信を指定することができます。（常にダイレクト送信を優先することもできます。173ページ参照）

●ダイレクト送信
ダイレクト送信とは、原稿をメモリに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後、すぐに送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。

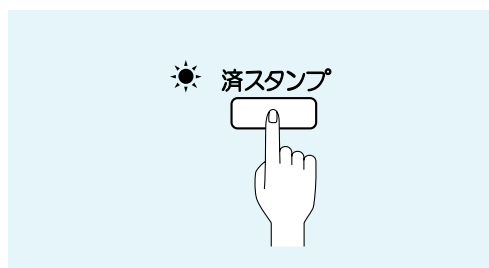
●メモリ送信
メモリ送信とは、原稿をメモリに読み込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。
メモリ送信の場合は、回線の不良等で画像が乱れると自動的にそのページを送り直します。

原稿をメモリに読み取っているときの表示

ダイヤル記号について

● ダイヤル記号 キーによる入力は、各種通信のセット時にも使用できます。

機　能	操　作	液晶表示	用　途
ハイフン	ダイヤル記号 キーを1回押す。	–	ダイヤルに区切りをつけて、読みやすくするための－（ハイフン）が入力できます。
第2発信音検出	ダイヤル記号 キーを2回押す。	／	ファクシミリ通信網や海外通信（準ISD）の時に使用します。一部、地域によっては／（第2発信音）が出ない場合もありますので、その場合はポーズ（－／）を入力されることをおすすめします。 （例）161/075-111-2222
0発信検出	ダイヤル記号 キーを3回押す。	！	内線からの0発信（第1発信音）の時に使用します。 （例）0！075-111-2222
PB信号送出	ダイヤル記号 キーを4回押す。 受話器（本体電話機）を上げたとき、またはオンフックボタンを押して発信するときは、ダイヤル記号 キーを1回押す。	－！	ダイヤル回線のときに、PB信号を出すことができます。 （例）075-111-2222-！1111＃
ポーズ	リダイヤル／ポーズ キーを1回押します。	－／	ダイヤルに間隔を開けたいときに使います。内線の0発信、NCC利用時などに使います。 （例）0-/075-111-2222 ＊ポーズ時間は設定により変更可能です。 （170ページ参照）

済スタンプの設定

済スタンプには、メモリ送信時に原稿の読み取りを完了したことを示す読み取り済スタンプと、ダイレクト送信時に送信が完了したことを示す送信済スタンプの2種類があります。
お買い上げ時は済スタンプの設定は「OFF」になっていますが、済スタンプ キーを押してランプを点灯させると、1通信のみ済スタンプを押すことができます。（「ON」に設定して、常に済スタンプを押すこともできます。172ページ参照）

●A4サイズの原稿では、およそ下図の位置に済スタンプが押されます。

At the remote terminal, demodulation
signal, which is used to modulate the density of print produced
printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised
with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile
copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

3 送信のしかた

ダイヤルキーで送信する

操作パネルのダイヤルキーを使って送信する方法です。

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）
●必要に応じて、メモリ送信、ダイレクト送信を設定します。（37ページ参照）

2 ダイヤルキーで相手先のファクス番号を入力します。（最大40桁）

●ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号も入力できます。（38ページ参照）

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890█

3 スタート キーを押します。

送信を始めます。

●メモリ送信の時は、原稿を読み取ってから送信を開始します。
●ダイレクト送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

ワンタッチキーで送信する

相手先をダイヤルする手間が省け、簡単に送信を開始できます。

●あらかじめワンタッチダイヤル（144ページ参照）を登録する必要があります。

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）
●必要に応じて、メモリ送信、ダイレクト送信を設定します。（37ページ参照）

2 ワンタッチキーを押します。

●登録されている相手先名または相手先番号が表示されます。

【例】ワンタッチキー 01 を押した場合

```
ｷｮｳﾄ ｼﾃﾝ
[01]█
```

3 スタート キーを押します。

送信を始めます。

●メモリ送信の時は、原稿を読み取ってから送信を開始します。
●ダイレクト送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

ワンポイント

- 入力した数字を修正するときは、クリア を押して入力した数字を削除し、改めて正しい数字を入力します。
- 読み取りを中止するときは、ストップ キーを押してください。
- 相手が話し中などのときは、ディスプレイに「＊＊　ジドウ　リダイヤル　＊＊」と表示され、自動的にかけなおします。
- 送信を始めたあとの中止は46ページ「現在送信中の文書の中止」を、リダイヤル待ちの中止は46ページ「通信予約文書の中止／確認」を参照してください。
- ダイレクト送信の場合は、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

短縮 キーで送信する

3桁の数字で相手先にダイヤルできるため、簡単・確実に送信できます。

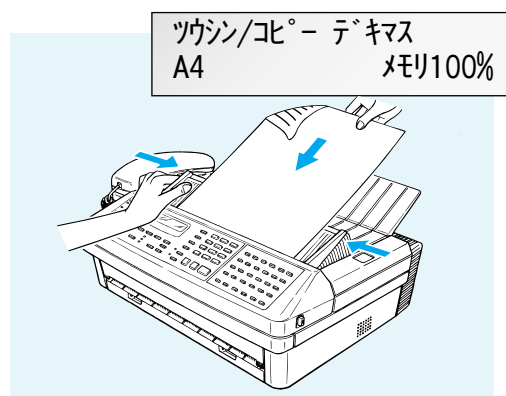
●あらかじめ短縮ダイヤル（147ページ参照）を登録する必要があります。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）
●必要に応じて、メモリ送信、ダイレクト送信を設定します。（37ページ参照）

```
ﾂｳｼﾝ/ｺﾋﾟｰ ﾃﾞｷﾏｽ
A4            ﾒﾓﾘ100%
```

2 短縮／電話帳 キーを押します。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾊﾞﾝｺｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
S█
```

ダイヤルキーで短縮番号を入力します。

●短縮番号は001～196を使用できます。
●短縮番号を間違えて入力したときは、［ストップ］キーを押して手順2からやり直してください。
●登録されている相手先名または相手先番号が表示されます。

```
ﾎｸﾘｸ ｼﾃﾝ
S123
```

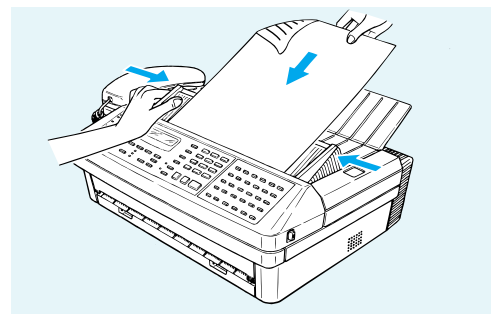
［スタート］キーを押します。
送信を始めます。

●メモリ送信のときは、原稿を読み取ってから送信を開始します。
●ダイレクト送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

リダイヤルで送信する

●リダイヤルは、ダイヤルキーで送信した最後の相手にダイヤルします。受話器（本体電話機）で手動送信した場合、リダイヤルはできません。

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）
●必要に応じて、メモリ送信、ダイレクト送信を設定します。（37ページ参照）

［リダイヤル／ポーズ］キーを押します。

●ダイヤルキーで送信した最後の相手先の番号が表示されます。

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890
```

［スタート］キーを押します。
原稿の読み取りが始まります。

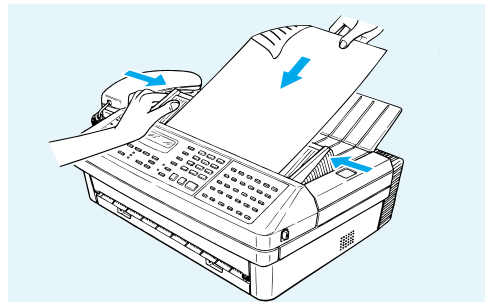
ワンポイント

●入力した数字を修正するときは、［クリア］を押して入力した数字を削除し、改めて正しい数字を入力します。
●読み取りを中止するときは、［ストップ］キーを押してください。
●相手が話し中などのときは、ディスプレイに「＊＊　ジドウ　リダイヤル　＊＊」と表示され、自動的にかけなおします。
●送信を始めたあとの中止は46ページ「現在送信中の文書の中止」を、リダイヤル待ちの中止は46ページ「通信予約文書の中止／確認」を参照してください。
●ダイレクト送信の場合は、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します
●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

手動送信する

相手に着信したことを確認して送る場合や、会話の後で送信する方法です。

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

2

フック／会話予約 キーを押します。または、受話器（本体電話機）を上げます。

●ツーという発信音を確認します。

** ﾃﾞﾝﾜ **
▮

3

ダイヤルキーまたは受話器（本体電話機）で相手先のファクス番号を入力します。

【例】 ダイヤルキーで入力したとき

** ﾃﾞﾝﾜ **
1234567890▮

4

電話がつながったら会話します。会話後に、相手先でファクス受信の操作をしてもらいます。

●「ピー」と聞こえたら相手はファクスです。すぐに スタート キーを押してください。送信が始まります。

5

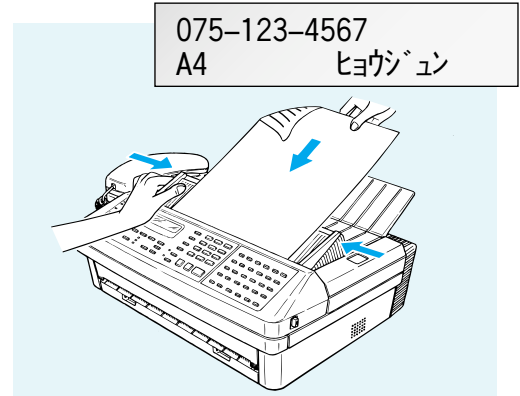
「ピープルプル」という音が聞こえたら、スタート キーを押し受話器（本体電話機）を元に戻します。送信が始まります。

ワンポイント

- 送信はダイレクト送信になります。
- 手動送信した場合、相手機がスーパーG3機であっても、スーパーG3で通信されません。（スーパーG3通信より、通信時間が長くなります。）
- 相手先の番号を間違えたときは、最初からやりなおしてください。
- 送信を中止したいときは、 ストップ キーを押します。
- 通信が終了した後、受話器（本体電話機）が外れているとアラームがなります。

通信中に次の送信予約をする

通信中に送信の予約をすることができます。現在の通信が終了すると、予約した送信を開始します。最大100通信まで送信予約できます。

通信中、送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

075–123–4567
A4　　　　ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

相手先のファクス番号を入力します。

【例】123-456-7890と入力したとき

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123–456–7890█

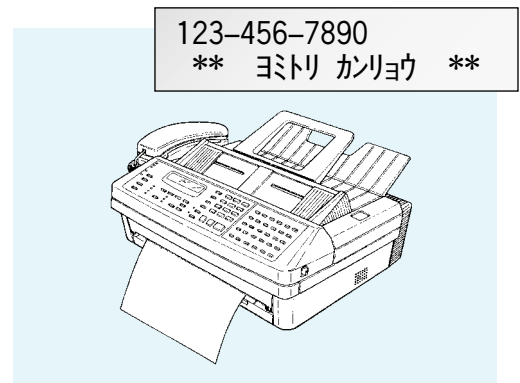
スタート キーを押します。

●原稿をメモリに読み取り中は、矢印がスクロールします。

123–456–7890
A4 →→→→→　　　ﾒﾓﾘ 75%

4 読み取りが終了します。

●ダイレクト送信の場合は、通信が終了してから送信を始めます。

123–456–7890
** ﾖﾐﾄﾘ ｶﾝﾘｮｳ **

通信中の画面に戻ります。

●現在の通信が終了してから、送信を開始します。

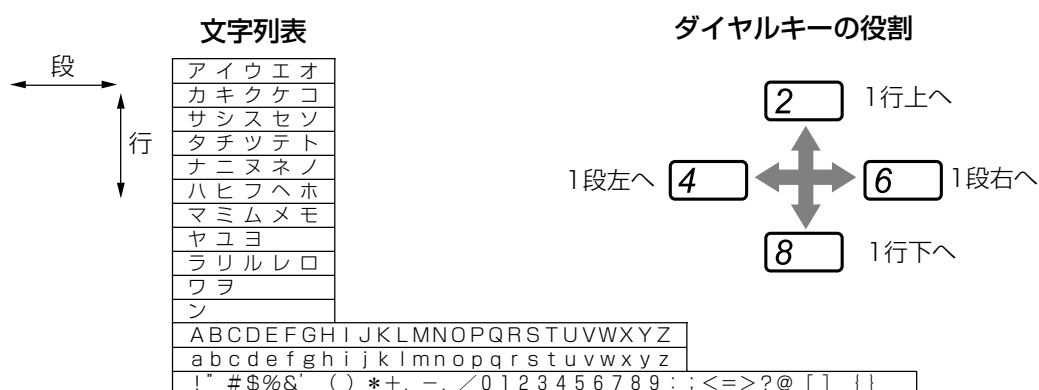
075–123–4567
A4　　　　ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

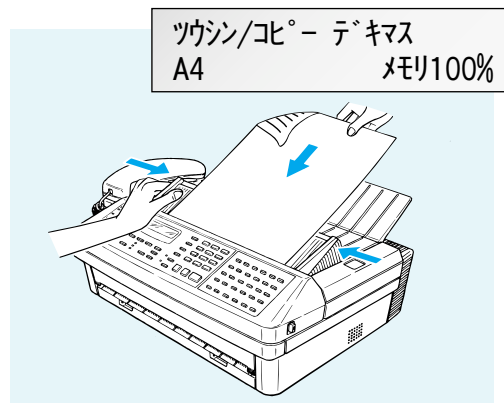
ワンポイント

- 入力した数字を修正するときは、クリア を押して入力した数字を削除し、改めて正しい数字を入力します。
- 読み取りを中止するときは、ストップ キーを押してください。
- 送信を始めたあとの中止は、46ページを参照してください。
- メモリが一杯のとき原稿の読み取りはできません。
- 通信予約が100件になると「ツウシン　デキマセン」と表示され、自動送信ができなくなります。その場合は手動送信を行ってください。（42ページ参照）

電話帳で送信する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにセットした相手先を、50音別に検索して送信することができます。

●あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、相手先名を登録する必要があります。（144、147ページ参照）

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）
●必要に応じて、メモリ送信、ダイレクト送信を設定します。（37ページ参照）

2 **短縮／電話帳 キーを2回押します。**

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ [ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ :S009

ダイヤルキーで送信したい相手先を検索し、表示させせます。

●相手先名の右側には、表示している相手先名が登録されているワンタッチ番号「［ＸＸ］」、または短縮番号「ＳＸＸＸ」が表示されます。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ        [ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ        :S009
```

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ        [ｶ]
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ   :S003
```

スタート キーを押します。
送信を始めます。

●メモリ送信のときは、原稿を読取ってから送信を開始します。
●ダイレクト送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

ワンポイント

● 読み取りを中止するときは、ストップ キーを押してください。
● 送信を始めたあとの中止は、46ページを参照ください。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

4 送信文書を中止／確認する

原稿が読み取られた後に送信を中止したいときは、次の操作をします。また、通信予約されている文書をプリントしたり、リストをプリントして、予約を確認することもできます。

現在送信中の文書の中止

[通信中止／確認] キーを押します。

●現在送信中の文書が表示されます。

```
C07:1234567
        ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

2 **[クリア] キーを押します。**

```
C07:1234567
ｶｸﾆﾝ      ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

3 **もう一度、[クリア] キーを押します。**

●次の通信文書がある場合は、ディスプレイに表示されます。続けて中止したい場合は、手順2へ戻ります。
●操作を終了するときは [ストップ] キーを押します。
●次の通信文書がない場合は、自動的に待機状態に戻ります。

```
C07:1234567
 **  ｸﾘｱ ｶﾝﾘｮｳ  **
```

送信予約文書の中止／確認

1 **[通信中止／確認] キーを押します。**

●現在送信中の文書がある場合はその文書が表示されます。

```
C02:ﾄﾞｳﾎｳ
        ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

2 **[機能] キーを押して中止／確認したい送信予約文書を表示させます。**

●[機能] キーを押すごとに表示が変わります。

一括送信ボックス番号01に登録したとき

```
B01:[30]
        ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

▶ 同報送信のとき

```
C02:ﾄﾞｳﾎｳ
        ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

▶ グループ3への送信予約

```
C03:G03
        ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

通信先番号
S001 :短縮ダイヤル
[02]　:ワンタッチダイヤル
G03　:グループ送信
ﾄﾞｳﾎｳ　:同報通信

C01：予約番号
B01：一括送信ボックス番号

C：送信予約
B：一括送信文書

3 中止したい文書を表示し、クリア キーを押します。

```
C03:G03
ｶｸﾆﾝ          ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

4 もう一度、クリア キーを押します。

●次の通信文書が表示されます。続けて中止したい場合は手順2へ戻ります。
●操作を終了するときは ストップ キーを押します。

```
C03:G03
 **   ｸﾘｱ ｶﾝﾘｮｳ   **
```

同報送信の中止／確認

1 通信中止／確認 キーを押します。

●現在送信中の文書がある場合は、その文書が表示されます。

```
C07:123456
              ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

2 機能 キーを押して中止／確認したい同報送信を表示させます。

●ここで クリア キーを2回押すと、同報をまとめて消去します。

```
C02:ﾄﾞｳﾎｳ
              ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

3 同報送信の宛先別に消去／確認します。

① 同報 キーを押します。

●現在同報送信中の場合、送信中の宛先を表示します。

```
[04]
              ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

② 機能 キーを押すと次の同報宛先を表示します。

●もう一度 同報 キーを押すと、手順2へ戻ります。

```
S002
              ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

4 中止したい同報宛先を表示し クリア キーを押します。

```
S002
ｶｸﾆﾝ          ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

5 もう一度、クリア キーを押します。

●次の同報宛先が表示されます。続けて中止したい場合は手順4へ戻ります。
●通信文書の表示に戻るには 同報 キーを押します。
●操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。

```
S002
 **   ｸﾘｱ ｶﾝﾘｮｳ   **
```

●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

第2章 基本的な使いかた

グループ送信の中止／確認

グループ送信が実行されているときは、グループに登録されている各々の宛先を消去できます。
時刻指定などで、グループ送信が送信予約になっているときは各々の宛先を消去することはできません。

1 ［通信中止／確認］キーを押します。

●現在送信中の文書がある場合は、その文書が表示されます。

```
C07:123456
          ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

2 ［機能］キーを押して中止／確認したいグループ送信を表示させせます。

●ここで［クリア］キーを2回押すと、グループをまとめて消去します。
●グループに登録されている宛先を個別に中止する場合は手順3へ進みます。

【例】時刻指定などで送信予約になっている場合

```
C02:G05
          ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

G05　:時刻指定などで送信予約になっている場合
S001:グループに宛先が1ヶ所登録されている場合
ﾄﾞｳﾎｳ　:2つ以上のグループが指定されている場合
　　グループに宛先が2ヵ所以上登録されている場合

3 グループの宛先別に確認／消去します。
実行中のグループ送信は、グループに登録されている宛先別で消去できます。

① ［同報］キーを押します。

●送信中の宛先を表示します。

```
[04]
          ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

② ［機能］キーを押すと次の宛先を表示します。

●もう一度［同報］キーを押すと、手順2の画面に戻ります。

```
S002
          ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

4 中止したい宛先を表示し［クリア］キーを押します。

```
S002
ｶｸﾆﾝ      ｷﾉｳ/ｸﾘｱ
```

5 もう一度、［クリア］キーを押します。

●次のグループ宛先が表示されます。続けて中止したい場合は手順4へ戻ります。
●通信文書の表示に戻るには［同報］キーを押します。
●操作を中止するときは［ストップ］キーを押します。

```
S002
 **  ｸﾘｱ ｶﾝﾘｮｳ  **
```

ワンポイント

- グループに登録されている宛先を消去できるのは、グループ送信が実行されているときだけです。
- 予約中のグループ送信はグループ単位でしか消去できません。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信予約リストをプリントする

メモリに蓄積された原稿で、まだ送信を完了していない原稿のリストをプリントすることができます。通信予約が無い場合はディスプレイに「ツウシンマチ　アリマセン」と表示され、通信予約リストはプリントされません。

機能 キー → ワンタッチキー F → セット キーを押します。

F1 ツウシンヨヤク リスト
キノウ/セット

セット キーを押します。
通信予約リストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事　　Fax:123-456-7890

＊＊ 通信予約リスト ＊＊

P.1　　2003年 2月10日(月) 13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用機能	備考
C00	1234567	14,13:30		
C01	[01]	14,13:30	親展	1
C02	S001,G1	15, 7:00	中継	G5, G10
B01	123-4567	16, 1:00	一括	
1	2	3	4	5

1. No.

・C01 … 予約番号です。
・B01 … 一括送信のボックス番号です。

2. ダイヤル番号

指定した相手先の電話番号です。
・[01]　… ワンタッチダイヤルです。
・S001 … 短縮ダイヤルです。
・G1　 … グループ番号です。

3. 指定日時

登録した通信の日時です。

4. 応用機能

登録した機能の種類です。
・親　　展 … 親展送信、親展受信です。
・中　　継 … 中継指示送信です。
・ポーリング … ポーリングです。
・同　　報 … 同報送信です。
・検 索 ポ ー … 検索ポーリングです。
・F コ ー ド … Fコード送信です。
・F　ポ　ー … Fコードポーリングです。

5. 備考

親展番号、中継同報先などです。

ワンポイント

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 番号を間違えて入力したときは上書きして訂正してください。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信予約原稿をプリントする

時刻指定送信など、通信を予約している原稿をプリントして確認することができます。
予約番号がわからないときは、「送信予約文書の中止／確認」または、「通信予約リストをプリントする」を参照して予約番号を確認してください。
一括送信の原稿をプリントするときは、「一括送信原稿をプリントする」（81ページ）を参照してください。

機能 キー → ワンタッチキー F → ダイヤルキー 2 を押します。

F2 ﾖﾔｸｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2

セット キーを押します。

ﾖﾔｸｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾖﾔｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:

3

ダイヤルキーでプリントしたい予約番号（0～99）を入力します。

●番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

ﾖﾔｸｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾖﾔｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 7

セット キーを押します。
通信予約原稿がプリントされます。

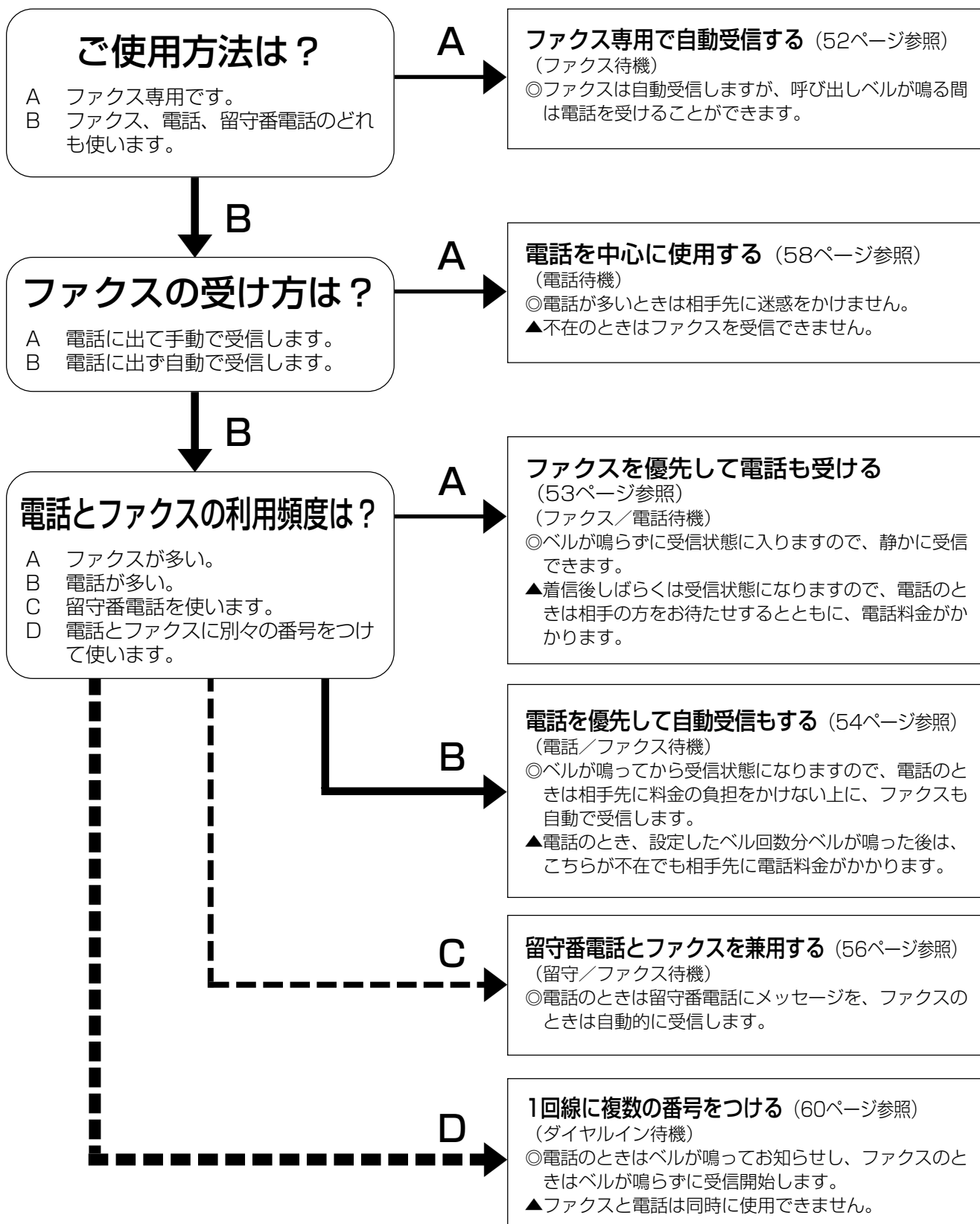
●入力した予約番号が無いときは「ツウシンマチ アリマセン」と表示されます。
●入力した予約番号がダイレクト送信あるいは、ポーリング受信のときは「ヨヤクゲンコウ ガ アリマセン」と表示されます。

ワンポイント

●操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

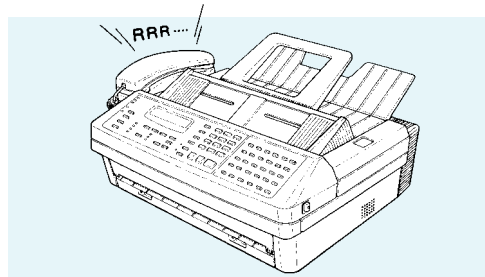
5 受信のしかた

受信モードを選ぶ

ご使用に合わせた受信モードをお選びください。以下の質問にお答えいただくと、どの受信モードが最良か選択できるようになっています。

ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）

- 設置モードの受信モード設定を、「ファクス タイキ」に設定してください。（21ページ参照）
- 自動受信ランプが消えているときは、自動受信 キーを押してランプを点灯させてください。

ベルが2（0～10）回鳴ります。

●ベルが鳴っている間に受話器（本体電話機）を上げると会話できます。相手側から「ポーポー」と音が聞こえたときは、相手はファクスです。スタート キーを押すと受信を開始します。
●お買い求め時は、ベル回数2回に設定されています。ベル回数は0～10回の間で変更できます。（174ページ参照）
●ベル回数を0回に設定した場合、ベルを鳴らさずに着信することができます。

受信を開始します。

●受信中は通信ランプが点灯します。
●受信が完了すると待機状態に戻ります。

ワンポイント

- ファクス専用モードの場合、本商品は電話を受けても自動的にファクスの受信動作を行います。ファクス専用モードでお使いの場合は、よく電話をおかけになってくるお得意様などに、あらかじめ別の電話にかけていただくようお伝えください。
- 次のようなときは自動着信しません。
  - ・メモリ代行受信が100通信入っているとき
  - ・液晶ディスプレイに「メモリガイッパイデス　ジュシンデキマセン」と表示され、メモリの空き容量が無いとき
- ベル回数は、0～10回の間で回数を設定することができます。ベル回数を増やし、着信するまでの時間を長くすることにより、電話に出やすくすることができます。（174ページ参照）

ファクスを優先して電話も受ける（ファクス／電話待機）

- 設置モードの受信モード設定を、「ファクス／デンワ　タイキ」に設定してください。（21ページ参照）
- 自動受信ランプが消えているときは、自動受信 キーを押してランプを点灯させてください。
- 着信後しばらくは受信状態になりますので、相手が電話の時は相手の方をお待たせするとともに、相手先に電話料金がかかります。

●相手先がファクス送信してきた場合

ベルが鳴らずにすぐに受信を開始します。

●相手先がファクスでも相手機によりベル音が鳴ることがあります。
●受信中は通信中ランプが点灯します。
●受信が完了すると待機状態に戻ります。

●相手先が電話してきた場合

着信後、約35秒後にベルが鳴ります。

●着信後から相手に通話料金がかかります。
●着信後は相手には次の音声メッセージが流れ、ファクス応答音「ピー」を返します。

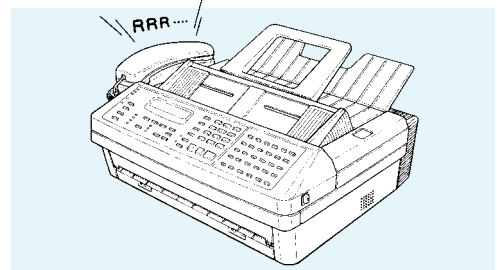
この電話はファクシミリに接続されています。ピーという音の後に送信してください。電話をご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。「ピー」（ファクス応答音）

●ファクス応答音終了後、相手には次の音声メッセージが流れた後、保留メロディが流れます。

ただいま、呼び出しております。そのまましばらくお待ちください。

●電話にでない場合は、相手に次の音声メッセージが流れ、回線を切ります。

呼び出しましたが、近くにおりません。申し訳ございませんが、のちほどおかけ直しください。

●相手がファクスの場合はファクスの受信を開始します。

相手先と会話します。

ワンポイント

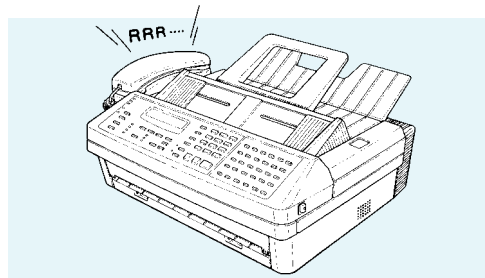
- 相手が電話の場合の電話呼び出しは、外付電話機のベルも鳴ります。（外付電話機の種類によってはベルが鳴らない場合もあります。）
- 次のようなときは自動着信しません。
  - ・メモリ代行受信が100通信入っているとき
  - ・液晶ディスプレイに「メモリガイッパイデス　ジュシンデキマセン」と表示され、メモリの空き容量が無いとき
- 自動着信後の音声メッセージを流さないようにすることができます。詳しくは当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
- よく電話をかけてこられる相手先には、前もって少々お待ちいただくようにお伝えください。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。受話器（本体電話機）で受けたときは、すぐに［スタート］キーを押してください。外付電話機で受けたときは、外付電話機の受話器を戻すと受信を始めます。（オンフック受信59ページ参照）
- 相手側機の機種により、ファクスと電話の自動切替が働かない場合があります。

電話を優先して自動受信もする（電話／ファクス待機）

- 設置モードの受信モード設定を、「デンワ／ファクス　タイキ」に設定してください。（21ページ参照）
- 自動受信ランプが消えているときは、［自動受信］キーを押してランプを点灯させてください。
- 電話のとき、ベル2（0～10）回を超えますと、ファクスは着信状態になりますので、こちらが不在でも相手先に電話料金がかかります。

●相手先がファクス送信してきた場合

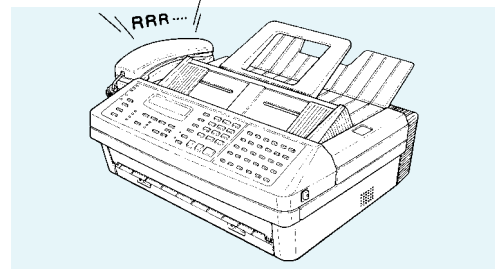
ベルが2（0～10）回鳴ります。

- ベルが鳴ってる間に受話器（本体電話機）を上げると会話できます。
- ベル回数は0～10回の間で変更できます。（174ページ参照）
- ベル回数を0回に設定した場合、ベルを鳴らさずに着信することができます。
- 外付電話機のベルも鳴ります。

受信を開始します。

- 受信中は通信中ランプが点灯します。
- 受信が完了すると待機状態に戻ります。

●相手先が電話してきた場合

ベルが2（0～10）回鳴ります。

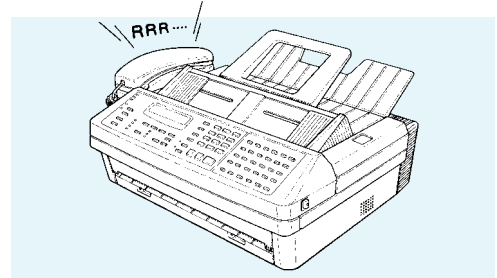
●ベルが鳴ってる間に受話器（本体電話機）を上げると会話できます。
●ベル回数は0～10回の間で変更できます。（174ページ参照）
●ベル回数を0回に設定した場合、ベルを鳴らさずに着信することができます。
●外付電話機のベルも鳴ります。

自動着信します。

●ここから相手に通話料金がかかります。
●相手に最初の音声メッセージが流れます。

ただいま、電話を呼び出しております。ファクシミリをご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。

再度ベルが鳴ります。（約30秒）

●電話のベルが鳴ったら、受話器（本体電話機）を上げて会話します。
電話にでないときは、相手に次の音声メッセージが流れます。

呼び出しましたが、近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は、ピーという音の後に送信してください。「ピー」（ファクス応答音）

相手先と会話します。

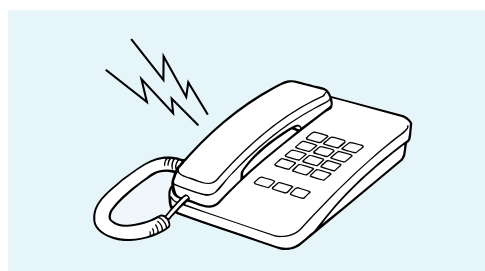
ワンポイント

●外付電話機で電話に出たときでもファクスを受信状態に切り替えられます。（59ページ参照）
●次のようなときは自動着信しません。
・メモリ代行受信が100通信入っているとき
・液晶ディスプレイに「メモリガイッパイデス　ジュシンデキマセン」と表示され、メモリの空き容量が無いとき
●自動着信後の音声メッセージを流さないようにすることができます。詳しくは当社のサービス取扱所へご相談ください。
●相手が手動送信の場合、受話器（本体電話機）を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、
スタート キーを押してください。
●電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
●相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。受話器（本体電話機）で受けたときは、すぐに スタート キーを押してください。外付電話機で受けたときは、外付電話機の受話器を戻すと受信を始めます。

留守番電話機とファクスを兼用する（留守／ファクス待機）

- 設置モードの受信モード設定を、「ルス／ファクス　タイキ」に設定してください。（21ページ参照）
- 自動受信ランプが消えているときは、[自動受信] キーを押してランプを点灯させてください。
- 留守番電話機の接続コードをファクスの「PHONE 2」に接続してください。
- 留守番電話機を留守設定にしてください。

●相手先がファクス送信してきた場合

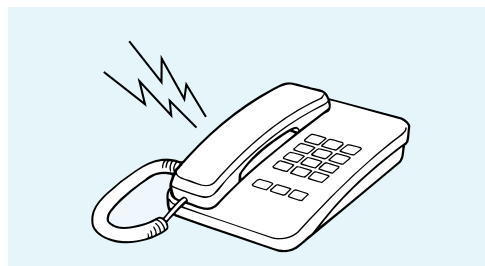
留守番電話機に設定された回数のベルが鳴ります。

2 **留守番電話機に設定された応答メッセージが流れます。**

●ここから相手に通話料金がかかります。

3 **受信を開始します。**

●受信中は通信中ランプが点灯します。
●プリントが完了すると待機状態に戻ります。

●相手先が電話してきた場合

留守番電話機に設定された回数のベルが鳴ります。

応答メッセージが流れます。

●ここから相手に通話料金がかかります。

用件録音を開始します。

●10秒間無音が続くとファクス受信状態になります。
●用件録音後、受信することができます。

●留守番電話機の応答メッセージの録音例

例1. 通常ファクシミリとして使っている場合
「ハイ、こちらは○○です。ファクスの方は送信してください。」など…
例2. ふだんは電話として使っていて不在のときだけファクスに切り替える場合
「ハイ、○○です。ただいま外出しています、お名前とご用件をお話しください。ファクスの方は送信してください。」など…

STOP お願い

●留守受信モードにした場合は、接続している留守番電話機を用件録音ができる状態にしてください。留守番電話機を用件録音できるようにしていないと、ファクス受信はできなくなります。
● 留守番電話機の呼び出しベル回数を1回に設定している場合は留守/ファクス自動切り替えが働かない場合があります。2回以上に設定してください。

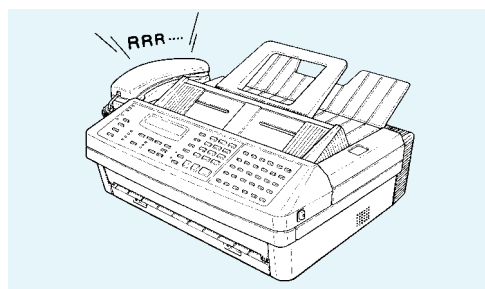
ワンポイント

●留守番電話機の種類によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなるものがあります。
●留守番電話機の用件録音が満杯の状態などで、留守番電話機が応答しない場合は、ファクス受信もできません。
●留守番電話機の応答メッセージと相手のメッセージ録音にかかる時間が30秒をこえたときや、プッシュ信号を、3回検出したときはファクス受信状態になりません。
●相手が手動送信のファクスのときは、留守番電話が起動し、応答メッセージを送出してからファクスに切り替わりますので、留守番電話の応答メッセージに「ファクシミリの方は送信してください。」旨の録音をしてください。
●留守番電話機の応答メッセージ送出時や相手のメッセージ録音時に何もしゃべらない（無音）状態が約10秒続くと、自動的にファクスの受信状態になります。
●次のようなときは相手がファクスの場合でも自動受信しません。
・メモリ代行受信が100通信入っているとき
・液晶ディスプレイに「メモリガイッパイデス　ジュシンデキマセン」と表示され、メモリの空き容量が無いとき
● 「ルス／ファクス　タイキ」に設定されているときでもオンフック受信を行いたい場合は、当社のサービス取扱場にお問い合わせください。

電話を中心に使用する（電話待機）

受話器（本体電話機）をとり、相手を確認してから受信を開始することができます。（手動受信）

● 自動受信 キーを押して、自動受信ランプを消灯させてください。
● 原稿がセットされている場合、スタート キーを押すと送信を始めてしまいます。原稿が無いことを確認してください。

電話の呼出しベルが鳴ったら受話器（本体電話機）を上げます。

2 相手先と会話します。
●相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

3 スタート キーを押します。
●相手からの用件を確認して、スタート キーを押してから受話器（本体電話機）を戻してください。

受信を開始します。
●プリントを完了すると待機状態に戻ります。

STOP お願い

● 原稿挿入口に原稿がセットされている場合は、手動受信できません。

ワンポイント

● 手動受信した場合、相手機がスーパーG3機であっても、スーパーG3で通信されません。（スーパーG3通信より、通信時間が長くなります。）
● 次のようなときは手動受信はできません。
 ・メモリ代行受信が100通信入っているとき
 ・液晶ディスプレイに「メモリガイイッパイデス　ジュシンデキマセン」と表示され、メモリの空き容量が無いとき
● 相手が手動送信の場合、受話器（本体電話機）を上げても無音の場合がありますので、「もしもし」など相手が電話でないことを口頭で確認の上、スタート キーを押してください。
● 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。受話器（本体電話機）で受けたときは、すぐに スタート キーを押してください。外付電話機で受けたときは、外付電話機の受話器を戻すと受信を始めます。（オンフック受信59ページ参照）

外付電話機でファクスを受ける（オンフック受信）

相手先がファクスを送信してきた場合に、増設した電話の受話器をとったとき、ファクスの スタート キーを押さなくても、受話器を戻すだけで自動的に受信を開始することができます。

外付電話機の受話器を上げます。

●電話の場合はここで会話します。

2 「ポーポー」音を確認します。

●相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

受話器を置きます。

●受信が始まります。

STOP お願い

- 受話器を置いた後、常に本商品が約20秒間着信状態になります。その間は、送信や受信、電話をかけたり受けたりすることはできません。着信状態になる時間を変更したいときは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 以下の場合はオンフック受信ができません。
  - ・相手が手動送信の場合などで「ポーポー」という音が聞こえない場合。
  - ・こちらから電話をかけたとき。
  - ・本商品の受信モードが「ルス／ファクス　タイキ」のとき。
  - ・キャッチホンをご利用の場合。（ファクスを受信する場合は、スタート キーを押してください。）
  - ・液晶ディスプレイに「メモリガイッパイデス　ジュシンデキマセン」と表示されているとき。（63ページを参照して適切な処置を行ってください。）

ワンポイント

- 「ルス／ファクス　タイキ」に設定されているときでもオンフック受信を行いたい場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 回線の状況、外付電話機の種類によっては受信できない場合があります。
- 相手が手動送信の場合、受話器を上げても無音の場合がありますので、「もしもし」など相手が電話でないことを口頭で確認の上、受話器を戻してください。

6 1回線で複数の番号をつける（ダイヤルイン）

ダイヤルイン契約した電話番号（3番号分まで）をファクス番号、受話器（本体電話機）用番号、外付電話機用番号として登録し、その登録に基づいてダイヤルイン着信したときの4桁の番号で、ファクス受信および電話を区別することができます。

- あらかじめ当社へお申し込みください。
- ダイヤルインとナンバー・ディスプレイの両方をご使用になる場合は、モデムダイヤルインの契約を行ってください。
- ダイヤルイン利用時は、外付電話機でナンバー・ディスプレイを利用することはできません。外付電話機に、ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」にしてください。
- 電話とファクスは同時に使用できません。

登録する

① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 1、4 を押します。
② セット キーを押します。

J14 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2

① ダイヤルキーで、ファクス用の番号を入力します。
② セット キーを押します。

【例】1234と入力したとき

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ｾｯﾄ
ﾌｧｸｽ: 1234

3

① ダイヤルキーで、受話器（本体電話機）用の番号を入力します。
- PHONE1端子につながれた受話器（本体電話機）用の番号を入力します。

② セット キーを押します。

【例】1235と入力したとき

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ｾｯﾄ
PHONE1: 1235

4

① ダイヤルキーで、外付電話機用の番号を入力します。
- PHONE2端子につながれた外付電話機用の番号を入力します。
- 2回線分の契約の場合は、受話器（本体電話機）用（PHONE1）の番号と同じ番号を入力します。

② セット キーを押します。

【例】1236と入力したとき

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ｾｯﾄ
PHONE2: 1236

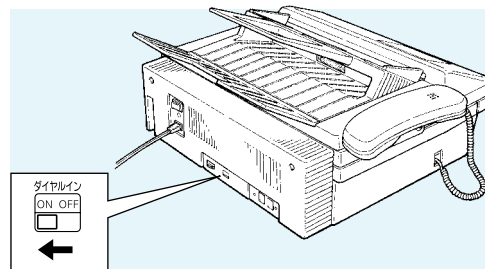
5

① ダイヤルキーで、着信ベル時間を入力します。
② セット キーを押します。
- ダイヤルインがセットされます。

【例】60秒と入力したとき

ﾍﾞﾙｼﾞｶﾝ ｾｯﾄ
(10–60) 60

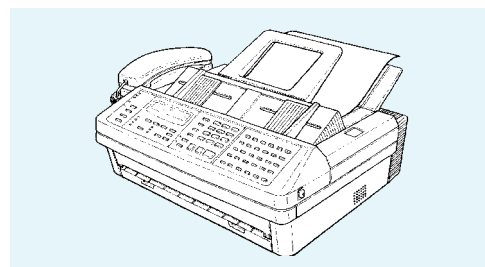
本体のダイヤルインスイッチをONにします。

●待機画面に「ダイヤルイン　タイキ」と表示され、受信モードがダイヤルイン待機に設定されます。

- 入力した数字の変更は、[＜] [＞] キーでカーソルを移動し、入力し直します。
- 操作を中止するときは、[ストップ] キーを押します。

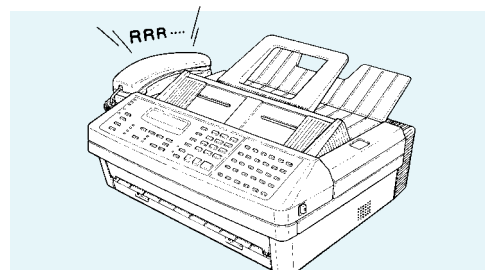
ダイヤルインのときの動き

《ファクス用番号にかかってきた場合》

1

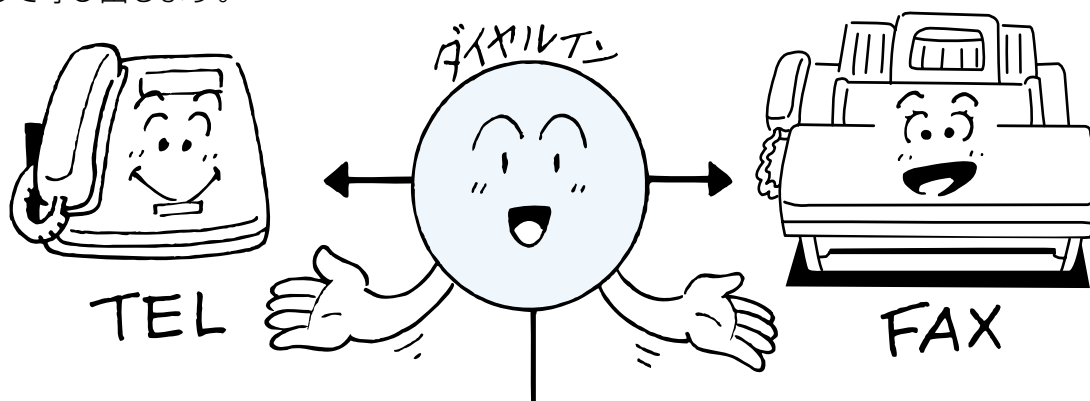
呼び出しベルを鳴らさず、すぐに受信を開始します。

《受話器（本体電話機）用番号／外付電話機用番号にかかってきた場合》

ベルが30（10～60）秒鳴ります。

●受話器（本体電話機）と外付電話機に同じ番号を登録しているときは、同時にベルが鳴ります。
●モデムダイヤルインをご使用の場合は、相手側が電話を切るまでベルが鳴り続きます。

受話器（本体電話機）または、外付電話機の受話器を取って通話します。

●相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。受話器（本体電話機）で受けたときは、すぐに [スタート] キーを押してください。外付電話機で受けたときは、外付電話機の受話器を戻すと受信を始めます。

ダイヤルインについて

本商品はダイヤルインを利用し、1本の回線でファクスと電話を自動的に切り替えて使用することができます。あらかじめファクス用、電話用の内線電話番号を設定しておけば、ファクス用電話番号にかかってきたときは、ベルを鳴らさずにファクス受信し、電話用電話番号にかかってきたときは、ベルを鳴らして呼び出します。

お願い

- ダイヤルインのご利用については、利用契約が必要ですので当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- ダイヤルインとナンバー・ディスプレイの両方をご使用になる場合は、モデムダイヤルインの契約を行ってください。
- ダイヤルインのご契約の際、送出番号は必ず4桁にしてください。
- 停電時は、受話器（本体電話機）を使って電話をかけることはできますが、ファクスの送信・受信をすることはできません。ファクス用番号にかかってきた場合でも、電話用番号にかかってきた場合と同じ動作になります。（下記参照）
- 停電時に電話を受けるには、以下のような特別な操作を行う必要があります。

【PBダイヤルインをご契約の場合】
①呼び出しベルが2回鳴るまでに受話器（本体電話機）を上げる。
②プッシュ信号「ピッポッパッ」という発信音を聞く。
③発信音の後、2秒以内に受話器（本体電話機）を元に戻す。
④もう一度、受話器（本体電話機）を上げると通話できる。
【モデムダイヤルインをご契約の場合】
①短い間隔の呼び出しベルが鳴り終わるまで待つ。約6秒（ベル音約7回）
②呼び出しベルの間隔が長くなったときに受話器（本体電話機）を上げると通話できる。
＊①の呼び出しベルで受話器（本体電話機）を上げた場合、「ピーガー」という発信音を聞いたら直ぐに受話器を元に戻してください。その後、再び呼び出しベルが鳴りますので、受話器を上げると通話できます。

ワンポイント

- ダイヤルインを設定すると受信モードは、「ダイヤルイン待機」に固定されます。「ダイヤルイン待機」では、あらかじめ設定された受信モードにかかわらず、ファクス用番号にかかってきたらベルを鳴らさずにファクスが自動受信し、電話用番号にかかってきたらベルが鳴ります。
- ダイヤルイン待機に設定した場合、自動受信キーを使って手動受信に切り替えることはできません。
- 電話呼び出しのベルは、相手が待っているかどうかに関係なく、約30秒間（初期設定）で鳴り終わります。そのため、ベルが鳴り終わってから受話器を上げても、まだ相手先が待っていれば、電話がつながることがありますので電話呼び出しのベルが鳴ったときは、鳴り終っても一度受話器をあげて電話が切れていることを確認してください。また、相手が電話を切った場合でも、電話呼び出しのベルが鳴る場合があります。そのため、ベルが鳴っている間に受話器を上げても、電話が切れていることがありますが故障ではありません。また、ベルが鳴る時間を変えることができます。（60ページ手順5参照）

7 受信中の動作について

受信中の表示について

●ディスプレイの上段には相手先が表示され、下段には画質モードが表示されます。通信が終了するまで通信中ランプが点灯します。

```
ABCｼｮｳｼﾞ
ｼﾞｭｼﾝ        ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

ワンポイント

- プリント中はトップカバーを開けないでください。用紙づまりの原因になります。
- 相手先は次の優先で表示されます。1.相手先の自局名　2.相手先の自局ID
  ※相手先ファクスに自局名・自局IDの登録が必要です。
  ※自局名の表示は、相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 受信中にメモリオーバーしたときは受信が中止されます。下記「メモリが残り少なくなったとき」を参照して、メモリの空き容量を確保してから相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- 記録紙受けに収容できる記録紙の枚数は50枚です。記録紙はためすぎないようにしてください。ためすぎると排出不良となり、記録紙づまりの原因となります。

代行受信について

●代行受信とは、記録紙切れ、記録紙づまりなどでプリントできないときに、受信文書をいったんメモリに蓄積する機能です。記録紙切れなどの処置が終わると、蓄積されている文書が自動的にプリントされます。メモリに代行受信文書が蓄積されているときは、代行受信ランプが点灯し続けます。
●記録紙切れの場合、受信原稿はB4サイズとして蓄積されます。代行受信後にA4サイズの記録紙を補給した場合は、A4サイズに縮小してプリントします。

メモリが残り少なくなったとき

●メモリ代行受信などで残りメモリが少なくなった場合、液晶ディスプレイに「メモリ ガ イッパイデス ジュシン デキマセン」の表示がされます。この状態では自動受信およびポーリング送信（100ページ参照）ができません。メモリに蓄積された原稿をプリントするなどしてメモリの空き容量を確保してください。

```
ﾒﾓﾘ ｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ
ｼﾞｭｼﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝ
```

ワンポイント

- 記録紙の交換や記録紙詰まりの解除は、電源をONのまま行ってください。
  ※記録紙をセットする（18ページ参照）
  ※記録紙づまりを解除する（178ページ参照）
- メモリには最大100通信、約255枚受信できます。
  ※蓄積枚数は、A4版700字程度で標準画質（8×3.85本/mm）の原稿を、MH符号化方式により蓄積したときの枚数です。なお、実際の枚数は受信モード、原稿の内容、画像符号化方式により異なります。
- 代行受信中にメモリオーバーしたときは、受信が中止されエラーメッセージが表示されます。受信文書は、用紙切れなどの処置が終わると、蓄積できたところまでがプリントされます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- メモリに蓄積された画像データは、停電や電源をOFFにしたときでも、次のような条件で保持されます。
  ※メモリに蓄積された画像データは、約50時間保持されます。ただし、あらかじめ24時間連続して通電されている必要があります。
  ※メモリに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。（191ページ参照）

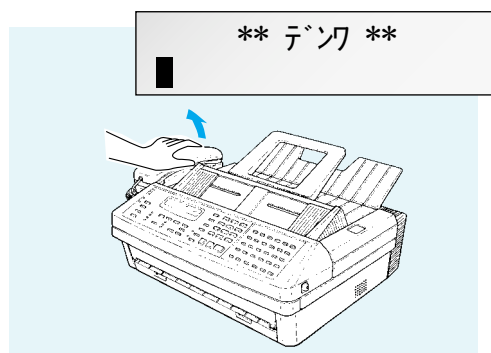
8 電話のしかた

いろいろな方法で電話をかけられます。

- 本商品の電源がOFFのときも、受話器（本体電話機）内側のダイヤルキーから電話をかけることができます。
- リダイヤルは、本体のダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳で電話をかけた最後の相手にダイヤルします。受話器（本体電話機）内側のダイヤルキーで電話をかけた場合、リダイヤルはできません。

ダイヤルキー／受話器（本体電話機）でかける

受話器（本体電話機）を取り上げます。

●または フック／会話予約 キーを押します。

2 ダイヤルします。

●ダイヤルキーで相手の電話番号を入力します。

相手が出たら会話します。

● フック／会話予約 キーを押した場合は、受話器（本体電話機）を上げると会話できます。

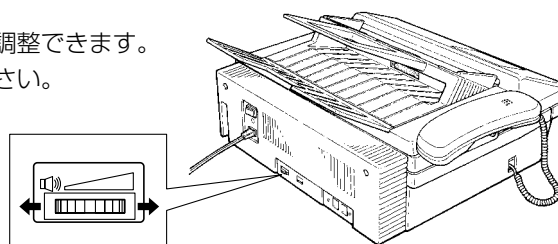
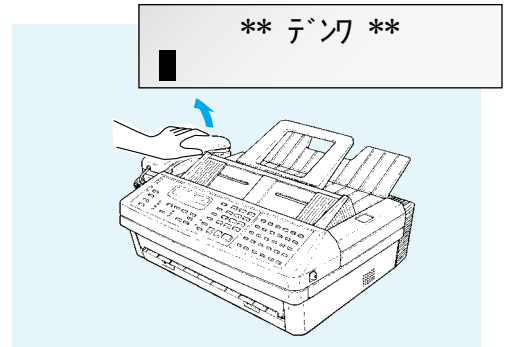
- ボリューム音の調整

フック／会話予約 キーを押したときのツー音の大きさを調整できます。
スピーカー音量ボリュームを左右に動かして調整してください。

ワンタッチダイヤルでかける

受話器（本体電話機）を取り上げます。

●または フック／会話予約 キーを押します。

** デ゛ンワ **

2 ワンタッチキーを押します。

【例】ワンタッチキー 01 に 123-4567と電話番号が登録されているとき

** デ゛ンワ **
123–4567

3 相手が出たら会話します。

● フック／会話予約 キーを押した場合は、受話器（本体電話機）を上げると会話できます。

ワンポイント

● プログラムワンタッチ キーは、電話をかけるときには使用できません。
●停電時にワンタッチダイヤルは使用できません。

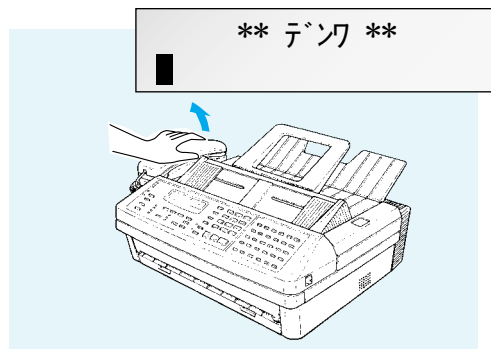
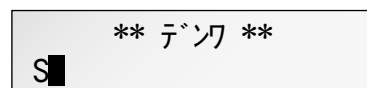
短縮ダイヤルでかける

受話器（本体電話機）を取り上げます。

●または フック／会話予約 キーを押します。

```
** デ゛ンワ **
█
```

2 短縮／電話帳 キーを押します。

```
** デ゛ンワ **
S█
```

3 ダイヤルキーで短縮番号（3桁）を入力します。

●短縮番号は001～196を使用できます。

【例】入力した短縮番号に123-4567と電話番号が入力されているとき

```
** デ゛ンワ **
123-4567█
```

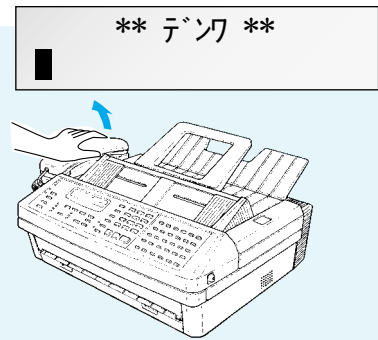
相手が出たら会話します。

●フック／会話予約 キーを押した場合は、受話器（本体電話機）を上げると会話できます。

●停電時に短縮ダイヤルは使用できません。

同じ相手にもう一度電話する（リダイヤル）

受話器（本体電話機）を取り上げます。

●または［フック／会話予約］キーを押します。
●受話器（本体電話機）のダイヤルキーで電話をした場合はリダイヤルできません。
●停電時にはリダイヤルはできません。

［リダイヤル／ポーズ］キーを押します。

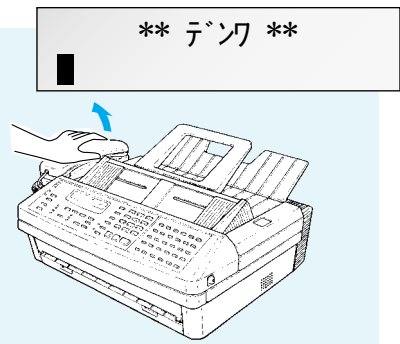
●リダイヤルの最大桁数は40桁です。ただし、ダイヤル記号の「ポーズ（－／）」「PB信号送出（－！）」は2桁として数えられます。

3 相手が出たら会話します。

●［フック／会話予約］キーを押した場合は、受話器（本体電話機）を上げると会話できます。

電話帳でかける

受話器（本体電話機）を取り上げます。

●または［フック／会話予約］キーを押します。

［短縮／電話帳］キーを2回押します。

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ [ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ :S009

ダイヤルキーで電話したい相手先を検索し、表示させせます。

●相手先の検索は44ページを参照してください。
●相手先名の右側には、表示している相手先名が登録されているワンタッチ番号、または短縮番号が表示されます。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ       [ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ       :S009
```

▼

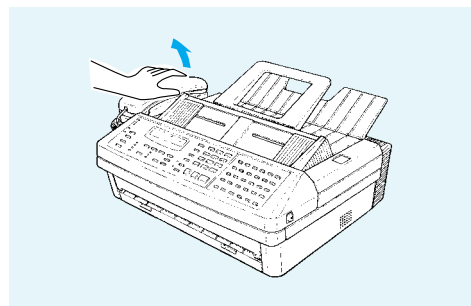
```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ       [ｶ]
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ   :S003
```

スタート キーを押します。

回線がつながったら相手先と会話します。

●フック／会話予約 キーを押した場合は、受話器（本体電話機）を上げると会話できます。

電話を受ける

ベルが鳴ったら、受話器（本体電話機）を取り上げます。

相手が出たら会話します。

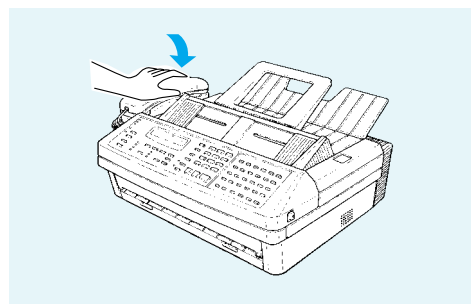
●外付電話機を接続しているときは、外付電話機でも電話を受けることができます。

●相手先から「ポーポー」と音が聞こえたり、無音のときは相手はファクスです。スタート キーを押すと受信できます。

通話中に保留する

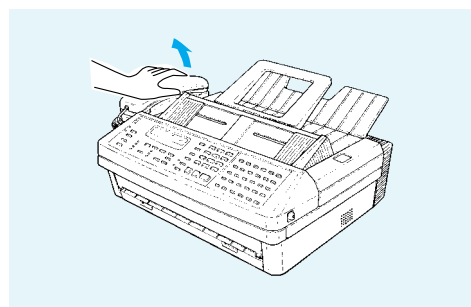
保留中には、相手先に保留メロディが流れます。（本商品からは聞こえません。）
保留メロディは、消すこともできます。（175ページ参照）

通話中に 保留 キーを押します。

●相手先に保留メロディが流れます。

受話器（本体電話機）を元に戻します。

3

保留を解除するときは受話器（本体電話機）を取り上げます。

●受話器（本体電話機）を元に戻さず側に置いているときは、再度 保留 キーを押すと解除されます。

ワンポイント

- 保留 キーは通話中何度も使用することができます。
- 停電時は保留することはできません。また、保留中に停電になった場合は保留が解除されます。そのとき受話器（本体電話機）を外していればそのまま通話ができますが、受話器（本体電話機）を電話台に戻している場合は通話が切れてしまいます。
- 保留中は1分ごとに「ピピピピッ」とアラームが鳴ります。
- 5分以上保留した場合は、自動的に保留解除されます。受話器（本体電話機）を電話台に戻して保留していた場合は、電話が切れます。
- フック/会話予約 キーを押して、相手の声をスピーカーで聞いている場合は保留できません。
- 受話器（本体電話機）を電話台に戻しているとき、保留中に外付電話機の受話器を上げると、保留が解除され保留中の通話が転送されます。外付電話機で保留中に本商品の受話器（本体電話機）を上げたときは、保留は解除されず通話は転送されません。

キャッチホンを利用する

キャッチホンをご利用になるには、当社とのご契約が必要です。

キャッチホンご利用の注意

キャッチホンをご契約の場合は、次の点にご注意ください。

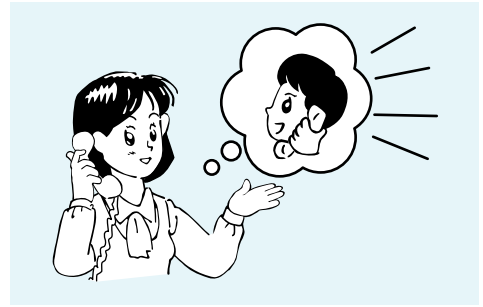
- ファクスの送信や受信中に他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- また上記の場合、電話がかかってきたことは、こちらではわかりません。キャッチホンの異常ではありませんので、ご了承願います。
- キャッチホンⅡをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

Aさんと通話中、Bさんから電話が入るとキャッチホンの信号（プップッ）が聞こえます。

2 **受話器（本体電話機）のフックを「ポンッ」と1回押します**

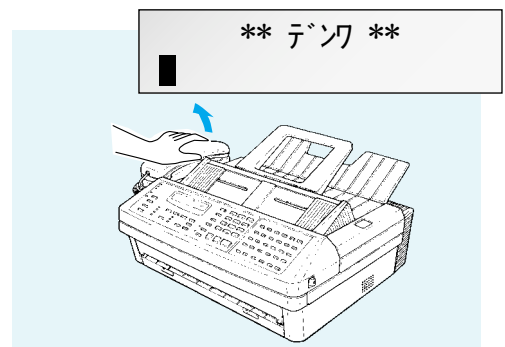
3 **Bさんと通話します。**

4 **Bさんとの通話が終わるか、待ってもらうとき受話器（本体電話機）のフックを「ポンッ」と1回押します。**

Aさんと通話します。

PB信号（プッシュホンサービスを利用するとき）

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後に ダイヤル記号 キーを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSWER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話機における遠隔制御など）を利用することができます。PB回線でご使用の場合は、この操作は不要です。

受話器（本体電話機）を取り上げます。

●または フック／会話予約 キーを押します。

2 電話をかけます。

```
** ﾃﾞﾝﾜ **
123-4567
```

3 ダイヤル記号 キーを押します。

● ダイヤル記号 キーを押すと、液晶ディスプレイに「－！」が表示され、それ以降のダイヤルがPB信号（「ピッポッパッ」）に変わります。電話を切るとPB信号送出は解除されます。

```
** ﾃﾞﾝﾜ **
123-4567-!#890*7#
```

9 コピーのしかた

コピーでは、画質、濃度、コピー部数を設定することができます。複数枚の原稿から複数部のコピーをとるときは自動的に仕分け（ソート）をします。
原稿サイズがB4で記録紙がA4の場合、自動的に縮小率を決めて（約81%）縮小コピーを行います。（拡大コピーはできません）

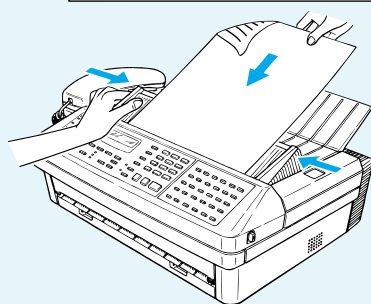
●法律でコピーが禁止されているものや、注意を呼びかけられているものがありますのでご注意ください。（5ページ参照）

コピーする面を下に向け原稿をセットします。

ﾂｳｼﾝ/ｺﾋﾟｰ ﾃﾞｷﾏｽ
A4 ﾒﾓﾘ100%

2

［コピー］キーを押します。

ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ 01
ｺﾋﾟｰ/ｽﾄｯﾌﾟ

ダイヤルキーでコピー部数を入力します。

●1～99部まで指定できます。
●設定しない場合は、自動的に1部コピーされます。
●間違えて入力したときは、正しい部数を入力し直してください。
●部数を設定したときは、原稿をメモリに読込んでからコピーを開始します。

ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ 12
ｺﾋﾟｰ/ｽﾄｯﾌﾟ

必要により、画質、濃度を選択します。
（36ページ参照）

●部数を設定しない場合、「標準」を選択しても「高画質」でコピーします。

［コピー］キーを押して、コピーを開始させます。

【例】部数を設定してコピーしたとき

ｺﾋﾟｰ
A4 →→→→→ ﾒﾓﾘ 75%

ワンポイント

●通話中でもコピーできます。（ただし、通話中に［保留］キーを押して保留にした場合はコピーはできません。）

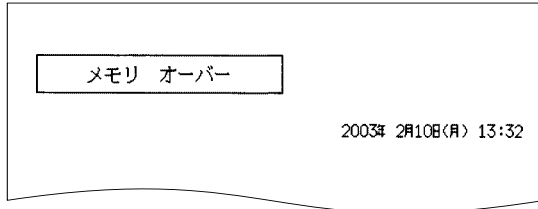
●コピー中にメモリオーバーしたとき

原稿1枚目でメモリオーバーしたとき

●コピーを中止します。

●「メモリオーバー」とエラーメッセージがプリントされます。

メモリ オーバ゛ー デ゛ス

（プリント例）

原稿2枚目以降でメモリオーバーしたとき

メモリ オーバ゛ー デ゛ス
メモリ ブ゛ンノミ コピ゜ー/クリア

●蓄積した分をコピーするとき コピー キーを押します。

●蓄積した分を消去するとき クリア キーを押します。

●1分間放置するとメモリに蓄積した分をコピーします。

ワンポイント

● 入力した数字を変更するときは、続けて2桁の数字を入力してください。

● コピーを中止したいときは、 ストップ キーを押します。

● コピーを禁止する設定もできます。（174ページ参照）

● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

第3章
便利な使いかた

もくじ

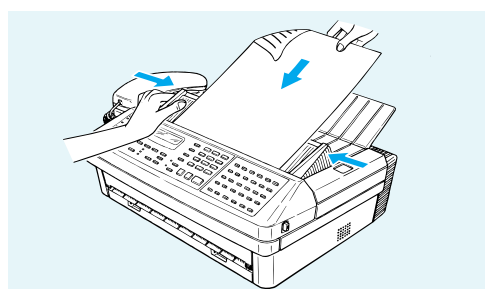
1 送信編
多数の相手に1度に送信する

多数の相手へ1度の操作で送信する機能で、相手先ごとに繰り返して原稿を読み取る必要がなく、操作の手間が省けます。

同報送信

- 相手先指定時にワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループ、およびダイヤルキー入力を組合わせることにより、最大240宛先まで指定することができます。
- ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。
- スタート キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

2 相手先のファクス番号を入力します。

●ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（38ページ参照）
●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567█
```

3 同報 キーを押します。

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567,█
```

手順2〜3の操作を繰り返して、すべての相手先を入力します。

●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを組合わせることにより、240宛先まで指定できます。（ダイヤルキーによる指定は20宛先までです。）
●電話帳から相手先を入力することもできます。

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567,[01],G1█
```

スタート キーを押します。

●原稿をメモリに読み取り、送信を開始します。

ワンポイント

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループにて入力するときは、同報 キーを押さなくても、次々と相手先を入力できます。ダイヤルキーで複数の相手先を入力するときは、同報 キーを押す必要があります。
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
- 読み取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
- 原稿読み取り後は、通信中止／確認 キーで消去、確認できます。（46ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

グループ送信

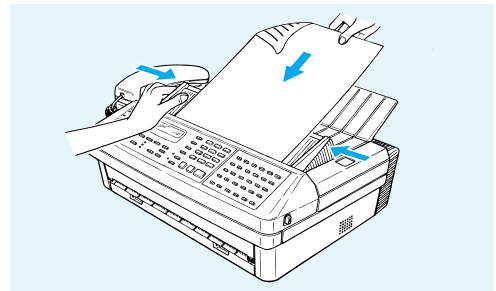
- 複数の送り先（最大220宛先）を1つのグループに登録しておくと、原稿セットを1回するだけで複数の相手先へ送信できます。
- この機能を使うには、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録のときに、あらかじめグループ番号の登録が必要です。（144、147ページ参照）

- 登録されているグループ番号は、グループリストで確認できます。（163ページ参照）
- スタート キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。(36ページ参照)

2 グループ キーを押します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
G█
```

ダイヤルキーで、グループ番号（0～32）を入力します。

●2個以上のグループ番号を入力するときは、グループ キーを押して区切ってください。
●0を入力した場合、全てのグループ番号（1～32）に送信します。

【例】グループ番号1を入力したとき

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
G1█
```

スタート キーを押します。

●原稿をメモリに読み取り、送信を開始します。

ワンポイント

- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
- 読み取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
- 原稿読み取り後は、通信中止／確認 キーで消去、確認できます。（46ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

送信編

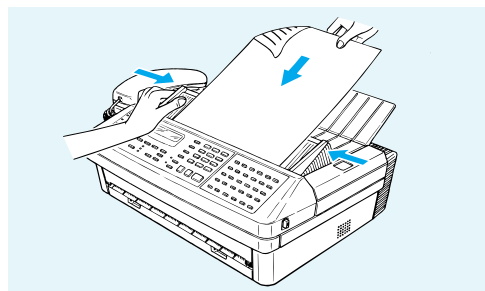
2 送信時刻を指定する（時刻指定送信）

通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

- １ヵ月先まで、送信時刻を指定できます。
- 時刻指定した文書は、指定した時刻になると送信されます。
  ＊ダイレクト送信を指定すると、指定した時刻になるまで原稿がセットされたままになり、別の送信ができなくなります。
- 他の応用通信（同報送信、中継指示送信、親展送信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリング）と組合わせて指定することもできます。

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。(36ページ参照)

2

① 応用通信 **キーを押します。**

```
1.ジ゛コクシテイ ツウシン
      オウヨウツウシン/セット
```

② セット **キーを押します。**

●現在の日時を表示します。

```
ジ゛コクシテイ ツウシン
ジ゛コクヲ ト゛ウゾ゛ 10/13:30
```

3

①ダイヤルキーで、送信日時を入力します。

●1桁のときは先頭に0をつけます。
●時刻は24時間制で入力します。
●変更の必要がない場合は、 < > キーを押して次の数字にカーソルを移動します。

```
ジ゛コクシテイ ツウシン
ジ゛コクヲ ト゛ウゾ゛ 18/21:00
```

② セット **キーを押します。**

相手先のファクス番号を入力します。

●ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（38ページ参照）
●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
● 同報 キーで区切ることにより最大２４０宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）

```
スタートキー ヲ ト゛ウゾ゛
123-4567
```

5 スタート キーを押します。

原稿の読み取りが始まります。

●ダイレクト送信を指定した場合でも、宛先を複数指定したときは、自動的に原稿をメモリに読み込んでから送信を開始します。
●読み取りが完了すると、ディスプレイには「＊＊　ヨヤクチュウ　＊＊」と表示されます。
●指定時刻になると送信を開始します。

ワンポイント

●番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
●読み取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
●原稿読み取り後は、通信中止／確認 キーで確認、消去できます。（46ページ参照）
●指定した時刻の変更を行う場合は、変更したい時刻指定送信を 通信中止／確認 キーで消去し（46ページ参照）、再び時刻指定送信を設定してください。
●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

3 送信編

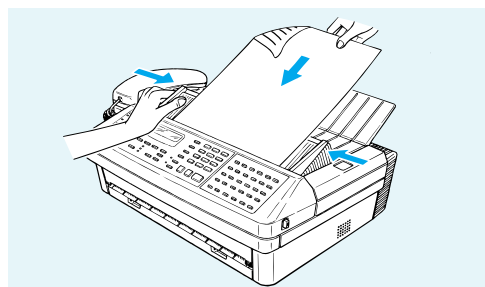
同じ相手にまとめて送信する（一括送信）

頻繁に送信する相手先専用に、送信日時を決めた一括送信ボックスをメモリ内に用意しておき、複数の文書をまとめて送ることができます。

一括送信の指定をする

- あらかじめ、一括送信ボックスの設定が必要です。（84ページ参照）
- 毎日一定の時刻に送信することや、1カ月に1回日時を決めて送信することができます。
- 一括送信ボックスは5個あり、それぞれ40件の原稿をメモリすることができます。
- 操作の途中に指定した一括送信ボックスに対して、各原稿のファイル番号が表示されます。原稿はこのファイル番号で管理され、確認や消去のときに使用しますので、メモをとることをおすすめします。

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

2

① 応用通信 キーを5回押します。

```
5.ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
      ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

```
ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:     █
```

3

① ダイヤルキーで、一括送信ボックス番号（1～5）を入力します。

●番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

【例】ボックス番号2を入力したとき

```
ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:    2█
```

② セット キーを押します。

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
ﾎﾞｯｸｽ: 2  ﾌｧｲﾙ:  00
```

4

ファイル番号を確認し、スタート キーを押します。原稿の読み取りが始まります。

●ファイル番号は、一括送信原稿の確認や消去に必要ですので控えておいてください。

●原稿をメモリに読み取り中は、矢印がスクロールします。

```
ﾎﾞｯｸｽ: 2  ﾌｧｲﾙ:  00
A4 →→→→→    ﾒﾓﾘ 75%
```

ワンポイント

- 番号を間違えて入力したときは［クリア］キーを押して訂正してください。
- 読み取りを中止するとき、操作を中止するときは［ストップ］キーを押してください。
- 原稿読み取り後は、［通信中止／確認］キーで確認、消去できます。（46ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

一括送信原稿をプリントする

① ［機能］キー → ワンタッチキー［N］→ ダイヤルキー［4］を押します。
② ［セット］キーを押します。

```
N4 ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

① ダイヤルキーで、一括送信ボックス番号（1～5）を入力します。
② ［セット］キーを押します。

【例】ボックス番号2を入力したとき

```
ｲｯｶﾂｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:       2█
```

3

ダイヤルキーで、ファイル番号（0～39）を入力します。

- ファイル番号がわからないときは、一括送信原稿リストをプリントして確認します。
- ファイル番号を間違えて入力したときは［クリア］キーを押して正しい番号を入力してください。

【例】0を入力したとき

```
ｲｯｶﾂｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:      0█
```

［セット］キーを押します。

- 一括送信原稿がプリントされ、待機画面に戻ります。
- 指定されたボックスのファイル番号に原稿がない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示し、待機画面に戻ります。

一括送信原稿リストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー N → ダイヤルキー 3 を押します。

N3 ｹﾞﾝｺｳ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

セット キーを押します。

●一括送信原稿リストがプリントされ、待機画面に戻ります。

（プリント例）

ABC商事（株）　　Fax:123-456-7890

＊＊　一括送信原稿リスト　＊＊

2003年 2月10日（月） 13:30

No.	相手先名	受付番号
1	ﾄｳｷｮｳ ｼﾃﾝ	0，1，2
2	ｵｵｻｶ ｼﾃﾝ	0，1
3	ﾅｺﾞﾔ ｼﾃﾝ	0

1. No.
一括送信ボックスの番号です。

2. 相手先名
一括送信ボックスの名前です。

3. 受付番号
蓄積されている原稿のファイル番号です。

一括送信原稿を消去する

① 機能 キー → ワンタッチキー N → ダイヤルキー 6 を押します。
② セット キーを押します。

```
N6 ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

① ダイヤルキーで、一括送信ボックス番号（1～5）を入力します。
② セット キーを押します。

【例】ボックス番号2を入力したとき

```
ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:      2█
```

① ダイヤルキーで、ファイル番号（0～39）を入力します。
●ファイル番号がわからないときは、一括送信原稿リストをプリントして確認します。プリント方法は82ページを参照してください。
●ファイル番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

【例】 0を入力したとき

```
ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:       0█
```

② セット キーを押します。
●指定されたボックスのファイル番号に原稿がない場合は、「ゲンコウガ　アリマセン」と表示し、待機画面に戻ります。

```
ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

4

消去してもよければ、 セット キーを押します。
●消去を中止するときは 機能 キーを押します。

●操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。

一括送信ボックスを登録する

1

① 機能 キー → ワンタッチキー N → セット キー を押します。
② セット キーを押します。

N1 ボ゛ックス セット
キノウ/セット

2

① ダイヤルキーで、登録したい一括送信ボックス番号（1～5）を入力します。
- ＜ ＞ キーを押してボックス番号を選択することもできます。
- すでに一括送信ボックスが登録されている場合には、相手先のファクス番号が表示されます。

② セット キーを押します。

ボ゛ックス ヲ エランデ゛クダ゛サイ
2:セット サレテイマセン

3

① ダイヤルキーで、相手先のファクス番号を入力します。（最大40桁）
- 同報、グループダイヤルは登録できません。
- ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（38ページ参照）
- 間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

2:ダ゛イヤル バ゛ンゴ゛ウ
123-456-7890█

4

① ダイヤルキーで、送信時刻（日 時 分）を入力します。
- 1桁のときは先頭に0を付けます。
- 毎日同じ時刻に送りたいときは、「00」を入力します。
- 間違えて入力した場合は ＜ ＞ キーでカーソルを移動させ、上書きしてください。

② セット キーを押します。

【例】21日　午後2時30分と入力したとき

2:ソウシン ジ゛カン
ジ゛コクヲ ト゛ウゾ゛ 21/14:30

5

① 相手先名を入力します。
- 24文字まで登録できます。
- 文字入力については「文字入力のしかた（23ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

② セット キーを押します。
- 次のボックス番号の登録に移ります。

2:アイテサキメイ　:カタカナ
ナコ゛ヤ シテン█

6

続けて一括送信ボックスを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

ワンポイント

- すでに登録されている一括送信ボックスの内容を変更する場合は、一括送信ボックスの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから新しく入力します。
- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

一括送信ボックスを消去する

一括送信ボックスに原稿が蓄積されているときは消去できません。

① 機能 キー → ワンタッチキー N → ダイヤルキー 5 を押します。

```
N5 ボ゛ックス クリア
          キノウ/セット
```

② セット キーを押します。

① ダイヤルキーで、消去したいボックス番号（1～5）を入力します。

● < > キーを押してボックス番号を選択することもできます。

```
ボ゛ックス ヲ エランデ゛クダ゛サイ
3:987-654-3210
```

② セット キーを押します。

```
イッカツ ソウシン ボ゛ックス クリア
カクニン         キノウ/セット
```

3

消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

●消去を中止するときは、機能 キーを押します。

4

続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

一括送信ボックスリストをプリントする

1. 機能 キー → ワンタッチキー N → ダイヤルキー 2 を押します。

N2 ﾎﾞｯｸｽ ﾘｽﾄ
キノウ/セット

2. セット キーを押します。

●一括送信ボックスリストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事（株）　Fax:123-456-7890

＊＊ 一括送信BOXリスト ＊＊

2003年 2月10日(月) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時
1	ﾄｳｷｮｳ ｼﾃﾝ	1234-5678	0, 9:00
2	ｵｵｻｶ ｼﾃﾝ	06-6123-4567	1,17:00
3	ﾅｺﾞﾔ ｼﾃﾝ	052-123-4567	22,22:00
1	2	3	4

1. No.
一括送信ボックスの番号です。

2. 相手先名
一括送信ボックスの名前です。

3. ダイヤル番号
登録した相手先の電話番号です。

4. 指定日時
登録した送信日時です。0は毎日送信することを示します。

ワンポイント

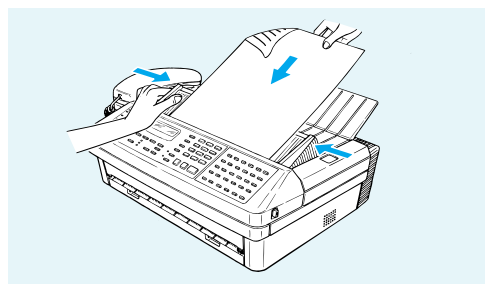
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

4 中継機を使って送信する（中継指示送信）

原稿をいったん中継機に送信し、中継機から同報送信させる機能です。通信の作業量や電話料金を分担でき、遠距離の複数の相手先へ同報送信する場合などに便利です。
中継指示送信には2種類の方法があります。（ここでは中継指示送信について説明しています。）
・中継指示送信　…… 当社の中継機能を持つファクシミリ専用の機能です。
・Fコード中継通信 … 他社を含むFコード通信に対応したファクシミリで使用できる機能です。（110ページ参照）

- 中継機は機種が限定されます。本商品を中継機として使用することもできます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- スタート キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）
- 中継指示送信は中継機にセットされているグループ番号で送信先を指定します。あらかじめ中継機にセットされているグループ番号のリストを入手してください。
- 中継機でも中継指示された原稿をプリントします。

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

2

① 応用通信 キーを3回押します。

```
3.チュウケイシジ ソウシン
      オウヨウツウシン/セット
```

② セット キーを押します。

```
チュウケイシジ ソウシン
グループ バンゴウ: █
```

3

① ダイヤルキーで、中継先のグループ番号を入力します。

```
チュウケイシジ ソウシン
グループ バンゴウ: 1,2,█
```

●複数のグループ番号を入力するときは、グループ キーを押して区切ります。
●10グループまで指定することができます。
●グループ番号0を入力すると、全てのグループを指定することになります。

② 全てのグループ番号を入力後、 セット キーを押します。

中継機のファクス番号を入力します。

```
スタートキー ヲ ドウゾ
123-4567█
```

●ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（38ページ参照）
●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
●同報 キーで区切ることにより最大240宛先まで指定できます。
（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）
●応用通信 キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）

[スタート] キーを押します。
原稿の読み取りが始まります。

ワンポイント

- 操作を中止するとき、読み取りを中止するときは [ストップ] キーを押してください。
- 番号を間違えて入力したときは [クリア] キーを押して訂正してください。
- 原稿読み取り後は、[通信中止／確認] キーで確認、消去できます。（46ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

5 送信編
原稿といっしょに送信案内証を送る（メッセージ送信）

送信原稿といっしょに、簡単な文書（メッセージ）の入った送信案内証を自動的につけて送信することができます。

● 送信案内証を設定する前にメッセージを登録してください。メッセージを登録しない場合、送信案内証のメッセージ欄は空白になります。

送信案内証をつけて送信する（メッセージ送信）　初期設定：OFF

● 送信案内証を付加するかしないかの設定をします。
・ON ……送信案内証が送信原稿の1枚目につけられます。
・OFF …送信案内証はつけられません。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー K → セット キーを押します。
② セット キーを押します。

K1 ﾒｯｾｰｼﾞ ｿｳｼﾝ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

3 セット キーを押します。
●メッセージ送信が設定されます。

登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー K → ダイヤルキー 2 を押します。
② セット キーを押します。

K2 ﾒｯｾｰｼﾞ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 メッセージを入力します。
●半角文字は40文字まで、全角文字は20文字まで登録できます。
●文字入力については「文字入力のしかた（23ページ）」を参照してください。

ﾒｯｾｰｼﾞ　：ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(4B68)(4559)█

3 セット キーを押します。
●メッセージが登録されます。

ワンポイント
● 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。

変更／消去する

1 「登録する」の手順1～2を行います。

2 クリア キーで表示されているメッセージを消去します。

メッセージ　　　:カタカナ
█

3 新しいメッセージを入力するときは、“登録する”の手順2に従って入力してください。

4 操作が完了したら セット キーを押します。
●メッセージが変更／消去されます。

送信案内証をプリントする

●セットしたメッセージをプリントします。

1 機能 キー → ワンタッチキー K → ダイヤルキー 3 を押します。

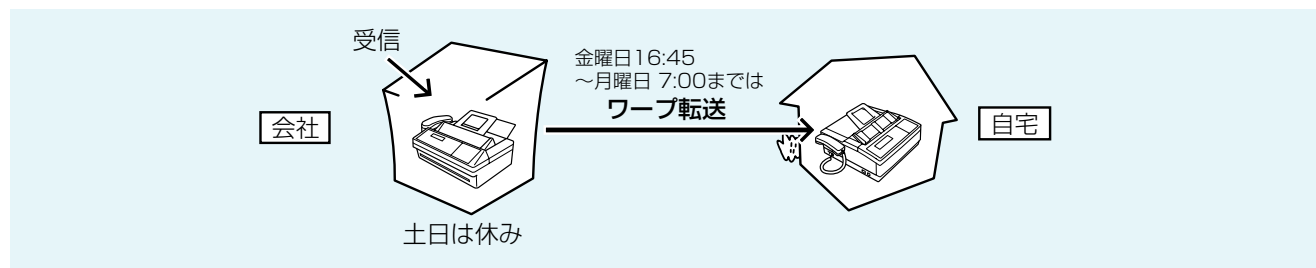
K3 メッセージ リスト キノウ/セット

2 セット キーを押します。
●送信案内証がプリントされます。

（プリント例）

●操作を中止するときは、ストップ キーを押します。

6 受信編 受信原稿を転送する（FAXワープ）

設定時間内に受信した原稿を指定された宛先に転送します。転送方法は5つまで登録できます。

FAXワープを設定する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー Q → ダイヤルキー 3 を押します。
② セット キーを押します。

Q3 FAXﾜｰﾌﾟ ｾｯﾃｲ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

3 セット キーを押します。
●FAXワープが設定されます。

ワンポイント

●次の受信原稿のときは、転送しません。
・ポーリング受信原稿
・中継指示を受けた原稿
・親展受信原稿
・Fコード親展受信原稿
・Fコード掲示板に蓄積された原稿
・Fコード中継指示を受けた原稿
●操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

FAXワープの転送方法を登録する

● FAXワープ転送をする相手先の番号、転送する時刻、転送する原稿のプリント方法を登録します。FAXワープの転送方法は5つまで登録できます。

① 機能 キー → ワンタッチキー Q → セット キーを押します。
② セット キーを押します。

```
01 FAXﾜｰﾌﾟ ｾｯﾄ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

はじめて転送番号を登録するとき
➡ 手順3に進み、転送番号を入力します。

```
1:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
█
```

すでに転送番号が登録されているとき
➡ 機能 キーで登録されていない番号を選択し、セット キーを押します。

```
3:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
█
```

① ダイヤルキーで転送する相手先の番号を入力します。
●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを使用できます。
●相手先は221宛先まで登録できます。同報 キーを押して相手先を区切ります。
●ダイヤルキーによる入力は1宛先のみです。
●番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力し直してください。

```
3:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
654-3210,[01],S001█
```

② セット キーを押します。

4

① ダイヤルキーで転送を開始する時刻・終了する時刻を指定します。
（時刻を指定しないときは セット キーを押して手順5へ進みます）

② セット キーを押します。

【例】金曜日16:45～月曜日 7：00まで転送するとき

```
3:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(金) 16:45--(月) 07:00
```

転送開始　転送終了

転送時刻の入力のしかた

●「＊」は指定されていないという表示です。
●曜日はダイヤルキーで入力します。

ダイヤルキー 0 …（日）　ダイヤルキー 4 …（木）
ダイヤルキー 1 …（月）　ダイヤルキー 5 …（金）
ダイヤルキー 2 …（火）　ダイヤルキー 6 …（土）
ダイヤルキー 3 …（水）

●ダイヤルキー ＊ を押すと1文字を消去（＊に戻す）します。
＊ クリア キーを押すと、指定時刻をすべて消去します。
＊入力をまちがえた場合は、 < > キーを押してカーソルを移動し入力し直してください。

●曜日または時刻を指定しないこともできます。

【例】曜日を指定しないとき毎日16:45～次の日の7:00まで転送

```
3:シテイ ジ゛コク
(*) 16:45--(*) 07:00
```

【例】時刻を指定しないとき土曜日の0:00～日曜日の23:59まで転送

```
3:シテイ ジ゛コク
(土) **:**--(日) **:**
```

＊片方が曜日、もう片方が時刻という指定はできません。

① 機能 キーで、同時プリントのONまたはOFFを選択します。

・ON … 本商品でも転送先でも受信原稿をプリントします。
・OFF … 本商品では転送した原稿をプリントしません。

```
3: ト゛ウシ゛ フ゜リント: ON
              キノウ/セット
```

```
3: ト゛ウシ゛ フ゜リント: OFF
              キノウ/セット
```

② セット キーを押します。

●次の登録に移ります。

続けて登録するときは、手順3から操作を繰り返します。
登録を終了するときは、 ストップ キーを押します。

ワンポイント

● 登録されている内容を変更する場合は
手順2にて変更したい番号を選択し、登録手順の中で変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。

● 登録されている内容を消去する場合は
手順2にて消去したい番号を選択し、 クリア キーを押します。登録内容が消去され、次の登録内容が繰り上がり表示されます。

FAXワープリストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー Q → ダイヤルキー 2 を押します。

Q2 FAXﾜｰﾌﾟ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

●FAXワープリストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事（株）　Fax:123-456-7890

＊＊ FAXワープ リスト ＊＊

P.1　2003年 2月10日（月）13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定時刻	同時ﾌﾟﾘﾝﾄ
1	[01]	(金)21:00 ～ (月)06:00	ON
2	G1	(－)22:00 ～ (－)07:00	OFF
3	S001	(－)22:00 ～ (－)07:30	ON
1	2	3	4

1. No.

転送方法の登録番号です。

2. ダイヤル番号

転送先として登録した相手先の番号です。

3. 指定時刻

転送を開始する日時と転送を終了する日時です。

4. 同時プリント

ON …本商品でも転送先でも受信原稿をプリントします。
OFF …本商品では転送した原稿をプリントしません。

7 受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）

セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリに蓄積し、プリントアウトしないようにします。この機能を活用すると、夜間などオフィスが無人になる時間帯に受信した原稿を、メモリに記憶させておくことができます。受信した原稿は、あとから記録紙にプリントできます。

- あらかじめプロテクトコードを設定してください。（167ページ参照）
- プロテクトコードが解除されると、セキュリティ受信も解除されます。
- セキュリティ受信をONに設定すると、毎日開始時刻にセキュリティ受信が始まります。
- セキュリティ受信中に受信原稿がある場合は代行受信ランプが点灯します。記録紙にプリントした時点で自動的に通常の受信動作に戻ります。

セキュリティ受信を設定する

初期設定：OFF

1

① 機能 キー → ワンタッチキー 0 → セット キーを押します。

② セット キーを押します。

●プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード ミトウロクデス」と表示されます。

01 ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2

① ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。

② セット キーを押します。

●プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード ガ　チガイマス」と表示されます。

ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾄ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :1234

3

① 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

●OFFを選択した場合は、この手順で終了です。

ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾄ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ 13:30

4

ダイヤルキーで、セキュリティ受信を開始する時刻を入力します。

ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾄ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ 18:00

5

セット キーを押します。

●セキュリティ受信がセットされます。

ワンポイント

- 操作を中止するときは、［ストップ］キーを押します。
- セキュリティ受信を解除する時は、手順3でOFFにセットします。（セキュリティ受信した原稿があるときは解除できません。）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

受信した原稿をプリントする

受信した原稿をプリントすると、通常の受信動作に戻ります。

1 ① ［機能］キー → ワンタッチキー［0］→ ダイヤルキー［2］を押します。
② ［セット］キーを押します。

```
02 ｼﾞｭｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2 ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。

```
ｼﾞｭｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ      :1234
```

3 ［セット］キーを押すと、受信した原稿をプリントします。
●受信した原稿がないときは「ゲンコウ ガ アリマセン」と表示されます。

```
** ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ **
```

- 操作を中止するときは、［ストップ］キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

8 受信編 パスコードが一致する相手だけ受信する（閉域通信）

閉域通信は相手機とパスコードが一致する場合にのみ受信する機能で、通信ネットワーク内の受信効率を高めることができます。

- 閉域通信をONにすると、パスコードが一致するファクスからの送信のみ受信できます。
- 閉域通信セット、パスコードセットともにセットしてください。
- 相手先にもパスコードセットをしてもらってください。
- パスコードはポーリング通信のときにも使用できます。（98ページ参照）
- 閉域通信は、相手機が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

閉域通信を設定する

初期設定：OFF

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 0、8 を押します。
② セット キーを押します。

```
J08 ﾍｲｲｷﾂｳｼﾝ ｾｯﾄ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

```
ﾍｲｲｷﾂｳｼﾝ:      ON
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

```
ﾍｲｲｷﾂｳｼﾝ:      OFF
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

3 セット キーを押します。
- 閉域通信が設定されます。

パスコードを設定する

初期設定：0000

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 0、7 を押します。
② セット キーを押します。

```
J07 ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ ｾｯﾄ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2 ダイヤルキーで、パスコードを4桁で入力します。
- パスコードを解除するときは0000と入力します。

【例】1234と入力したとき

```
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ ｾｯﾄ
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ       :1234
```

3 セット キーを押します。
- パスコードが設定されます。

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。

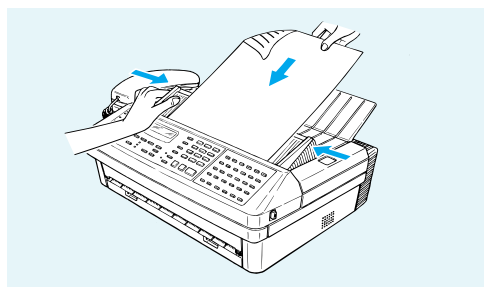
相手先の操作で送信する（ポーリング予約）

原稿をあらかじめメモリに蓄積しておくと、相手先からの操作で自動的に送信できます。料金は相手先の負担となります

- ポーリングは2種類あります。ファイル番号を入力したときは検索ポーリングに、入力しないときは通常ポーリングになります。
  ＊検索ポーリング（何件もメモリするとき）　：送信してもメモリに蓄積した原稿は、そのまま残り何回でも送信できます。
  ＊通常ポーリング（1件だけメモリするとき）：送信するとメモリに蓄積された原稿は自動的に消去されます。
- パスコードを相互に決めて、一致する場合のみポーリングできるように設定できます。
- パスコードの設定は97ページを参照してください。
- パスコードを使ったポーリング、検索ポーリングは、相手先がそれぞれの機能を持っている機種に限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

ポーリング予約する

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

2

① 機能 キー → ワンタッチキー D → セット キーを押します。
② セット キーを押します。

```
D1 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

3

検索ポーリングのときは、ダイヤルキーでファイル番号（00～99）を入力します。
通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順4に進みます。

●ファイル番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:    00█
```

セット キーを押します。

●ポーリング予約原稿が蓄積され、待機画面に戻ります。

●操作を中止するとき、読み取りを中止するときは ストップ キーを押します。

ポーリング予約原稿をプリントする

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー D → ダイヤルキー 3 を押します。
② セット キーを押します。

D3 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｹﾞﾝｺｳﾌﾟﾘﾝﾄ
キﾉｳ/ｾｯﾄ

2 検索ポーリングの原稿印字のときは、ダイヤルキーでファイル番号（00〜99）を入力します。
通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順3に進みます。
●ファイル番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 00

3 セット キーを押します。
●プリントを開始します。

ポーリング予約原稿を消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー D → ダイヤルキー 2 を押します。
② セット キーを押します。

D2 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
キﾉｳ/ｾｯﾄ

2 検索ポーリングの原稿消去のときは、ダイヤルキーで、ファイル番号（00〜99）を入力します。
通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順3に進みます。
●ファイル番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 00

3 セット キーを押します。
●ポーリング原稿が消去され、待機画面に戻ります。
●消去を中止するときは ストップ キーを押します。

ワンポイント
●操作を中止するとき、読み取りを中止するときは ストップ キーを押します。

送受信編

10 相手の原稿を取り出す（ポーリング）

相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させる機能です。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

- 一度の操作で最大240宛先の相手からポーリングする指示もできます。
- スタート キーを押す前に送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）
- パスコードを相互に決めて、一致する場合のみポーリングできるように設定できます。
- パスコードの設定は97ページを参照してください。
- パスコードを使ったポーリング、検索ポーリングは、相手先がそれぞれの機能を持っている機種に限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

① 応用通信 キーを4回押します。
② セット キーを押します。

```
4.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
     ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ
```

2

① 検索ポーリングのときは、ダイヤルキーでファイル番号（0〜9999）を入力します。

●通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順3に進みます。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:0█
```

② 続けてファイル番号を入力するときは、応用通信 キーを押してファイル番号を入力します。

●ファイル番号は10件まで指定できます。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:0,█
```

③ セット キーを押します。

3

① 相手先のファクス番号を入力します。

●ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（38ページ参照）

●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。

●応用通信 キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567█
```

② 複数の相手先を入力するには、同報 キーを押して相手先を区切ります。

●最大240宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）

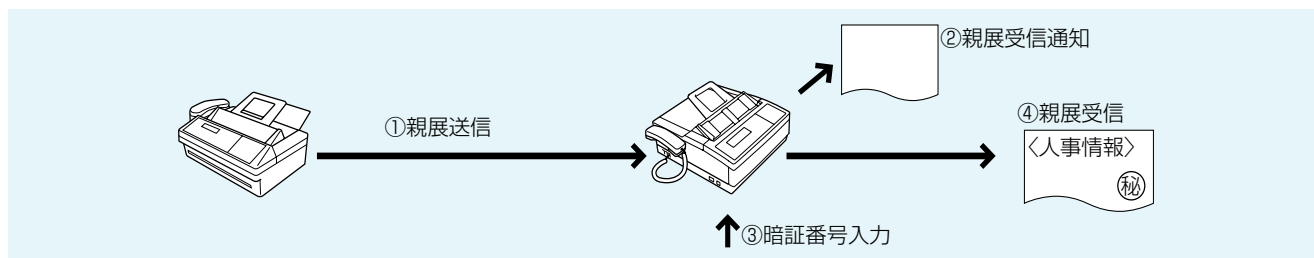
```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567,[01],G1█
```

スタート キーを押します。
ポーリングが開始されます

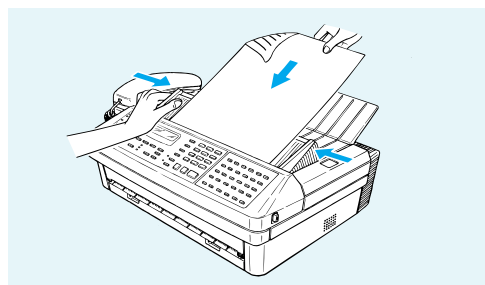
ワンポイント

- 検索ポーリングにて相手先の原稿を取り出すと、受信原稿の先頭に「D01」のように取り出したファイル番号がプリントされます。
- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。

11 親展通信をする

●受信側の特定の人だけがプリントできるように送信する機能で、機密保護の必要な文書を送信する場合に便利です。受信側に原稿が届くと、いったんメモリに蓄積され、「親展受信通知」がプリントされます。受取人はこの通知を見て受信原稿をプリントします。
●親展通信には2種類の方法があります。（ここでは親展通信について説明しています。）
・親展通信　　当社の親展機能を持つファクシミリ専用の機能です。
・Fコード親展通信
他社を含むFコード通信に対応したファクシミリで使用できる機能です。（109ページ参照）

親展送信

● 親展送信は、相手機が当社の親展機能を持った機種の場合に使用できます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
● あらかじめ相手側の親展ボックス番号を確認しておきます。
● [スタート] キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）

送信する面を下に向け原稿をセットします。
●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

2

① [応用通信] キーを2回押します。
② [セット] キーを押します。

```
2.ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
       ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ
```

3

① ダイヤルキーで、親展番号（1桁）を入力します。
② [セット] キーを押します。

【例】親展番号8を入力したとき

```
ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:        8█
```

相手先のファクス番号を入力します。

- ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（38ページ参照）
- ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
- [同報] キーで区切ることにより最大240宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）
- [応用通信] キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567█
```

[スタート] キーを押します。
原稿の読み取りが始まります。

ワンポイント

- 操作を中止するとき、読み取りを中止するときは [ストップ] キーを押してください。
- 番号を間違えて入力したときは [クリア] キーを押して訂正してください。
- 原稿読み取り後は、[通信中止／確認] キーで確認、消去できます。（46ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展受信

- 親展受信したときは、まず親展受信通知がプリントされます。親展受信通知に記載されている期間までに、親展受信した原稿をプリントしてください。プリントしなかった場合は自動的に消去されますので、ご注意ください。
- 親展受信は、相手機が当社の親展機能を持った機種の場合にのみ使用できます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- あらかじめ親展ボックスの登録が必要です。（103ページ参照）
- 親展受信文書をプリント後、文書は自動的にメモリから消去されます。

（プリント例）

ABC商事㈱　　　Fax:123-456-7890

親展受信通知

2003年 2月10日（月）13:30

No	親展者名	相手先名
0	ｻｰﾋﾞｽ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ

親展原稿を受信しました
〈親展原稿記憶期間〉
2003年 2月17日（月）13:29

① 機能 キー → ワンタッチキー E → ダイヤルキー 3 を押します。

② セット キーを押します。

```
E3 ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

① ダイヤルキーで、親展ボックス番号（0～9）を入力します。

●番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

●親展受信した原稿が無い場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示されます。正しい親展ボックス番号を確認してください。

```
ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:       1█
```

3 ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

【例】暗証番号1234を入力したとき

```
ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ   :1234
```

セット キーを押します。

親展受信文書がプリントされ、待機画面に戻ります。

●暗証番号が間違っていると、「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。操作をやり直してください。

ワンポイント

- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展ボックスを登録する

- 親展として送られてきた文書を受信するために、メモリ内に親展ボックスを登録します。
- 親展ボックスは10個まで登録できます。
- 親展者名と暗証番号は必ず両方とも登録してください。
- 暗証番号は、設定後どこにも表示されませんので、忘れないようにメモ等に書き留めておくことをおすすめします。

① 機能 キー → ワンタッチキー E → セット キーを押します。

② セット キーを押します。

```
E1 ｼﾝﾃﾝ ｾｯﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

第3章 便利な使いかた（送受信編）

2

① ダイヤルキーで、登録したい親展ボックスの番号を入力します。
② セット キーを押します。

【例】親展番号1を入力するとき

```
ｼﾝﾃﾝ ｾｯﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:        1█
```

3

① ダイヤルキーで暗証番号（0000）を入力します。
- 新規登録のときは暗証番号（0000）を入力します。
- 既に親展ボックスが登録されているときは「バンゴウ　ガチガイマス」と表示されます。

② セット キーを押します。

```
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:        1
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ     :0000
```

4

① 親展者名を入力します。
- 16文字まで登録できます。
- 文字入力については「文字入力のしかた（23ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

② セット キーを押します。

【例】ケイリブと入力するとき

```
1:ｼﾝﾃﾝｼｬﾒｲ  :ｶﾀｶﾅ
ｹｲﾘﾌﾞ█
```

5

ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。
- 暗証番号に0000は使用できません。0000は消去用の暗証番号として使用されます。
- 暗証番号を間違えた場合は正しい番号を上書きで入力してください。
- ここで登録した暗証番号は、親展文書をプリントするときや、親展ボックスを変更、消去するときに入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

【例】1234と入力するとき

```
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:        1
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ     :1234
```

6

セット キーを押し、終了します。

- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展ボックスを変更する

● 登録した暗証番号が一致しないときは変更できません。

「登録する」の手順1～2を行います。

2
① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。
●暗証番号が一致しない場合は変更できません。
② セット キーを押します。

3
親展者名を変更するとき（変更しないときは セット キーを押して手順4へ進みます。）
① クリア キーで表示されている親展者名を消去し、新しい親展者名を入力します。
＊16文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（23ページ）」を参照してください。
② セット キーを押します。

4
暗証番号を変更するとき（変更しないときは手順5へ進みます。）
新しい暗証番号（4桁）を上書き入力します。
●暗証番号に0000は使用できません。0000は消去用の暗証番号として使用されます。
●暗証番号を間違えた場合は正しい番号を上書きで入力してください。
●変更した暗証番号は、親展文書をプリントするときや、親展ボックスを変更、消去するときに入力が必要です。
忘れないように控えておいてください。

5
セット キーを押し、終了します。

親展ボックスを消去する

- 親展ボックスに親展受信文書が蓄積されている場合は消去できません。親展受信文書をプリントしてから操作してください。
- 登録した暗証番号が一致しないときは消去できません。

1 「登録する」の手順1～2を行います。

2 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。
●暗証番号が一致しない場合は消去できません。
●暗証番号を間違えた場合は正しい番号を上書きで入力してください。
② セット キーを押します。

3 消去したい親展ボックスを確認し、もう一度 セット キーを押します。

4 ダイヤルキーで、消去用の暗証番号0000を入力します。

```
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:       1
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ   :0000
```

5 セット キーを押し、消去します。
●親展ボックスが消去され、待機画面に戻ります。

- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展者リストをプリントする

●登録した親展者名をプリントして、親展通信を送信してこられる関係先へ配布しておいてください。

機能 キー → ワンタッチキー E → ダイヤルキー 2 を押します。

E2 ｼﾝﾃﾝｼｬ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

セット キーを押します。

（プリント例）

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊　親展者リスト　＊＊

2003年 2月10日（月）13:30

Box	親展者名
0	ｻｰﾋﾞｽ
1	ｴｲｷﾞｮｳ

親展文書の記憶期間を設定する

初期設定：1日

●親展ボックスに受信した親展文書を記憶しておく期間（日）を、1〜31日の間で設定します。休日や出張などのために内容を長期保存しておく必要がある場合に便利です。

① 機能 キー → ワンタッチキー E → ダイヤルキー 4 を押します。

E4 ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾒﾓﾘｷｶﾝ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾒﾓﾘｷｶﾝ
ﾒﾓﾘｷｶﾝ　（1–31）：　01

2

ダイヤルキーで、記憶期間（01〜31）を入力します。

●1桁の時は先頭に0を付けます。
●1〜31日を入力できます。1桁の場合は01と先頭に0を付けます。
●間違えて入力した場合は正しい数字を上書きで入力してください。

【例】30日と入力するとき

ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾒﾓﾘｷｶﾝ
ﾒﾓﾘｷｶﾝ　（1–31）：　30

セット キーを押します。

●記憶期間が登録され、待機画面に戻ります。

● 親展受信記憶期間を過ぎると親展受信消去通知がプリントされます。

（プリント例）

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

親展受信消去通知

2003年 2月10日 （月） 13:30

No	親展者名	相手先名
0	ｻｰﾋﾞｽ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ

親展受信原稿が消去されました。. . . . . .

- 停電や電源スイッチを切るなどして長い時間電源が切れた状態が続くと、メモリ内の受信情報が消えてしまいます。その場合も親展受信消去通知がプリントされます。（191ページ参照）
- 一旦、受信した原稿のメモリ期間を延長することはできません。
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

12 送受信編 Fコード通信をする

Fコード通信とは

ITU-T（国際電気通信連合電気通信標準化部門）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録されたFコードボックスを作成することで、メーカーや機種の枠を越えて親展通信、掲示板通信、中継指示通信を利用できます。

- Fコードボックスは50ボックス登録できます。（「Fコードボックスを登録する」118ページ参照。）
- 1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

サブアドレスとパスワード

- サブアドレスは、メモリ内に設定されたさまざまなFコードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）
- パスワードは、原稿をまちがって送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

Fコード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

●Fコード親展通信

通信相手にFコード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書をプリントできませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

・Fコード親展送信をする場合 … サブアドレスを使用した送信（110ページ参照）
・Fコード親展受信した場合 …… 蓄積原稿のプリント（114ページ参照）

●Fコード掲示板通信

通信相手にFコード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

・相手先の掲示板へ送信する場合 ……………… サブアドレスを使用した送信（110ページ参照）
・相手先の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合 サブアドレスを使用した受信（112ページ参照）
・自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合 ………… 掲示板への原稿蓄積（113ページ参照）

●Fコード中継指示通信

中継機にFコード中継ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスを指定することにより、中継指示通信ができるようになります。（必要に応じてパスワードを指定できます）

中継機側では、ボックスに登録されている相手先（配信先）に、指示された原稿を送信（配信）します。

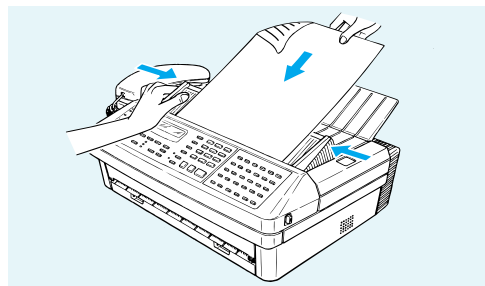
- ・中継指示送信する場合　…… あらかじめ通信相手のファクスのメモリ内に設定されている、中継指示通信用のボックスのサブアドレスやパスワードを確認して、Fコード送信をしてください。（下記参照）
- ・本商品が中継機となる場合 … Fコードボックス登録（118ページ参照）で中継用のボックスを設定してください。）

サブアドレスを使用した送信（Fコード送信）

サブアドレスとパスワードを入力することにより、Fコード親展送信、Fコード掲示板送信、Fコード中継送信ができます。

●あらかじめ、相手機に登録されている使用したい機能のサブアドレスとパスワードを確認してください。

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

2

① 応用通信 キーを6回押します。

② セット キーを押します。

6.Fｺｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ

3

① ダイヤルキーで、相手機に登録されている使用したい機能のサブアドレス番号を入力します。

●サブアドレスは20桁以内の数字で表わされます。

② セット キーを押します。

ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123456789■

① ダイヤルキーで、パスワードを入力します。

●パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。

●パスワードの必要がないときは、何も入力しないで セット キーを押し、手順5に進みます。

② セット キーを押します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
*#987654321■

相手先のファクス番号入力します。

●ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（38ページ参照）
●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
●同報 キーで区切ることにより最大240宛先まで指定できます。
（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）
●応用通信 キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890█
```

スタート キーを押します。原稿の読み取りが始まります。

●操作を中止するとき、読み取りを中止するときは ストップ キーを押してください。
●番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
●原稿読み取り後は、通信中止／確認 キーで確認、消去できます。（46ページ参照）
●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

サブアドレスを使用した受信（Fコードポーリング）

相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと（ポーリング）ができます。

●あらかじめ相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認してください。

① 応用通信 キーを7回押します。
② セット キーを押します。

7.Fｺｰﾄﾞ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ

① ダイヤルキーで、掲示板のサブアドレス番号を入力します。
●サブアドレスは20桁以内の数字で表わされます。
② セット キーを押します。

ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123456789█

① ダイヤルキーで、パスワードを入力します。
●パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
●パスワードが必要ないときは、何も入力しないで セット キーを押し、手順4に進みます。
② セット キーを押します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
*#9876543210█

相手先のファクス番号入力します。
●ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（38ページ参照）
●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
● 同報 キーで区切ることにより最大240宛先まで指定できます。
（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）
● 応用通信 キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（78ページ参照）

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890█

5

スタート キーを押します。Fコードポーリングが始まります。

ワンポイント

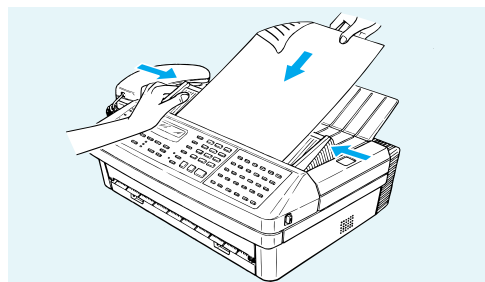
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押してください。
- Ｆコードポーリング開始後は、 通信中止／確認 キーで確認、消去できます。（46ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

掲示板への原稿蓄積

Fコードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

● Fコードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。（118ページ参照）

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。(36ページ参照)

2

① 機能 キー → ワンタッチキー P → ダイヤルキー 7 を押します。

```
P7 ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

●登録されているFコードボックス名が表示されます。

```
ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
01:ｶｲｼｬ ｱﾝﾅｲ
```

3

① ダイヤルキーで、原稿を蓄積するFコードボックス番号（掲示板ボックスの番号）を入力します。

●掲示板ボックスに設定したFコードボックス番号を指定してください。（118ページ参照）

● < > キーを押してボックス番号を選択することもできます。

```
ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
04:ｼｻﾞｲﾌﾞ ﾚﾝﾗｸ
```

② セット キーを押します。

① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

●掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順5に進みます。

```
04:ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ    :1234
```

② セット キーを押します。

●暗証番号が間違っていると「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。操作をやり直してください。

```
ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ      :OFF
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

機能 キーで原稿を上書きするか（ON）、追加するか（OFF）を選択します。

```
ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ    :ON
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

```
ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ    :OFF
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

セット キーを押します。

蓄積する原稿のファイル番号が表示されます。

●ファイル番号は蓄積した原稿を確認したり消去したりするときに必要です。
●原稿をメモリに読み取り中は、矢印がスクロールします。

```
ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ    ﾌｧｲﾙ: 1
A4 →→→→→    ﾒﾓﾘ 75%
```

ワンポイント

- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押してください。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

蓄積原稿のプリント

親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿をプリントします。

- Fコードボックスに原稿を受信した場合は、Fコード受信通知がプリントされます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿をプリントします。

親展受信の場合

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

Fコード受信通知

2003年 2月10日 (月) 13:30

Box	ﾎﾞｯｸｽ名	相手先名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
2	ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	親展	3

Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿を受信しました
(親展原稿記憶期間)
2003年 3月12日(水) 13:30

掲示板に受信した場合

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

Fコード受信通知

2003年 2月10日 (月) 13:30

Box	ﾎﾞｯｸｽ名	相手先名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
3	ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	掲示板	3

Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿を受信しました

- 掲示板に受信および蓄積した原稿をプリントする場合は、ファイルを指定してプリントします。
- ファイル番号は「Fコードボックス蓄積原稿リスト」で確認してください。

① 機能 キー → ワンタッチキー P → ダイヤルキー 4 を押します。

```
P4 ﾁｸｾｷ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
           ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

●登録されているFコードボックス名が表示されます。

```
ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
01:ｶｲｼｬ ｱﾝﾅｲ
```

① ダイヤルキーで、取出したい原稿が蓄積されている、Fコードボックス番号を入力します。

```
ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
03:ｹｲｼﾞﾌﾞ
```

● < > キーを押してボックス番号を選択することもできます。

② セット キーを押します。

●掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順4に進みます。

3

① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

● 親展受信原稿をプリントする場合は、手順5に進みます。

```
03:ﾁｸｾｷ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ    :1234
```

② セット キーを押します。

```
03:ﾁｸｾｷ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:    █
```

ダイヤルキーでファイル番号を入力します。

●0を入力するとすべてのファイルをプリントします。

```
03:ﾁｸｾｷ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:    1█
```

セット キーを押します。

蓄積された指定原稿をプリントします。

●親展受信原稿はプリントすると自動的に消去されます。

●掲示板に受信および蓄積した原稿はプリントしても消去されません。

蓄積原稿を消去する

掲示板ボックスに蓄積されている原稿を消去します。あらかじめ消去したい原稿のファイル番号を、蓄積原稿リストで確認してください。

1

① 機能 キー → ワンタッチキー P → ダイヤルキー 6 を押します。
② セット キーを押します。

```
P6 チクセキ ゲンコウ クリア
          キノウ/セット
```

2

① ダイヤルキーで、消去したい原稿があるボックス番号を入力します。
● < > キーを押してボックス番号を選択することもできます。
② セット キーを押します。
●掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順4に進みます。

```
ボックス ヲ エランデ クダサイ
02:ナゴヤシテン
```

3

① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。
●暗証番号が間違っているときは「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。
② セット キーを押します。

```
02:チクセキ ゲンコウ クリア
アンショウ バンゴウ    :1234
```

4

① ダイヤルキーで、ファイル番号を入力します。
●ファイル番号はFコードボックス蓄積原稿リストで確認できます。
●0を入力するとすべてのファイルを消去します。

```
02:チクセキ ゲンコウ クリア
ファイル バンゴウ:       1
```

② セット キーを押します。
●消去を中止するときは、機能 キーを押します。

```
02:チクセキ ゲンコウ クリア
カクニン          キノウ/セット
```

5

セット キーを押します。
蓄積された原稿が消去されます。

蓄積原稿リストをプリントする

Fコードボックスに蓄積されている原稿の一覧リストをプリントします。

[機能] キー → ワンタッチキー [P] → ダイヤルキー [3] を押します。

P3 チクセキ ゲンコウ リスト
キノウ/セット

[セット] キーを押します。

●蓄積原稿リストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

＊＊　FコードBOX蓄積原稿リスト　＊＊

P.1　2003年 2月10日 (月) 13:30

Box	ボックス名	種別	ファイル番号
1	オオサカシテン	親展	6
2	ナゴヤシテン	親展	1, 2, 9
3	ヒロシマシテン	親展	1, 2, 6
4	キョウトシテン	掲示板	1, 2, 7

1. Box

Fコードボックスの番号です。

2. ボックス名

Fコードボックスに登録したボックスの名前です。

3. 種別

親展 …… 親展ボックスとして登録されています。
中継 …… 中継ボックスとして登録されています。
掲示板 … 掲示板ボックスとして登録されています。

4. ファイル番号

受信した場合はFコード受信通知の原稿番号、蓄積した場合は蓄積時のファイル番号を表します。

Fコードボックスを登録する

Fコード通信を利用するためにFコードボックスを登録します。Fコードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。
サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
暗証番号は、Fコードボックスの操作を誰にもできないようにするために設定します。

① 機能 キー → ワンタッチキー P → セット キーを押します。

P1 ボ゛ックス セット
キノウ/セット

② セット キーを押します。

2

① ダイヤルキーで、登録したいFコードボックス番号（01～50）を入力します。
- ＜ ＞ キーを押してボックス番号を選択することもできます。
- すでにFコードボックスが登録されている場合は、ボックス名を表示します。

ボ゛ックス ヲ エランテ゛クタ゛サイ
02:セット サレテイマセン

② セット キーを押します。

3

① ボックス名を入力します。
- 16文字まで登録できます。
- 文字入力については「文字入力のしかた（23ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

02:ボ゛ックスメイ :カタカナ
ナコ゛ヤシテン

② セット キーを押します。

02:サブ゛アト゛レス バ゛ンコ゛ウ
█

① ダイヤルキーで、サブアドレス番号を入力ます。
- サブアドレスは20桁まで登録できます。数字のみ登録できます。

02:サブ゛アト゛レス バ゛ンコ゛ウ
0123456789█

② セット キーを押します。
- すでに他のFコードボックスに登録されているサブアドレスを入力した場合は、「バンゴウ　ガ　トウロクサレテイマス」と表示します。違う番号を入力し直してください。

5

① ダイヤルキーで、パスワードを登録します。
- パスワードは20桁まで登録できます。数字、＃、＊が登録できます。
- パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

02:パ゛スワート゛ バ゛ンコ゛ウ
##0101##█

② セット キーを押します。

ボ゛ックス シュベ゛ツ:ケイシ゛バ゛ン
キノウ/セット

① 機能 キーでボックス種別を選択します。

② セット キーを押します。

《掲示板を選択した場合》

① 機能 キーで受信禁止設定のONまたはOFFを選択します。

＊ONにした場合は送信のみできます。

② セット キーを押します。

③ 機能 キーで受信原稿プリント許可のONまたはOFFを選択します。

＊ONにした場合は、掲示板に受信した原稿をプリントします。

④ セット キーを押します。

⑤ 機能 キーで受信原稿上書き許可のONまたはOFFを選択します。

＊ONにした場合は受信原稿は上書きされます。

⑥ セット キーを押します。

⑦ 機能 キーで送信原稿消去許可のONまたはOFFを選択します。

●ONにした場合はポーリング送信後、原稿を消去します。

⑧ セット キーを押します。

⑨ 手順8に進みます。

《親展を選択した場合》

① ダイヤルキーで、親展原稿の保持期間（0〜31日）を入力します。

ｹﾞﾝｺｳ ﾒﾓﾘｷｶﾝ
ﾒﾓﾘｷｶﾝ (0-31): 00

●0を入力した場合は無制限に原稿を保持します。
●間違えて入力したときは正しい番号を上書きで入力してください。

② セット キーを押します。

③ 手順8に進みます。

《中継を選択した場合》

① 配信先を入力します。

ﾊｲｼﾝｻｷ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
[01],S001,G2

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループが使用できます。（ダイヤルキー、電話帳は使用できません。）
●複数の宛先を指定するときは、同報 キーを押して区切ります。

② セット キーを押します。

③ 機能 キーで配信したときの発信元の設定を選択します。

ﾊｲｼﾝｼﾞ ﾊｯｼﾝﾓﾄ:ｿﾄﾂﾞｹ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾊｲｼﾝｼﾞ ﾊｯｼﾝﾓﾄ:ｳﾜｶﾞｷ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾊｲｼﾝｼﾞ ﾊｯｼﾝﾓﾄ:ﾂｹﾅｲ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

●ツケナイ …配信する原稿に、発信元名をつけません。
●ソトヅケ …配信する原稿に、中継指示先の発信元名と並べて、発信元名をつけます。
●ウワガキ …配信する原稿に、発信元名をつけます。（中継指示先の発信元名を自機の発信元名に上書きします。）

④ セット キーを押します。

⑤ 機能 キーで同時プリント許可のONまたはOFFを選択します。

●ONにした場合は、中継指示先より送信された原稿を本商品でもプリントします。

⑥ セット キーを押します。

⑦ 手順8に進みます。

ダイヤルキーで、暗証番号を登録します。

02:ﾎﾞｯｸｽ ｾｯﾄ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ :0000

●親展の場合は必ず暗証番号を登録してください。暗証番号に0000は使用できません。
●掲示板・中継の場合は必要に応じて暗証番号を登録してください。暗証番号を登録しない場合は、手順9に進んでください。
●暗証番号を間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。
●ここで登録した暗証番号は蓄積原稿のプリントなどをするとき入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

セット キーを押します。

10 続けてFコードボックスを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、［ストップ］キーを押します。

ワンポイント

- すでに登録されているFコードボックスの内容を変更する場合は、Fコードボックスの登録手順の中で、変更したい登録内容を［クリア］キーで消去してから、新しく入力します。
- ボックス種別を変更するときは、変更したいFコードボックスを消去してから登録し直してください。

Fコードボックスを消去する

Fコードボックスに原稿が蓄積されているときは消去できません。
Fコードボックスが、プログラムワンタッチ（Fコード蓄積）にて使用されているときは消去できません。

1 ①［機能］キー → ワンタッチキー［P］→ ダイヤルキー［5］を押します。
②［セット］キーを押します。

```
P5 ﾎﾞｯｸｽ ｸﾘｱ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2 ① ダイヤルキーで、消去したいボックス番号（1〜50）を入力します。
● ［<］［>］キーを押してボックス番号を選択することもできます。
②［セット］キーを押します。
●暗証番号を登録していない場合は、手順4へ進みます。

```
ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
02:ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ
```

3 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

```
02:ﾎﾞｯｸｽ ｸﾘｱ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ    :1234
```

②［セット］キーを押します。

```
02:ﾎﾞｯｸｽ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

4 消去してよければ、もう一度［セット］キーを押します。
●消去を中止するときは、［機能］キーを押します。

5 続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、［ストップ］キーを押します。

Fコードボックスリストをプリントする

1

① 機能 キー → ワンタッチキー P → ダイヤルキー 2 を押します。

P2 ボックス リスト
キノウ/セット

② セット キーを押します。

●Fコードボックスリストがプリントされます。

2

セット キーを押します。

●Fコードボックスリストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事 Fax:123-456-7890

＊＊ FコードBOXリスト ＊＊

P.1 2003年 2月10日(月) 13:30

Box	ボックス名	SUBアドレス番号	通信パスワード番号	種別	備考
1	オオサカ シテン	000111222333	##2222##	掲示板	1,2,3,4
2	ナゴヤ シテン	0123456789	##0101##	親展	30 日
3	ヒロシマ シテン	345345345	##3333##	中継	
	(配信先) (発信元) (同時プリント)	[01],[02],S001,G1 外付け ON			

1. Box

Fコードボックスの番号です。

2. ボックス名

Fコードボックスに登録したボックスの名前です。

3. SUBアドレス番号

登録したFコードボックスのサブアドレスです。

4. 通信パスワード番号

登録したFコードボックスの通信パスワードです。

5. 種別

Fコードボックスの種類です。

・親展……親展ボックスとして登録されています。
・中継……中継ボックスとして登録されています。
・掲示板…掲示板ボックスとして登録されています。

6. 備考

親展ボックス、掲示板ボックスのそれぞれのオプション設定を表します。

親展ボックス
・30日…親展ボックスに原稿を記憶しておく期間（日）

掲示板ボックス
・1…受信禁止設定ON
・2…受信原稿同時プリント許可ON
・3…受信原稿上書き許可ON
・4…送信原稿消去許可ON

7. 配信先、発信元、同時プリント

中継ボックスのオプション設定を表します。

13 送受信編 ファクシミリ通信網サービスを利用するには

ファクシミリ通信網サービスとは、NTTコミュニケーションズのファクシミリ専用ネットワークサービスです。ファクシミリ通信網サービスに加入すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスがご利用になれます。このサービスを利用するためには、NTTコミュニケーションズとの契約が必要です。本サービスの詳細につきましてはNTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

ファクシミリ通信網サービスの主な内容

一斉同報

1回のダイヤル操作で、10か所までの宛先に同一原稿を同時に送信できます。ファクシミリ通信網サービスに事前登録された短縮ダイヤルを利用すれば、一度に最大10000宛先に同一原稿を送信できます。

自動再送信

一斉同報通信で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作だけで再送信することができます。

再コール・不達通知

相手先がお話し中だった場合、ファクシミリ通信網サービスが2分間隔で5回まで、自動的に再コールします。それでも送信できなかったときには、送信内容の一部と送信できなかった理由を通知文でお知らせします。

夜間配送指定通信

昼間ファクシミリ通信網サービスへ原稿を送信しておき、夜間の割引時間帯にファクシミリ通信網サービスから相手先への送信をすることができます。

無鳴動自動受信

Ｆネットファクシミリ通信網サービスを使った受信では、呼出音を鳴らさず自動的に受信することができます。電話と間違えて受話器を取ることがないので、1本の電話回線で電話とファクスを効率よく使うことができます。

ファクシミリ案内サービス

レジャー、スポーツ、観光、金融、くらしにかかわる様々な情報が、簡単に取り出せます。

ワンポイント

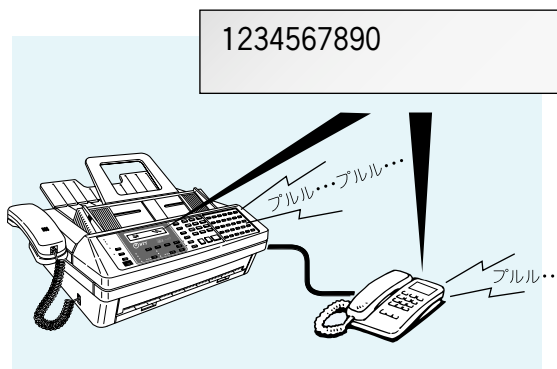
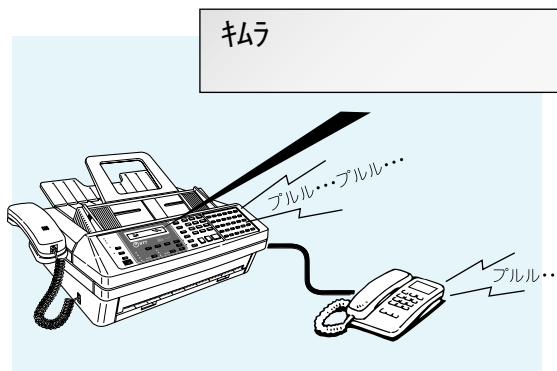
- ファクシミリ通信網をご利用する場合、本商品の会話予約、親展送信、ポーリング、検索ポーリング、会話予約、Ｆコード通信、ファクスワープ、受領証、閉域通信はご利用になれません。
- ファクシミリ通信網のお申し込みで無鳴動受信を選択した場合、本商品での受信は受信モードの設定とは無関係に常に自動的に受信します。

14 確認編
相手先の番号を表示する（ナンバー・ディスプレイ）

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）を利用すると、相手先の番号がディスプレイに表示されます。このサービスをご利用になれば、電話に出る前に誰からかかってきた電話なのか分かります。また、よくかかってくる相手先の名前を本商品に登録しておく（126ページ参照）と、番号の代わりに名前が表示されます。

- ナンバー・ディスプレイをご利用いただくには、次の準備が必要です。
  ① ナンバー・ディスプレイの申し込みをする。
  ② ナンバー・ディスプレイを開始する日（当社の工事が完了する日）をご確認のうえ、本商品のナンバー・ディスプレイ設定を「ON」にしてください。（125ページ参照）
- ダイヤルインとナンバー・ディスプレイの両方をご使用になる場合は、モデムダイヤルインの契約を行ってください。

電話がかかってくると…

- かけてきた相手の番号を表示します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、電話機でも同サービスを利用することができます。

- 本商品に相手先の名前を登録した場合は、登録した名前を表示します。

- 相手先名の登録といっしょに転送番号を登録すると、登録した相手先から受信した原稿を転送することができます。（ナンバー・ディスプレイワープ）
  転送する時刻を指定することもできます。

ディスプレイ表示について

- 相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186をつけてダイヤルしているときに表示します。

（例）
```
1234567890
```

- 相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186をつけてダイヤルしているときで、名前の登録をしている相手のときには、その登録している名前を表示します。

（例）
```
ｷﾑﾗ
```

- 相手の方が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、184をつけてダイヤルしているときに表示します。

```
ﾋﾂｳﾁ
```

- 相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたときに表示します。

```
ﾋｮｳｼﾞ ｹﾝｶﾞｲ
```

- 相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が184をつけてダイヤルした場合は「ヒツウチ」になります。

```
ｺｳｼｭｳ ﾃﾞﾝﾜ
```

●地域によっては、ナンバー・ディスプレイをご利用できない場合もあります。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定をＯＮにします。また、サービスを利用する電話機の設定もおこなってください。
ナンバー・ディスプレイワープを利用するときは、転送番号の設定が必要です。（126ページ参照）

① 機能 キー → ワンタッチキー R → ダイヤルキー 3 を押します。
② セット キーを押します。

```
R3 ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾｯﾃｲ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2

① 機能 キーでOFFまたはPHONE2を選択します。
・OFF … 接続する電話機がナンバー・ディスプレイ未対応の場合、または電話機を接続しない場合。
・PHONE2 … ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をPHONE2に接続する場合。

② セット キーを押します。

```
ﾃﾞﾝﾜｷ ｾﾂｿﾞｸ: PHONE2
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```
▼
```
ﾃﾞﾝﾜｷ ｾﾂｿﾞｸ: OFF
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

第3章 便利な使いかた（確認編）

① 機能 キーでナンバー・ディスプレイのONまたはOFFを選択します。

・ON …ナンバー・ディスプレイを利用するとき。
・OFF… ナンバー・ディスプレイを利用しないとき。

② セット キーを押します。

機能 キーでナンバー・ディスプレイワープのONまたはOFFを選択します。

・ON …受信した原稿を転送するとき。
・OFF… 受信した原稿を転送しないとき。

NDﾜｰﾌﾟ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

NDﾜｰﾌﾟ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

5

セット キーを押します。

●ナンバー・ディスプレイが設定されます。

ワンポイント

- PHONE2に接続する外付電話機がナンバー・ディスプレイ対応の場合、外付電話機でもディスプレイに番号を表示します。外付電話機でナンバー・ディスプレイ設定を「ON」にしてください。詳しくはご使用の外付電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 受信モードが「ファクス／デンワ　タイキ」「デンワ／ファクス　タイキ」のとき、本商品が着信したあとは外付電話機のディスプレイには番号は表示されません。
- ダイヤルイン利用時に、外付電話機ではナンバー・ディスプレイを利用できません。外付電話機に、ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」にしてください。
- 当社での工事が完了する前に設定を変更したり、工事完了後に設定を変更せずに本商品を使用したりすると、正常に電話やファクスを受けることができません。（ファクスの送信や電話をかけることはできます。）
- 他の通信機器（内線交換機など）に接続してご使用する際は、番号が正しく表示されない場合があります。
- 停電時、ナンバー・ディスプレイはご利用できません。また、停電時に電話を受けるには、以下のような特別な操作を行う必要があります。
  ①短い間隔の呼び出しベルが鳴り終わるまで待つ。約6秒（ベル音約7回）
  ②呼び出しベルの間隔が長くなったときに受話器（本体電話機）を上げると通話できる。
  ＊①の呼び出しベルで受話器（本体電話機）を上げた場合、「ピーガー」という発信音を聞いたら直ぐに受話器を元に戻してください。その後、再び呼び出しベルが鳴りますので、受話器を上げると通話できます。
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

名前と転送先（ナンバー・ディスプレイワープ先）を登録する

名前を登録した相手先から、かかってきたときは、番号表示のかわりに相手先名を表示するようになります。一目で相手先が確認でき便利です。転送番号を入力すると、登録した相手先から受信した原稿を転送することもできます。（ナンバー・ディスプレイの設定にて、ナンバー・ディスプレイワープをONに設定してください。）
名前と転送先は20件まで登録できます。

① 機能 キー → ワンタッチキー R → セット キーを押します。

② セット キーを押します。

R1 ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2

はじめて名前を登録するとき

➡ 手順3に進み、相手先番号を入力します。

```
01:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
█
```

すでに名前が登録されているとき

➡ 機能 キーで登録されていない番号を選択し、セット キーを押します。

```
03:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
█
```

3

① ダイヤルキーで、相手先番号を市外局番から入力します。（最大20桁）

●番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

```
03:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
075-123-4567█
```

4

相手先名を入力します。

① 相手先名を入力します。

●24文字まで登録できます。

●文字入力については「文字入力のしかた（23ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

② セット キーを押します。

```
03:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｷｮｳﾄ ｼﾃﾝ█
```

5

転送番号を入力します。

（転送番号を入力しないときは セット キーを押して手順8へ進みます）

① 転送番号を入力します。

●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを使用できます。

●転送番号は221宛先まで登録できます。同報 キーを押して相手先を区切ります。

●ダイヤルキーによる入力は1宛先のみです。

●番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力し直してください。

② セット キーを押します。

```
03:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
654-3210,[01],S1█
```

ワンポイント

● ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている番号で相手先を判断したり、登録されている相手先名を表示したりするのではありません。

● **登録されている内容を変更する場合は**

手順2にて変更したい番号を選択し、登録手順の中で変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力し直してください。

● **登録されている内容を消去する場合は**

手順2にて消去したい番号を選択し、クリア キーを押します。登録内容が消去され、次の登録内容が繰り上がり表示されます。

① ダイヤルキーで転送を開始する時刻・転送を指定します。
（時刻を指定しないときは セット キーを押して手順7へ進みます）

② セット キーを押します。

【例】金曜日16:45～月曜日7：00まで転送するとき

```
03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(金) 16:45––(月) 07:00
```

転送開始　転送終了

転送時刻の入力のしかた

●「＊」は指定されていないという表示です。
●曜日はダイヤルキーで入力します。

ダイヤルキー 0 … （日）　ダイヤルキー 4 … （木）
ダイヤルキー 1 … （月）　ダイヤルキー 5 … （金）
ダイヤルキー 2 … （火）　ダイヤルキー 6 … （土）
ダイヤルキー 3 … （水）

●ダイヤルキー ＊ を押すと1文字を消去（＊に戻す）します。
＊ クリア キーを押すと、指定時刻をすべて消去します。
＊ 入力をまちがえた場合は、＜ ＞ キーを押してカーソルを移動し入力し直してください。

●曜日または時刻を指定しないこともできます。
＊開始時刻が曜日のみ、終了時刻が時刻のみというような指定はできません。

【例】曜日を指定しないとき
毎日16:45～次の日の7:00まで転送

```
03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(*) 16:45––(*) 07:00
```

【例】時刻を指定しないとき
土曜日の0:00～日曜日の23:59まで転送

```
03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(土) **:**––(日) **:**
```

① 機能 キーで、同時プリントのONまたはOFF選択します。
・ON … 本商品でも転送先でも受信原稿をプリントします。
・OFF … 本商品では転送した原稿をプリントしません。

```
03:ﾄﾞｳｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ: ON
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

```
03:ﾄﾞｳｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ: OFF
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。
●次の登録に移ります。

8 続けて登録するときは、手順3から操作を繰り返します。
登録を終了するときは、ストップ キーを押します。

ナンバー・ディスプレイダイヤルリストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー R → ダイヤルキー 2 を押します。

R2 ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

（プリント例）

ABC商事（株）　　Fax:123-456-7890

＊＊ ナンバーディスプレイ ダイヤル リスト ＊＊

P.1　　2003年 2月10日（月）13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
1	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ （転送先） （指定時刻） （同時ﾌﾟﾘﾝﾄ）	075-111-3333 [02] （金）20:00 ～（月）07:00 OFF
2	ｵｵｻｶｼﾃﾝ	06-6111-4444
3	ﾌｸｵｶｼﾃﾝ	092-111-6666

1　2　3

1. No.

登録数を表します。

2. 相手先名

ディスプレイに表示させる相手先名です。

3. ダイヤル番号

転送の設定内容と相手先番号です。この番号から通信があると、番号の代わりに登録した相手先名を表示します。

ナンバー・ディスプレイ着信履歴を確認する

最新の着信を記憶しておき、20件分の着信状況をプリントできます。それ以前の着信履歴は順次自動消去します。過去の着信状況を確認するのに便利です。

機能 キー → ワンタッチキー G → ダイヤルキー 4 を押します。

G4 ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ﾘﾚｷ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

セット キーを押します。

●ナンバーディスプレイ着信履歴がプリントされます。

（プリント例）

ABC商事（株）　　Fax:123-456-7890

＊＊　ナンバーディスプレイ通信履歴　＊＊

P.1

No.	発信者番号	相手先名	時間	備考
01	0751113333	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	2/23 12:00	ﾌｧｸｽ
02	1112223333		2/23 21:00	
03	非通知		2/24 8:30	
1	2	3	4	5

1. No.

着信件数です。

2. 発信者番号

・相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または「186」をつけてダイヤルしたときは、発信側の番号がプリントされます。
・非通知……相手の方が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、「184」をつけてダイヤルしているとき。
・表示圏外…相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたとき。
・公衆電話…相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が「184」をつけてダイヤルした場合は「非通知」になります。
・F網……… ファクシミリ通信網より着信しました。

3. 相手先名

相手先名を登録している場合は名前を表示します。
相手先を登録していない場合や、相手先が「184」で番号表示をしない場合は空白になります。

4. 着信日時

着信した時刻です。

5. 備考

・ファクス………ファクスの受信です。

15 部門ごとの使用を管理する（部門管理）

通信した部門の総通信枚数と総通信時間をプリントし、通信の使用状況を部門ごとに管理する機能です。（133ページ参照）
送信操作のたびに部門コードを入力する必要がありますので、使用者を限定することもできます。

- 部門管理を有効にするときは、部門管理コードを登録（134ページ参照）してから部門管理の設定をONにしてください。
- 部門管理プロテクトがONになっていると、部門管理を設定することはできません。部門管理プロテクトをOFFにしてください。（135ページ参照）

部門管理を設定する

初期設定：OFF

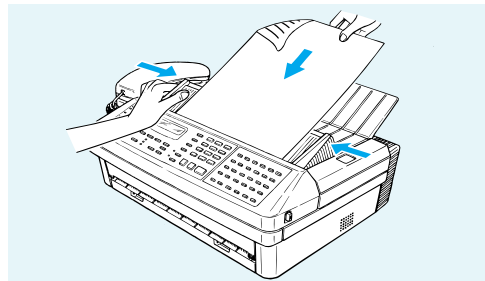
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー M → ダイヤルキー 3 を押します。

M3 ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

3 セット キーを押します。
部門管理が設定されます。

部門管理ONのときの送信

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

2 相手先のファクス番号を入力します。

●ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（38ページ参照）
●ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
●同報キーで区切ることにより最大240宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）

ｽﾀｰﾄ ｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890█

3 スタート キーを押します。

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
█

部門管理コード（4桁）を入力します。

●部門管理コードはあらかじめ登録する必要があります。（134ページ参照）

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
1234█

再度 スタート キーを押します。

●入力した部門コードが登録されていない場合は、スタート キーを押した後、「ブモンコード　ガ　ミトウロクデス」と表示されます。

ワンポイント

● 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
● 手動送信時には、部門管理機能は働きません。

部門管理リストをプリントする

部門管理コード別に通信時間、通信枚数の総数をプリントします。
部門管理プロテクトがONになっていると、部門管理リストをプリントできません。プリントする場合は、部門管理プロテクトをOFFにしてください。（135ページ参照）

機能 キー → ワンタッチキー M → ダイヤルキー 4 を押します。

M4 ブ゛モンカンリリスト プ゜リント
キノウ/セット

セット キーを押します。

●部門管理リストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事　　Fax:123-456-7890

＊＊ 部門管理リスト ＊＊

P.1　2003年 2月10日(月) 13:30 --> 2003年 3月12日(水) 8:00

部門	時間	通信枚
1234	1:18:31	157
5678	2:52:49	230
9000	0:37:06	74

●通信時間は999時間59分59秒（999:59:59）まで表示されます。それ以上通信しても加算されません。通信枚数は65535枚を超えると0枚に戻ります。

部門管理リストの内容を消去する

通信時間、通信枚数の総数を0にします。
部門管理プロテクトがONになっていると、部門管理リストの消去はできません。消去する場合は、部門管理プロテクトをOFFにしてください。（135ページ参照）

1

① 機能 キー → ワンタッチキー M → ダイヤルキー 5 を押します。

M5 ブ゛モンカンリリスト ショウキョ
キノウ/セット

② セット キーを押します。

ブ゛モンカンリリスト ショウキョ
カクニン　キノウ/セット

消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

●消去を中止するときは、機能 キーを押します。

第3章 便利な使いかた（確認編）

部門管理コードを登録する

部門管理プロテクトがONになっていると、部門管理コードは登録できません。登録する場合は、部門管理プロテクトをOFFにしてください。（135ページ参照）

① 機能 キー → ワンタッチキー M → ダイヤルキー 2 を押します。

```
M2 ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｾｯﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

●すでに登録されてる部門管理コードが表示されているときは、機能 キーで画面を送り、登録されていない番号を表示し セット キーを押します。

```
ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
001:█
```

2

① 部門管理コードを入力します。

●4桁のコードを入力してください。
●コードを修正するときは、上書きしてください。

```
ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
001:1234
```

② セット キーを押します。

●続けて部門管理コードを登録できます。
●部門管理コードは001～100まで登録できます。

```
ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
002:█
```

終了するときは、ストップ キーを押してください。

消去する

部門管理プロテクトがONになっていると、部門管理コードの消去はできません。消去する場合は、部門管理プロテクトをOFFにしてください。（135ページ参照）

① 機能 キー → ワンタッチキー M → ダイヤルキー 2 を押します。
② セット キーを押します。

2

消去したい部門管理コードが表示されるまで、機能 キーを押します。

```
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
002:2345
```

3

① クリア キーを押します。
② 消去される番号を確認し、消去するときは セット キーを押します。

●機能 キーを押すと手順2に戻ります。

```
2345:ﾌﾞﾓﾝｺｰﾄﾞ ｼｮｳｷｮ
ｶｸﾆﾝ      ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

終了するときは、ストップ キーを押します。

● 部門管理コードを消去すると、後に登録されているコードが繰り上がります。
002に“2345”、003に“3456”と登録されているとき、002の“2345”を消去すると、“002：3456”と003の部門管理コードが繰り上がります。
● 部門管理コードを変更する場合は、変更したいコードを一度消去してから登録し直してください。

登録内容を保護する(部門管理プロテクト) 初期設定:OFF

部門管理プロテクトをONにすると、部門管理コードの登録（134ページ）や部門管理セット（131ページ）を操作できないようにすることができます。
操作する前にプロテクトコードを登録してください。（167ページ参照）

1

① 機能 キー → ワンタッチキー M → セット キーを押します。
② セット キーを押します。
●プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード　ミトウロクデス」と表示されます。

```
M1 ブモンカンリプロテクト セット
              キノウ/セット
```

2

① ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。
② セット キーを押します。
●プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード ガ　チガイマス」と表示されます。

```
ブモンカンリ プロテクト セット
プロテクトコード      :1234
```

3

機能 キーでONまたはOFFを選択します。

```
ブモンカンリ プロテクト: ON
             キノウ/セット
```

```
ブモンカンリ プロテクト: OFF
             キノウ/セット
```

4

セット キーを押します。
●部門管理プロテクトがセットされます。

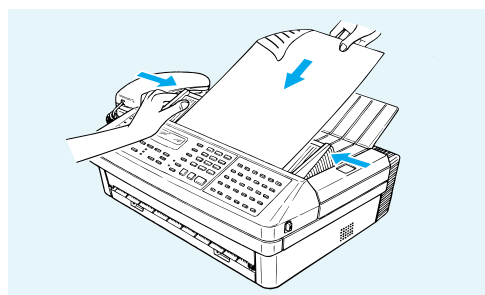
● 部門管理コードの登録、部門管理セットを操作できるようにするには、部門管理プロテクトをOFFにしてください。

16 確認編
原稿の枚数を確認する（原稿枚数セット）

原稿の読み取り枚数をチェックするため、送信漏れを防止します。

- 一括送信、ポーリング、Fコードポーリング、手動送信では、原稿枚数を設定することはできません。
- 同報通信や応用通信などの設定後は、原稿枚数の設定はできません。原稿枚数の設定を先に行ってください。
- セットした枚数に対して、読み取り枚数が足りないときにはアラームが鳴ります。そのときにはもう一度操作し直してください。
- 原稿枚数セットで設定した枚数よりも実際に原稿トレイにセットした枚数が多いときは、原稿枚数セットで設定した枚数分だけ送信します。

送信する面を下に向け原稿をセットします。

●必要に応じて、画質や濃度を設定します。（36ページ参照）

2 **［機能］キー → ワンタッチキー［L］→［セット］キーを押します。**

```
ゲンコウ マイスウ ヲ ドウゾ
ゲンコウ マイスウ （1–30）：01
```

3 **① 原稿枚数（2桁）を入力します。（1〜30枚）**

【例】05枚と入力したとき

```
ゲンコウ マイスウ ヲ ドウゾ
ゲンコウ マイスウ （1–30）：05
```

②［セット］キーを押します。

```
アイテサキ バンゴウ ヲ ドウゾ
█
```

相手先のファクス番号を入力します。

【例】123-456-7890と入力したとき

```
スタートキー ヲ ドウゾ
123–456–7890█
```

［スタート］キーを押します。

●原稿をメモリに蓄積し、送信を開始します。

ワンポイント

- 操作を中止するときは、［ストップ］キーを押します。
- メモリが一杯のとき原稿の読み取りはできません。その場合、ダイレクト送信に設定し送信してください。（37ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

17 確認編 通信結果を確認する

通信結果を確認するには、3つの方法があります。
①通信結果確認：液晶ディスプレイ上で、送信・受信あわせて95通信分の結果を確認できます。
②通信証：1送信ごとの通信枚数、通信モードなどの通信結果をプリントして確認できます。
③通信管理レポート：最新の送信・受信あわせて125通信分の通信状況をプリントできます。

通信結果確認

- 過去に通信した95通信分の送信・受信結果をディスプレイ上に表示できます。
- 通信した時刻順に表示されます。

通信中止／通信 キーを2回押します。

```
ﾂｳｼﾝｹｯｶ ｶｸﾆﾝ
      ﾂｳｼﾝｶｸﾆﾝ/ｾｯﾄ
```

セット キーを押します。

●直前に通信した結果が表示されます。

```
Tx007:ｵｵｻｶ
OK   2/10 13:30     >
```

＜ ＞ キーを押して、見たい通信結果を表示させます。

●95通信分の通信結果と通信した時間、相手先名または相手先番号を表示できます。
●「Tx」は送信結果、「Rx」は受信結果を表します。
●通信が成功した場合は「OK」、失敗した場合は「NG」と表示します。
●詳しい通信結果を知るには、「通信管理レポート」を出力してください。（140ページ参照）
●D.0.2などダイヤル時の異常（184ページ参照）の送信結果は表示されません。
●ストップ キーを押すと待機画面に戻ります。

```
Tx007:ｵｵｻｶ
OK   2/10 13:30  </>
```

▼

```
Tx007:06-6111-4444
NG   2/10  8:23  </>
```

通信証セット

初期設定：送信証／OFF

- 通信証には受領証と送信証の2種類があり、どちらかを選びます。
- 送信証とは、本商品による送信結果のプリントです。
- 受領証は相手先が受信したことを証明するプリントです。相手先ファクスは受領証発行機能がある当社機に限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 通信証セットをONにすると、送信するたびに通信証をプリントします。

① 機能 キー → ワンタッチキー G → ダイヤルキー 3 を押します。
② セット キーを押します。

```
G3 ﾂｳｼﾝｼｮｳ ｾｯﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2 ①［機能］キーで送信証または受領証を選択します。
②［セット］キーを押します。

3［機能］キーでONまたはOFFを選択します。

4［セット］キーを押します。
●通信証が設定されます。

一時的な通信証の発行

初期設定：OFF

通信証セットで設定した状態にかかわらず、一時的に通信証の発行をON、OFFすることができます。

● セットした直後の通信1回のみに有効です。直後の通信が完了すると通信証セットで設定した状態に戻ります。

1［通信中止／確認］キーを3回押します。

2［機能］キーでONまたはOFFを選択します。

3［セット］キーを押します。

ワンポイント

● 操作を中止するときは、［ストップ］キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信証の見かた

（プリント例）

＊＊　受領証　＊＊

2003年 2月10日（月）13:30

1234567890	---> ABC商事
通信番号	003
通信ﾓｰﾄﾞ	標準
通信枚数	1 ﾍﾟｰｼﾞ
通信結果	０Ｋ

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊　送信証　＊＊

P.1　　2003年 2月10日（月）13:30

ﾀﾞｲﾔﾙ番号	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	結果	備考
06-6111-4444	標準	14,13:30	0'40"	1	＊０Ｋ	
1	2	3	4	5	6	7

●受領証の形態は相手機種によって異なります。

1. ダイヤル番号

以下の順に記録されます。

（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
（3）相手先の自局名
（4）相手先の自局ID
（5）空白

2. モード

通信した画質です。

3. 開始日時

通信を開始した時刻です。

4. 時間

通信の開始から終了までの所用時間です。

5. 枚数

通信した枚数です。

6. 結果

通信結果です。

- OK ………… 正常終了しました。
- ＊ …………… ECMモードで通信しました。
- ＃ …………… スーパーG3で通信しました。
- エラーコード　異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては184ページ参照）

7. 備考

- 親　　展…… 親展送信です。
- 中　　継…… 中継指示送信です。
- ポーリング… ポーリングです。
- 同　　報…… 同報送信です。
- 手　　動…… 手動送信です。
- 検索ポー…… 検索ポーリングです。
- F コード…… Fコード送信です。
- F ポー……… Fコードポーリングです。

通信管理レポートをプリントする

最新の送信、受信あわせて125通信分の通信状況をプリントできます。本商品は最新の125通信の通信管理記録を記録しており、それ以前の通信管理記録は順次自動消去します。

[機能] キー → ワンタッチキー [G] → ダイヤルキー [2] を押します。

G2 ﾂｳｼﾝｷﾛｸ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

[セット] キーを押します。

●通信管理レポートが出力され、待機画面に戻ります。

通信管理レポートの自動プリントを設定する　初期設定:OFF

自動プリントをセットすると、最新の送信、受信があわせて125通信になると通信管理レポートをプリントします。

1

① [機能] キー → ワンタッチキー [G] → [セット] キーを押します。
② [セット] キーを押します。

G1 ﾂｳｼﾝｷﾛｸ ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2

[機能] キーでONまたはOFFを選択します。

ｼﾞﾄﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ:　ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ｼﾞﾄﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ:　OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3

[セット] キーを押します。

●自動出力が設定されます。

● 操作を中止するときは、[ストップ] キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信管理レポートの見かた

（プリント例）

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

＊＊　受信管理レポート　＊＊

P.1

No.	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
002	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	高画質	2/10 6:04	1'10"	3	1234	#ＯＫ	
003	06-6111-4444	標準	2/10 8:23	0'06"	0	7777	T.1.4	
004	06-6111-4444	超高画質	2/10 8:25	1'45"	2	7777	*ＯＫ	

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

＊＊　送信管理レポート　＊＊

P.1

No.	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
001	075-111-3333	標準	2/10 6:00	0'28"	1	0000	#ＯＫ	
002	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	高画質	2/10 6:04	1'10"	3	1234	#ＯＫ	
003	06-6111-4444	標準	2/10 8:23	0'06"	0	7777	T.1.4	
004	06-6111-4444	超高画質	2/10 8:25	1'45"	2	7777	#ＯＫ	
005	ｹｲﾘ	高画質	2/10 10:51	0'32"	1	0987	*ＯＫ	手動
006	03-1111-6666	標準	2/10 12:11	0'23"	1	0000	*ＯＫ	
007	ｵｵｻｶ	標準	2/10 14:47	0'32"	2	0987	*ＯＫ	
1	2	3	4	5	6	7	8	9

1. No.

日ごとの通信件数です。

2. 相手先名

以下の順に記録されます。

（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）

（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）

（3）相手先の自局名

（4）相手先の自局ID*

（5）空白

*ナンバーディスプレイサービスにより通知された番号ではありません。相手先に登録された番号です。

3. モード

通信した画質です。

4. 開始日時

通信を開始した時刻です。

5. 時間

通信の開始から終了までの所用時間です。

6. 枚数

通信した枚数です。

7. 部門

部門管理を設定しているときに、部門番号が記録されます。

8. 結果

通信結果です。

- OK …………　正常終了しました。
- ＊ ……………　ECMモードで通信しました。
- ＃ ……………　スーパーG3で通信しました。
- エラーコード　異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては184ページ参照）

9. 備考

- 親　　展……　親展送信、親展受信です。
- 中　　継……　中継指示送信です。
- ポーリング…　ポーリングです。
- 同　　報……　同報送信です。
- 手　　動……　手動送信です。
- 検索ポー……　検索ポーリングです。
- F コード……　Fコード送信です。
- F ポー………　Fコードポーリングです。
- F 親展………　Fコード親展通信です。
- F 中継………　Fコード中継指示通信です。
- F 掲示板……　Fコード掲示板通信です。

確認編

18 通信後に相手と話す（会話予約）

通信後に相手と電話で話すことができる機能です。送信や受信後、相手先に確認がとれます。
相手機によっては会話予約できないことがあります。

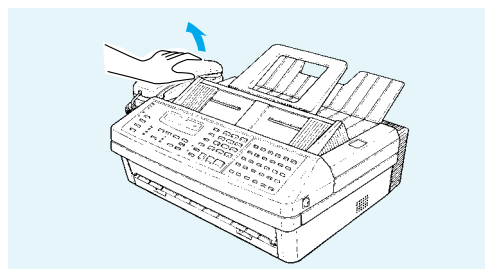
ディスプレイに送信中または、受信中が表示されていることを確認します。

ABCｼｮｳｼﾞ	
A4	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

フック／会話予約 キーを押します。
フック／会話予約ランプが点灯します。

●中止したいときは再度、フック／会話予約 キーを押します。

電話の呼び出しベルが鳴ったら受話器（本体電話機）を上げます。

●送信中に会話予約をした場合は、最終ページの送信終了後にベルが鳴ります。
●受信中に会話予約をした場合は、受信中のページを受信後にベルが鳴ります。
●相手側でも受話器を上げなければ会話はできません。

ワンポイント

●スーパーG3通信時は会話予約できません。フック／会話予約 キーを押してもブザーではじかれるか、フック／会話予約ランプが点灯していても会話予約の呼び出しベルが鳴りません。

第 4 章
機能のセット

もくじ

1 ワンタッチダイヤルの登録

よく通信する相手先を、24か所までワンタッチキーに登録することができます。ワンタッチダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名のほかに、転送番号やグループ番号も登録しておくことができます。

- 電話番号　　：40桁まで登録できます。
- 相手先名　　：24文字まで登録できます。
- 転送番号　　：設定回数のリダイヤル（171ページ参照）を行っても、相手側ファクスが通信中などで送信できないときに、別のファクス番号へ送信します。転送番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせ、10カ所まで登録できます。
- グループ番号：多数の相手に送信するときに、グループ単位でダイヤルすることができます。
- ワンタッチダイヤルに使用できるキーは01～24のキーです。

登録する

1

① [機能] キー → [セット] キーを押します。

```
A1 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ｾｯﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② [セット] キーを押します。

2

① 登録したいワンタッチキーを押します。

- [<] [>] キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。
- 登録できるワンタッチキーは01～24です。

【例】ワンタッチキー [10] に登録するとき

```
ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
10:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ
```

② [セット] キーを押します。

- すでに登録されている番号を変更する場合は、[クリア] キーを押して、表示されている番号を消去し、新しい番号を入力してください。

```
10:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
█
```

3

① ダイヤルキーで相手先番号を入力します。（最大40桁）

- ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（38ページ参照）
- 番号を間違えて入力したときは、[クリア] キーを押して正しい番号を入力してください。

```
10:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890█
```

② [セット] キーを押します。

4

転送番号を入力します。

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせて、転送番号がすでに10カ所登録されている場合、この手順はとばされて手順5の画面になります。

（転送番号を入力しないときは [セット] キーを押して手順5へ進みます。）

① ダイヤルキーで転送番号を入力します。（最大40桁）

```
10:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
987-654-3210█
```

② [セット] キーを押します。

5 相手先名を入力します。

① 相手先名を入力します。

```
10:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｷｮｳﾄｼﾃﾝ█
```

●24文字まで登録できます。
●文字入力については「文字入力のしかた（23ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

② セット キーを押します。

6 グループ番号を入力します。

（グループ番号を入力しないときは セット キーを押して手順7へ進みます。）

① ダイヤルキーでグループ番号を入力します。

```
10:ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
1,2█
```

●グループ番号は1から32までです。0を入力すると全てのグループを指定することができます。
●複数のグループ番号を入力するときは、 グループ キーを押します。
●グループ番号は32カ所まで登録できます。

② セット キーを押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
11:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ
```

●次のワンタッチ番号の登録に移ります。

7 続けてワンタッチダイヤルを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。

終了するときは、 ストップ キーを押します。

STOP お願い

● 間違い電話や誤送信を防ぐために、ワンタッチダイヤルに番号を登録する際は番号間違いのないよう、液晶ディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後はワンタッチダイヤルリスト（146ページ参照）で正しく登録されていることを確認してください。
● 本商品に一般電話の電話番号を誤って登録しますと、自動リダイヤル機能により、相手様を何度も呼び出し大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

ワンポイント

● **すでに登録されている内容を変更するときは…**
ワンタッチダイヤルの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力します。
● **プログラムワンタッチ キー（25～30）をワンタッチダイヤルとして使用するには…**
25～30のキーをワンタッチダイヤルのように使用できます。156ページのワンポイントを参照してください。

● 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
● 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。

消去する

1

① 機能 キー → ダイヤルキー 2 を押します。

② セット キーを押します。

```
A2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2

① 消去したいワンタッチキーを押します。

●< > キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

② セット キーを押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
09:06-111-4444
```

3

消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

●消去を中止するときは、機能 キーを押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ      ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

4

続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

ワンタッチダイヤルリストをプリントする

1

機能 キー → ダイヤルキー 3 を押します。

```
A3 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2

セット キーを押します。

●ワンタッチダイヤルリストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊ ワンタッチダイヤル リスト ＊＊

P.1　　2003年 2月10日（月）13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
[01]	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	075-111-3333
[02]	ｵｵｻｶｼﾃﾝ （転送先）	06-6111-4444 06-6111-5555
[03]	ﾌｸｵｶｼﾃﾝ	092-111-6666

2 短縮ダイヤルの登録

よく通信する相手先を、196カ所まで短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名のほかに、転送番号やグループ番号も登録しておくことができます。

- 電話番号　　：40桁まで登録できます。
- 相手先名　　：24文字まで登録できます。
- 転送番号　　：設定回数のリダイヤル（171ページ参照）を行っても、相手側ファクスが通信中等で送信できないときに、別のファクス番号へ送信します。転送番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせ、10カ所まで登録できます。
- グループ番号：多数の相手に送信するときに、グループ単位でダイヤルすることができます。

登録する

1

① 機能 キー → ワンタッチキー B → セット キーを押します。

B1 ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2

① 登録したい短縮番号3桁をダイヤルキーで入力します。

●< > キーを押して短縮番号を選択することもできます。
●登録できる短縮番号は001〜196です。
●すでに短縮ダイヤルが登録されている場合には、相手先番号が表示されます。

【例】短縮番号007に登録するとき

ﾀﾝｼｭｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
007:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

② セット キーを押します。

●すでに登録されている番号を変更する場合は、クリア キーを押して表示されている番号を消去し、新しい番号を入力してください。

007:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
█

3

① ダイヤルキーで相手先番号を入力します。（最大40桁）

●ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（38ページ参照）
●番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

007:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890█

② セット キーを押します。

4

転送番号を入力します。

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせて、転送番号がすでに10カ所登録されている場合、この手順はとばされて手順5の画面になります。

（転送番号を入力しないときは セット キーを押して手順5へ進みます。）

① ダイヤルキーで転送番号を入力します。（最大40桁）

007:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
987-654-3210█

② セット キーを押します。

第4章 機能のセット

相手先名を入力します。

① 相手先名を入力します。

●24文字まで登録できます。
●文字入力については「文字入力のしかた（23ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

007:ｱｲﾃｻｷﾒｲ:ｶﾀｶﾅ
ｵｵｻｶｼﾃﾝ█

② セット キーを押します。

グループ番号を入力します。
（グループ番号を入力しないときは セット キーを押して手順7へ進みます。）

① ダイヤルキーでグループ番号を入力します。

●グループ番号は1から32までです。0を入力すると全てのグループを指定することができます。
●複数のグループ番号を入力するときは、グループ キーを押します。
●グループ番号は32カ所まで登録できます。

007:ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
1,2█

② セット キーを押します。

●次の短縮ダイヤルの登録に移ります。

ﾀﾝｼｭｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
008:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

続けて短縮ダイヤルを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

STOP お願い

● 間違い電話や誤送信を防ぐために、短縮ダイヤルに番号を登録する際は番号間違いのないよう液晶ディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後は短縮ダイヤルリスト（149ページ参照）で正しく登録されていることを確認してください。
● 本商品に一般電話の電話番号を誤って登録しますと、自動リダイヤル機能により、相手様を何度も呼び出し大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

ワンポイント

● **すでに登録されている内容を変更するときは…**
短縮ダイヤルの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力します。

● 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
● 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。

消去する

① 機能 キー → ワンタッチキー B → ダイヤルキー 2 を押します。

```
B2 ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

2

① 消去したい短縮番号3桁をダイヤルキーで入力します。

●＜ ＞ キーを押して短縮番号を選択することもできます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
002:0899-11-1133
```

② セット キーを押します。

3

消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

●消去を中止するときは、機能 キーを押します。

```
ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ      ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

4

続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

短縮ダイヤルリストをプリントする

1

機能 キー → ワンタッチキー B →ダイヤルキー 3 を押します。

```
B3 ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2

セット キーを押します。

●短縮ダイヤルリストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊ 短縮ダイヤル リスト ＊＊

P.1　　2003年 2月10日 (月) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
S001	ﾎｸﾘｸｼﾃﾝ (転送先)	0792-11-1111 0792-11-1122
S002	ｼｺｸｼﾃﾝ	0899-11-1133

3 プログラムワンタッチの登録

定型操作をプログラムワンタッチに登録しておくと、登録したキーと スタート キーを押すだけで、登録した操作を行うことができます。

- プログラムワンタッチに使用できるワンタッチキーは25～30の6個です。
- 登録できる内容は以下の通りです。

・通信メニュー：時刻指定、親展送信、中継指示送信、ポーリング、一括送信、Fコード送信、Fコードポーリングが登録できます。時刻指定は他の5つの通信メニュー（親展送信、中継指示送信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリング）と組み合わせて登録できます。

》通信メニューを登録するときに、同時に次の設定を登録できます。

画質選択	濃度選択	メモリ送信	済スタンプ	通信証

・リストメニュー：登録したキーと スタート キーを押すだけで、リストを出力することができます。登録できるリストは以下の通りです。

ワンタッチダイヤルリスト	短縮ダイヤルリスト	プログラムワンタッチリスト	親展者リスト
通信予約リスト	通信管理レポート	グループリスト	機器設定リスト
ダイレクトメール防止ダイヤルリスト	メッセージリスト	一括送信ボックスリスト	一括送信原稿リスト
Fコードボックスリスト	Fコードボックス蓄積原稿リスト	部門管理リスト	ナンバー・ディスプレイダイヤルリスト
ナンバー・ディスプレイ着信履歴	FAXワープリスト		

・蓄積メニュー：ポーリング原稿とFコード原稿の蓄積操作が登録できます。

》蓄積メニューを登録するときに、同時に次の設定を登録できます。

画質選択	濃度選択

通信メニューを登録する

1

① **機能 キー → ワンタッチキー C → セット キーを押します。**

C1 プ゜ログ゛ラムワンタッチ セット
キノウ/セット

② **セット キーを押します。**

2

① **登録したいワンタッチキーを押します。**

● < > キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

② **セット キーを押します。**

【例】ワンタッチキー 26 に登録するとき

ワンタッチキー ヲ エランデ゛クダ゛サイ
26:セット サレテイマセン

3

「ツウシン」が選択されていることを確認し、セット キーを押します。

●「ツウシン」が選択されていないときは、機能 キーを押して選択します。

26: トウロク ナイヨウ: ツウシン
キノウ/セット

《時刻指定を登録するとき》

（時刻指定送信：78ページ参照）

●時刻指定は他の5つの通信メニューと合わせて登録できます。

① 応用通信 キーを押して「ジコクシテイ　ツウシン」を選択し セット キーを押します。

```
ｼﾞｺｸｼﾃｲ ﾂｳｼﾝ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ 10/13:30
```

② 送信時刻（日 時 分）をダイヤルキーで入力します。

【例】21日　午後2時30分と入力したとき

●1桁のときは先頭に0を付けます。

●日付けを指定しないときは、「00」を入力します。

```
ｼﾞｺｸｼﾃｲ ﾂｳｼﾝ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ 21/14:30
```

③ セット キーを押します。

手順5（154ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。

《親展送信を登録するとき》

（親展送信：101ページ参照）

① 応用通信 キーを2回押して「シンテン　ソウシン」を選択し セット キーを押します。

```
ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:
```

② ダイヤルキーで相手先の親展ボックス番号（1桁）を入力します。

【例】親展ボックス番号の1を入力したとき

```
ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:      1
```

③ セット キーを押します。

手順5（154ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。

時刻指定を組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

第4章 機能のセット

《中継指示送信を登録するとき》

（中継指示送信：87ページ参照）

① 応用通信 キーを3回押して「チュウケイシジ　ソウシン」を選択し セット キーを押します。

```
ﾁｭｳｹｲｼｼﾞ ｿｳｼﾝ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: █
```

② ダイヤルキーで中継機に登録されているグループ番号（0～32）を入力します。

```
ﾁｭｳｹｲｼｼﾞ ｿｳｼﾝ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 1,22█
```

- グループ番号0を入力すると、全てのグループ（1-32）を指定することができます。
- 複数の番号を入力するときは、グループ キーを押して間にコンマ（,）を入れます。
- グループ番号は10カ所まで入力できます。

③ セット キーを押します。
手順5（154ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。
時刻指定を組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

《ポーリングを登録するとき》

（ポーリング：100ページ参照）

① 応用通信 キーを4回押して「ポーリング」を選択し セット キーを押します。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:█
```

② 検索ポーリングのときはファイル番号（0～9999）を入力します。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:1█
```

- 通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、④に進みます。

③ 続けてファイル番号を入力するときは、応用通信 キーを押してファイル番号を入力します。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:1,2222█
```

④ セット キーを押します。
手順5（154ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。
時刻指定を組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

《一括送信を登録するとき》

（一括送信：80ページ参照）

●あらかじめ一括送信ボックスの登録が必要です。（84ページ参照）

① 応用通信 キーを5回押して「イッカツ　ソウシン」を選択し セット キーを押します。

```
ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:
```

② ダイヤルキーで一括送信ボックス番号（1～5）を入力します。

```
ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:    1
```

③ セット キーを押します。
手順6（154ページ）へ進みます。

《Fコード送信を登録するとき》

（Fコード送信：110ページ参照）

① 応用通信 キーを6回押して「Fコード　ソウシン」を選択し セット キーを押します。

```
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
```

② 使用する機能のサブアドレス番号を入力します。
●サブアドレスは数字のみ20桁まで登録できます。

```
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123456789
```

③ セット キーを押します。

④ パスワードを入力します。
●パスワードは20桁以内の数字、＊、＃で表せます。
●パスワードが必要ないときは、⑤に進みます。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
##0101##
```

⑤ セット キーを押します。
手順5（154ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。
時刻指定と組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

《Fコードポーリングを登録するとき》

（Fコードポーリング：112ページ参照）

① 応用通信 キーを7回押して「Fコード　ポーリング」を選択し セット キーを押します。

ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
█

② 使用する機能のサブアドレス番号を入力します。
●サブアドレスは数字のみ20桁まで登録できます。

ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
111222333█

③ セット キーを押します。

④ パスワードを入力します。
●パスワードは20桁以内の数字、＊、＃で表せます。
●パスワードが必要ないときは、⑤に進みます。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
##222##█

⑤ セット キーを押します。
手順5（154ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。
時刻指定と組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

① ダイヤルキーで相手先番号を入力します。（最大40桁）
●ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号を入力できます。（38ページ参照）
●ダイヤルキー、ワンタッチキー、短縮 キー、グループダイヤルが使用できます。
●同報 キーで区切ることにより最大240宛先まで指定できます。（ダイヤルキーによる指定は20宛先までです。）
●間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

26:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890█

② セット キーを押します。
●ポーリング、Fコードポーリングを登録したときは、この手順で終了です。
続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。終了するときは、ストップ キーを押します。

6

① 機能 キーを押して、どの画質で送信するか選択します。

●プログラムワンタッチを押したとき、選択した画質で送信されます。
●“———”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている画質で送信されます。

② セット キーを押します。

```
26: ｶﾞｼﾂ: ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
↓
26: ｶﾞｼﾂ: ｺｳｶﾞｼﾂ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
↓
26: ｶﾞｼﾂ: ﾁｮｳｺｳｶﾞｼﾂ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
↓
26: ｶﾞｼﾂ: ｼｬｼﾝ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
↓
26: ｶﾞｼﾂ: ---
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

① 機能 キーを押して、どの濃度で送信するか選択します。

●プログラムワンタッチを押したとき、選択した濃度で送信されます。
●“———”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている濃度で送信されます。

② セット キーを押します。

```
26: ﾉｳﾄﾞ:      ｳｽｸ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
↓
26: ﾉｳﾄﾞ:      ﾌﾂｳ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
↓
26: ﾉｳﾄﾞ:      ｺｸ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
↓
26: ﾉｳﾄﾞ:      ---
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

8

① 機能 キーを押して済スタンプを押すか（ON）押さないか（OFF）選択します。

●プログラムワンタッチを押したとき、選択した状態で済スタンプが動作します。
●“———”を選択すると、原稿をセットしたときの 済スタンプ キーの状態で動作します。

② セット キーを押します。

●相手先番号を複数登録したときや、複数の宛先が登録されているグループダイヤルを入力したときは、手順10へ進みます。
●一括送信を登録したときは、この手順で終了です。続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。終了するときは、 ストップ キーを押します。

```
26: ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ:    OFF
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
↓
26: ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ:    ON
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
↓
26: ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ:    ---
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

第4章 機能のセット

① 機能 キーを押して、メモリ送信にするか（ON）ダイレクト送信にするか（OFF）選択します。

●プログラムワンタッチを押したとき、選択した状態で送信されます。
●“－－－”を選択すると、原稿をセットしたときの メモリ送信 キーの状態で送信します。

② セット キーを押します。

```
26: ﾒﾓﾘｿｳｼﾝ:      OFF
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
26: ﾒﾓﾘｿｳｼﾝ:       ON
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
26: ﾒﾓﾘｿｳｼﾝ:      ---
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

10

① 機能 キーを押して、通信証を発行するかどうか選択します。

●プログラムワンタッチを押したとき、選択した通信証が発行されます。
●“－－－”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている通信証が発行されます。。

```
26: ﾂｳｼﾝｼｮｳ: OFF
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
送信証を発行
26: ﾂｳｼﾝｼｮｳ: ｿｳｼﾝ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
受領証を発行
26: ﾂｳｼﾝｼｮｳ: ｼﾞｭﾘｮｳ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
26: ﾂｳｼﾝｼｮｳ: ---
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
27:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ
```

11

続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

ワンポイント

● **すでに登録されている内容を変更するときは…**
プログラムワンタッチの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。
● **別のメニューに変更するときは…**
変更したいプログラムワンタッチを消去してから、新しく登録し直してください。（160ページ参照）
● **プログラムワンタッチをワンタッチダイヤルのように使用できます。**
通信メニューの登録手順にて、手順4を行わず、手順5に進むと、「時刻指定通信の時刻指定無し」として登録されます。時刻指定通信で時刻の指定が無いときは、即発信するので、プログラムワンタッチがワンタッチダイヤルのように使用できます。

● 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。
● 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

リストメニューを登録する

① 機能 キー → ワンタッチキー C → セット キーを押します。

C1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2

① 登録したいワンタッチキーを押します。

●＜ ＞ キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

② セット キーを押します。

【例】ワンタッチキー 26 に登録するとき

ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
26:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

3

① 機能 キー を押し、「リスト」を選択します。

26: ﾄｳﾛｸ ﾅｲﾖｳ: ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

4

① 機能 キー を押し、登録するリストを選択します。

●登録できるリストの種類は150ページを参照してください。

26:ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

5

続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

ワンポイント

- **すでに登録されている内容を変更するときは…**
  プログラムワンタッチの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。
- **別のメニューに変更するときは…**
  変更したいプログラムワンタッチを消去してから、新しく登録し直してください。（160ページ参照）

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

蓄積メニューを登録する

1

① 機能 キー → ワンタッチキー C → セット キーを押します。

C1 プ゚ログ゙ラムワンタッチ セット
キノウ/セット

② セット キーを押します。

2

① 登録したいワンタッチキーを押します。
●< > キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

【例】ワンタッチキー 26 に登録するとき

ワンタッチキー ヲ エランデ゙クダ゙サイ
26:セット サレテイマセン

② セット キーを押します。

3

① 機能 キー を押し、「チクセキ」を選択します。

26: トウロク ナイヨウ: チクセキ
キノウ/セット

② セット キーを押します。

《ポーリング原稿蓄積を登録するとき》

（ポーリング予約：98ページ参照）

4

① 機能 キー を押し、「ポーリングゲンコウ　チクセキ」を選択します。

26:ポ゚ーリング゙ゲ゙ンコウ チクセキ
キノウ/セット

② セット キーを押します。

5

① 検索ポーリングのときはファイル番号（0～99）を入力します。
●通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順②に進みます。

ポ゚ーリング゙ ゲ゙ンコウ チクセキ
ファイル バ゙ンゴ゙ウ: 10█

② セット キーを押します。
手順6（159ページ）へ進みます。

《Fコード原稿蓄積を登録するとき》

（掲示板への原稿蓄積：113ページ参照）

●あらかじめFコードボックスに掲示板の登録が必要です。

① [機能] キー を2回押し、「Fコードゲンコウ　チクセキ」を選択します。

```
26:Fｺｰﾄﾞｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ
        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② [セット] キーを押します。

① ダイヤルキーで原稿を蓄積する、Fコードボックス番号（掲示板ボックスの番号）を入力します。

●掲示板ボックスに設定したFコードボックス番号を指定してください。（118ページ参照）

●[<] [>] キーを押してボックス番号を選択することもできます。

```
ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
04:ｼｻﾞｲﾌﾞ ﾚﾝﾗｸ
```

② [セット] キーを押します。

③ [機能] キーで原稿を上書きするか（ON）、追加するか（OFF）を選択します。

```
ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ     :ON
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
▼
ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ     :OFF
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

④ [セット] キーを押します。
手順6へ進みます。

① [機能] キーを押して、どの画質で蓄積するか選択します。

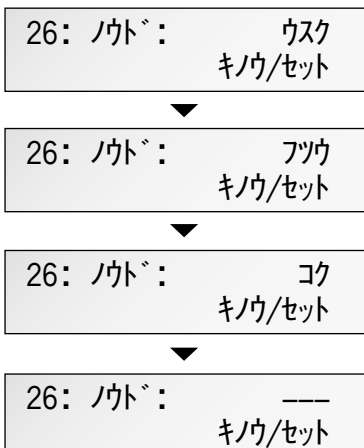
●プログラムワンタッチを押したとき、選択した画質で蓄積されます。

●“−−−”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている画質で蓄積されます。

② [セット] キーを押します。

```
26: ｶﾞｼﾂ: ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
▼
26: ｶﾞｼﾂ: ｺｳｶﾞｼﾂ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
▼
26: ｶﾞｼﾂ: ﾁｮｳｺｳｶﾞｼﾂ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
▼
26: ｶﾞｼﾂ: ｼｬｼﾝ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
▼
26: ｶﾞｼﾂ: −−−
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

① 機能 キーを押して、どの濃度で蓄積するか選択します。

●プログラムワンタッチを押したとき、選択した濃度で蓄積されます。
●“－－－”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている濃度で蓄積されます。

② セット キーを押します。

8 続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

ワンポイント

- **すでに登録されている内容を変更するときは...**
  プログラムワンタッチの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。
- **別のメニューに変更するときは...**
  変更したいプログラムワンタッチを消去してから、新しく登録し直してください。

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー C → ダイヤルキー 2 を押します。

C2 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ ｸﾘｱ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2 ① 消去したいワンタッチキーを押します。

●< > キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
26:ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ

② セット キーを押します。

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

●消去を中止するときは、機能 キーを押します。

続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

プログラムワンタッチリストをプリントする

機能 キー → ワンタッチキー C → ダイヤルキー 3 を押します。

C3 プ゚ログ゙ラムワンタッチ リスト
キノウ/セット

セット キーを押します。

●プログラムワンタッチリストがプリントされます。

（プリント例）

1. **No.**
   ワンタッチボタン名です。
2. **ダイヤル番号**
   登録した相手先の電話番号です。
3. **指定日時**
   登録した通信の日時です。
4. **応用機能**
   ・親　　展 …… 親展送信です。
   ・中　　継 …… 中継指示送信です。
   ・ポーリング … ポーリングです。
   ・検索ポー …… 検索ポーリングです。
   ・一　　括 …… 一括送信です。
   ・F コード …… Fコード送信です。
   ・F ポー ……… Fコードポーリングです。
5. **備考**
   親展ボックス番号、中継同報先などです。
6. **通信設定**
   登録したときに設定した通信設定です。
7. **リスト名**
   登録したリストです。
8. **種別**
   原稿蓄積の種別です。
9. **ボックス名**
   Fコードに登録したボックスの名前です。
10. **上書き**
   ・ON … 原稿蓄積時に上書きします。
   ・OFF … 原稿蓄積時に上書きしません。

4 グループリストのプリント

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルがどのグループに登録されているか、一覧を出力して確認できます。

[機能] キー → ワンタッチキー [H] を押します。

H ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

[セット] キーを押します。

●グループリストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊ グループ リスト ＊＊

P.1　　2003年 2月10日（月）13:30

No.	相手先名	00	10	20	30
S001	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	2　8			
[01]	ｹｲﾘ	2　8		6	
[02]	ｵｵｻｶ	1 2	5		2
[10]		1 2			

1　2　3

1. No.

ワンタッチキー名や、短縮番号です。

2. 相手先名

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで登録されている相手先名です。

3. グループ番号

登録されているグループ番号です。

【例】グループ番号26

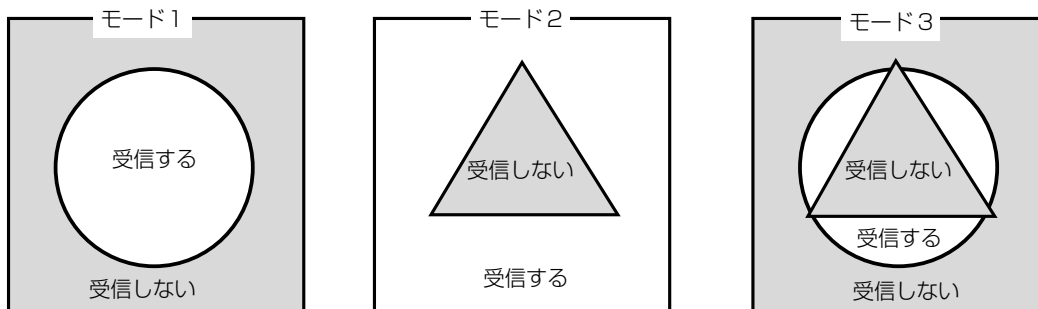
5 ダイレクトメール防止の登録

ダイレクトメール防止には3種類の方法があります。

モード1： ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手先からの文書のみを受信する方法です。登録されているファクス番号の下4桁と相手先に登録されている自機番号を照合し、一致したときのみ受信します。

モード2： ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下4〜8桁を登録します。最大50件まで登録できます。

モード3： モード1、2を合わせた方法です。ワンタッチ、短縮に登録されていない番号からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。

OFF　： ダイレクトメール防止を行いません。

□の部分：着信した番号
○の部分：ワンタッチ・短縮ダイヤルに登録されている番号
△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

登録する

初期設定：OFF

① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 1 、 0 を押します。

●< > キーを押して項目を選択することもできます。

J10 ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾎﾞｳｼ
キノウ/セット

② セット キーを押します。

2

① 機能 キーでOFFまたはモード1〜3を選択します。

ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾎﾞｳｼ:ﾓｰﾄﾞ1
キノウ/セット

ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾎﾞｳｼ:ﾓｰﾄﾞ2
キノウ/セット

ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾎﾞｳｼ:ﾓｰﾄﾞ3
キノウ/セット

ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾎﾞｳｼ:OFF
キノウ/セット

② セット キーを押します。

●OFFまたはモード1を選んだ場合は、この手順で終了です。

●モード2、モード3を選んだ場合、機能 キーを押すと、手順6に進み、「ダイレクトメールダイヤルリスト」のプリントの選択になります。

ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾀﾞｲﾔﾙ ｾｯﾄ
キノウ/セット

《モード2、モード3を選んだ場合》

3 セット キーを押します。

●すでに番号が登録されてる場合は 機能 キーで登録されていない番号を選択し、 セット キーを押してください。

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
01:▮

① ダイヤルキー登録する番号の下4〜8桁を入力します。

●ハイフンを入力するときは、 ダイヤル記号 キーを押します。（38ページ参照）

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
01:98765432

② セット キーを押します。

●他の番号を登録するときは、続けて番号を登録します。

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
02:▮

登録モードを終了するときは、ストップ キーを押します。

●ダイレクトメール防止ダイヤルリストをプリントしない場合は、再度 ストップ キーを押して終了します。

ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｾｯﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ

ダイレクトメール防止ダイヤルリストをプリントします。
セット キーを押します。

●ダイレクトメール ダイヤルリストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊ ダイレクトメール 防止 ダイヤルリスト ＊＊

P.1　　ﾓｰﾄﾞ2　　2003年 2月10日（月）13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
1	12345678	2	11122233	3	22233344
4	44455566				

ワンポイント

● 受話器（本体電話機）をとり、スタート キーを押して受信（手動受信）した場合、ダイレクトメール防止は行いません。
● ダイレクトメール防止機能は、相手先に登録されている自機の番号（ID）を利用します。そのため、相手先にID送出機能が無い場合や誤ったID番号が登録されている場合には、受信ができなくなることがありますのでご注意ください。
● ナンバー・ディスプレイから送出される番号を利用するのではありません。

モード3はこんな使い方も．．．

● ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録したファクス番号と同じ下4〜8桁をダイレクトメール専用番号として登録すると、ワンタッチ、短縮ダイヤルで送信はできますが、ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録した相手先からの受信は拒否するという使い方もできます。

変更／消去する

1 「登録する」の手順1～3を行います。

2 変更/消去したい番号が表示されるまで 機能 キーを押します。

```
ハ゛ンコ゛ウ ヲ エランテ゛クタ゛サイ
02:11122233
```

《番号を変更する場合》

3 ① セット キーを押します。
② < > キーで変更する数字にカーソルを移動させ、上書き入力します。
③ 再度 セット キーを押します。

《番号を消去する場合》

3 クリア キーを押します。番号はすぐに消去されます。

4 変更／消去を終了するときは、 ストップ キーを押します。

●ダイレクトメールダイヤルリストをプリントしない場合は、再度 ストップ キーを押して終了します。

```
ダ゛イレクトメール ダ゛イヤル リスト
セット/ストップ゜
```

5 リストをプリントするときは、 セット キーを押します。

ワンポイント

●ダイレクトメール防止番号を消去すると、後に登録されている番号が繰り上がります。
002に“2345”、003に“3456”と登録されているとき、002の“2345”を消去すると、“002：3456”と003のダイレクトメール防止番号が繰り上がります。

6 プロテクトコードの登録

セキュリティ機能を利用するためのプロテクトコードを登録します。
セキュリティ機能には以下のものがあります。
・セキュリティ受信‥‥‥‥‥‥受信原稿をメモリに蓄え自動的にプリントしないようにします。プリントするときにプロテクトコードが必要になります。（95ページ参照）
・オペレーションプロテクト‥‥‥各種設定や操作をできなくします。（168ページ参照）
・部門管理プロテクト‥‥‥‥‥部門管理機能の設定をできなくします。（135ページ参照）
プロテクトコードは絶対に忘れないようにしてください。各種セキュリティ機能を設定したときに操作できなくなります。

① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 1 、5 を押します。

```
J15 ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ ｾｯﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

2

① ダイヤルキーで登録済みのプロテクトコードを入力します。

●新規登録の場合はプロテクトコード（0000）を入力します。

新規

```
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ
Old ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :0000
```

●すでに登録されているプロテクトコードを変更するときは、登録されているプロテクトコードを入力します。

変更

```
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ
Old ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :6789
```

② セット キーを押します。

3

プロテクトコードを入力します。
ダイヤルキーで新しいプロテクトコード（4桁）を入力します。

```
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ
New ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :1234
```

●プロテクトコードに0000は使用できません。0000は消去用の番号として利用されます。（ワンポイント参照）
●プロテクトコードを間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。

4

セット キーを押します。
●プロテクトコードが設定されます。

ワンポイント

●プロテクトコードを忘れた場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

プロテクトコードを消去するには
手順3にて、プロテクトコード「0000」を入力します。
●操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

7 操作を保護する（オペレーションプロテクト）

プロテクトコードを知らない人に対し、操作や各種設定を禁止します。
あらかじめプロテクトコードを設定してください。（167ページ参照）

1

① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 1 、6 を押します。

```
J16 ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

●プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード　ミトウロクデス」と表示されます。

2

① ダイヤルキーでプロテクトコード（4桁）を入力します。

```
ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ ｾｯﾄ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ       :1234
```

② セット キーを押します。

●プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード　ガ　チガイマス」と表示されます。

3

機能 キーでONまたはOFFを選択します。

```
ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ:ON
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

```
ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ:OFF
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

4

セット キーを押します。

●オペレーションプロテクトが設定されます。

操作をしようとすると

1.キーを押すとプロテクトコードを要求します。

```
ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ       :****
```

2.登録されているプロテクトコードを入力します。

〈プロテクトコードが正しい場合〉

・操作しようとしている次の画面になります。
　続けて操作してください。

〈プロテクトコードが違う場合〉

・待機画面に戻ります。始めから操作をやりなおしてください。

※次のキーの操作は禁止されません:自動受信、画質、濃度、メモリ送信、済スタンプ、ストップ

※送信中などに他の操作をしようとしてもプロテクトコードを要求します。その場合はもう一度プロテクトコードを入力してください。

ワンポイント

- 受話器（本体電話機）や外付電話機の操作は禁止されません。
- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

8 送信に便利な設定をする

設定をしておくと、送信するときに便利な機能について説明します。ファクシミリの使用状況に合わせて設定してください。
設定内容を確認したいときは、「機器設定リスト（176ページ参照）」をプリントします。

スキャナパラメータを決める

初期設定:ヒョウジュン、フツウ、B4

画質、濃度、読み取り幅の初期値を決めます。画質、濃度についてはよく送信する原稿に合わせて設定しておくと、変更の手間が省けます。

1

① 機能 キー → ワンタッチキー J → セット キーを押します。

```
J01 ｽｷｬﾅ ﾊﾟﾗﾒｰﾀ
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

2

① 機能 キーを押して目的の画質を選択します。

ヒョウジュン……… 普通の文字のとき
コウガシツ………… 細かい文字のとき
チョウコウガシツ… 特に細かい文字のとき
シャシン…………… 写真のとき

```
ﾕｳｾﾝ ﾓｼﾞ:  ｺｳｶﾞｼﾂ
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

3

① 機能 キーを押して目的の濃度を選択します。

コク……濃く読み取りたいとき（鉛筆書きや、薄い文字のときなど）
フツウ… 普通の原稿のとき
ウスク… 薄く読み取りたいとき

```
ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ    :ｺｸ
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

4

機能 キーを押して目的の読み取りサイズを選択します。

B4 … B4幅まで読み取ります
A4 … A4幅まで読み取ります

```
ﾖﾐﾄﾘ ｻｲｽﾞ    :    A4
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

5

セット キーを押します。

●スキャナパラメータが設定されます。

ワンポイント

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

ポーズ時間を決める（ポーズ時間）　初期設定:5秒

内線からの発信などで使用するポーズを入力したときのダイヤル間隔を、5〜10秒の範囲で設定する機能です。

① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 0 、3 を押します。

●< > キーを押して項目を選択することもできます。

```
J03 ﾎﾟｰｽﾞｼﾞｶﾝ ｾｯﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

2 ダイヤルキーでポーズ時間（2桁）を入力し、セット キーを押します。

●1桁のときは、先頭に0をつけます。

```
ﾎﾟｰｽﾞｼﾞｶﾝ ｾｯﾄ
ｼﾞｶﾝ (05-10):    10
```

セット キーを押します。

●ポーズ時間が設定されます。

エラーを修正しながら送信する（ECMモード）　初期設定:ON

ECMモードは自動的に誤り訂正機能が働く便利な機能です。ただし、通信時間が若干長くなることがあります。

・ON ……ECMモードが働きます。
・OFF……ECMモードが働きません。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 0 、6 を押します。

●< > キーを押して項目を選択することもできます。

```
J06 ECM ﾓｰﾄﾞ ｾｯﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

3 セット キーを押します。

●ECMモードが設定されます。

リダイヤルの回数・間隔を決める（リダイヤル回数・間隔） 初期設定：3回・1分

相手先が話し中などのとき、あらかじめ設定した回数や間隔で再ダイヤルします。
・自動リダイヤルする回数を2～15回の間で設定できます。
・自動リダイヤルする間隔を0～5分の間で設定できます。

① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 0 、5 を押します。

●＜ ＞ キーを押して項目を選択することもできます。

J05 ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｾｯﾃｲ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

① ダイヤルキーでリダイヤル回数（2桁）を入力します。

ﾘﾀﾞｲﾔﾙｶｲｽｳ ｾｯﾄ
ｶｲｽｳ（02–15）： 04

② セット キーを押します。

3

ダイヤルキーでリダイヤル間隔（1桁）を入力します。

●0分に設定すると、相手が話し中のとき、間隔を置かずに再ダイヤルします。

ﾘﾀﾞｲﾔﾙｶﾝｶｸ ｾｯﾄ
ｶﾝｶｸ （0–5）： 5

4

セット キーを押します。

●リダイヤル回数・間隔が設定されます。

第4章 機能のセット

ワンポイント

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 入力した数字の変更は ＜ ＞ キーでカーソルを移動し、上書きで入力し直します。

間違いダイヤルを防止する（パスワード送信） 初期設定:OFF

この機能を有効にしておくと、こちらがダイヤルしたファクス番号と受信側で登録されているID番号（相手側のファクス番号）のそれぞれ下4桁を照合し、一致したときのみ送信します。
・ON …… パスワード送信を有効にします。
・OFF …… パスワード送信を無効にします。
この機能は手動送信では機能しません。

① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 0 、9 を押します。

●< > キーを押して項目を選択することもできます。

J09 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2

機能 キーでONまたはOFFを選択します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

セット キーを押します。

●パスワード送信が設定されます。

読み取った原稿にスタンプを押す（済スタンプ） 初期設定:OFF

読み取った原稿の表側に○スタンプを押します。メモリ送信の場合は、原稿を読み取った場合に押します。ダイレクト送信の場合は、送信済みの場合にスタンプが押されます。コピーの場合には済スタンプは押されません。
・ON …… スタンプが押されます。
・OFF ……スタンプは押されません。

① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 1 、3 を押します。

● < > キーを押して項目を選択することもできます。

J13 ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

スミスタンプ゜ ： ON
キノウ/セット

スミスタンプ゜ ： OFF
キノウ/セット

3 セット キーを押します。

●済スタンプが設定されます。

送信方法を切り替える（メモリ送信） 初期設定:ON

送信するときにメモリ送信（ON）を優先にするか、ダイレクト送信（OFF）を優先するか設定します。
メモリ送信（ON）に設定すると、送信するときに1度原稿をメモリに記憶してから送信します。
ダイレクト送信（OFF）に設定すると、送信するときに原稿を読み取りながら送信します。（37ページ参照）
送信するときに メモリ送信 キーを押すことにより、1通信だけメモリ送信あるいはダイレクト送信に切り替えることができます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 1 、2 を押します。

J12 メモリソウシン セット
キノウ/セット

●< > キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

3 セット キーを押します。

●メモリ送信が設定されます。

第4章 機能のセット

ワンポイント

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

9 その他の設定をする

コピーを禁止する（コピー禁止） 初期設定:OFF

コピー操作を禁止し、ファクシミリ操作のみに限定する機能です。
・ON …コピーできません。
・OFF…コピーできます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 0 、2 を押します。

J02 ｺﾋﾟｰｷﾝｼ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

●＜ ＞ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

3 セット キーを押します。
●コピー禁止が設定されます。

呼び出しベル回数を決める（呼び出しベル回数） 初期設定:2回

受信モードが自動受信（ファクス待機、電話／ファクス待機）の場合に、受信動作が開始されるまでのベル回数を0～10回の間で設定できます。よく電話を受ける場合には回数を多めに設定しておくと、電話を取りやすくなります。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 0 、4 を押します。

J04 ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾍﾞﾙｶｲｽｳｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

●＜ ＞ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 ダイヤルキーでベル回数（2桁）を入力して、セット キーを押します。

ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾍﾞﾙｶｲｽｳｾｯﾄ
ｶｲｽｳ（00–10）: 10

3 セット キーを押します。
●呼出ベル回数が設定されます。

保留メロディを消す （初期設定：ON）

保留をしたときに、保留メロディを流す（ON）を優先にするか、保留メロディを流さない（OFF）を優先するか設定します。

1

① 機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 1 、 7 を押します。

●< > キーを押して項目を選択することもできます。

```
J17 ﾎﾘｭｳ ﾒﾛﾃﾞｨ ｾｯﾄ
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

2

機能 キーでONまたはOFFを選択します。

```
ﾎﾘｭｳ ﾒﾛﾃﾞｨ      :OFF
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

```
ﾎﾘｭｳ ﾒﾛﾃﾞｨ      :ON
         ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

3

セット キーを押します。

●保留メロディが設定されます。

ワンポイント

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

10 機器設定リストのプリント

機器設定リストをプリントすると、本商品に設定された各種機能の設定状況を確認することができます。

機能 キー → ワンタッチキー J → ダイヤルキー 1 、8 を押します。

J18 キキセッテイ リスト
キノウ/セット

●< > キーを押して項目を選択することもできます。

セット キーを押します。

●機器設定リストがプリントされます。

（プリント例）

ABC商事(株)　　　Fax:123-456-7890

＊＊ 機器設定リスト ＊＊

発信元名	ABC商事(株)	ﾌｧｸｽ番号	123-456-7890

3
[3216 KB　　　2003年 2月10日(月) 13:30

1	2				
発信元名(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ(ｶﾌﾞ)				
親展受信記憶期間	01 日				
通信管理記録自動	ON	OFF			
通信証	送信証	受領証	ON	OFF	
通信回線	ﾌﾟｯｼｭ	10PPS	20PPS		
受信モード	ﾌｧｸｽ	ﾌｧｸｽ電話	電話ﾌｧｸｽ	留守ﾌｧｸｽ	
読取ｻｲｽﾞ	A4	B4			
優先文字ｻｲｽﾞ	標準	高画質	超高画質	写真	
優先原稿濃度	濃く	普通	薄く		
ｺﾋﾟｰ禁止	ON	OFF			
ﾎﾟｰｽﾞ時間	05 秒				
呼出ﾍﾞﾙ回数	02 回				
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ回数/間隔	15 回		1 分		
ECM ﾓｰﾄﾞ	ON	OFF			
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ	0000				
閉域通信	ON	OFF			
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ送信	ON	OFF			
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ	ﾓｰﾄﾞ1	ﾓｰﾄﾞ2	ﾓｰﾄﾞ3	OFF	
ｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ	ON	OFF			
ﾒﾓﾘ送信	ON	OFF			
済ｽﾀﾝﾌﾟ	ON	OFF			
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ﾌｧｸｽ/電話	7890	7891	7892	ﾍﾞﾙ時間	30 秒
ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ	ON	OFF			
保留ﾒﾛﾃﾞｨ	ON	OFF			
ﾒｯｾｰｼﾞ送信	ON	OFF			
部門管理	ON	OFF			
部門管理ﾌﾟﾛﾃｸﾄ	ON	OFF			
ｾｷｭﾘﾃｨ受信	ON	OFF			
FAXﾜｰﾌﾟ	ON	OFF			
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	未設定	PHONE2	ON	OFF	
NDﾜｰﾌﾟ	ON	OFF			

1. **機能名**

2. **設定内容**

3. **メモリ容量**
   本商品に搭載されているメモリ容量です。

第5章 こんなときは

もくじ

1 記録紙づまりを解除する

記録紙がつまるとアラーム音が鳴り「キロクシ　ヲ　カクニン　シテクダサイ」と表示されます。
以下の手順に従って慎重に取り除いてください。

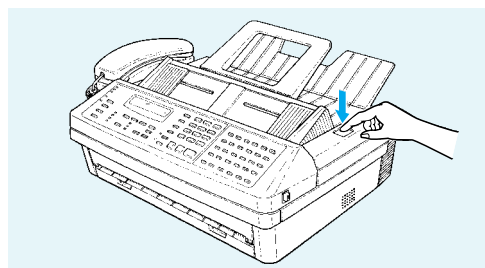
⚠注意

- サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因となります。
- カッター部には絶対に指を入れないでください。ケガの原因となります。
- トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

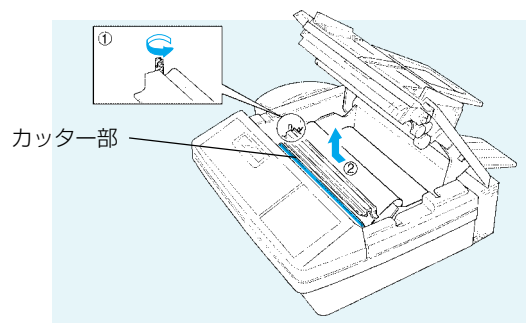
STOP お願い

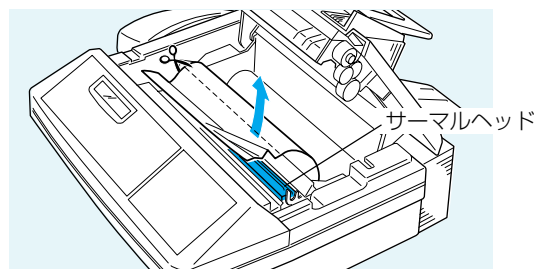
- 蓄積原稿が消えるおそれがありますので、電源を切らずに操作してください。
- 記録紙は無理に引き抜かないでください。故障の原因となります。

1 **トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。**

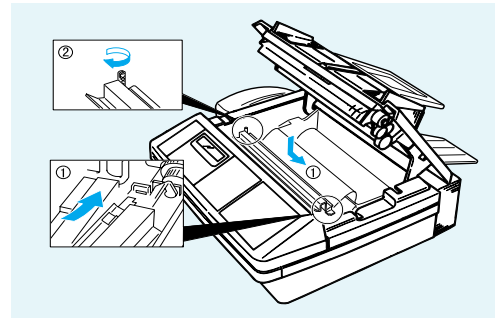
●完全にトップカバーを開けてください。

2 **① ペーパーガイドのネジを緩めます。**

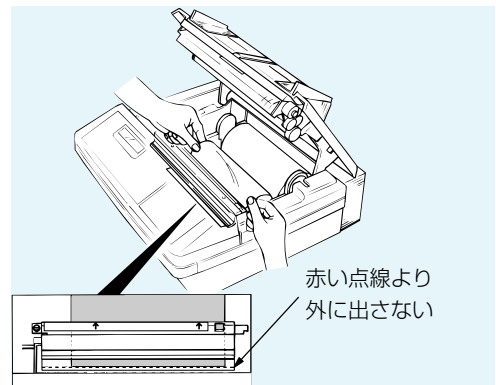
② ペーパーガイドを外します。

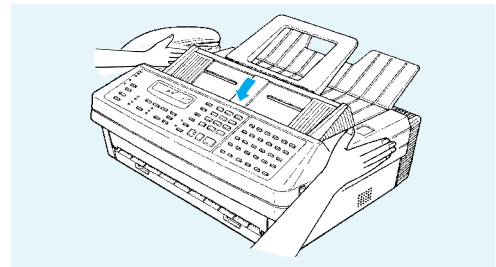
●ペーパーガイドを外すとカッター部が露出します。
カッター部には絶対に触れないでください。

3 **つまった記録紙を取り除きます。**

記録紙の破れた部分やしわになった部分をハサミなどでまっすぐに切り取ります。
●サーマルヘッドには手を触れないでください。

① ペーパーガイドを取り付けます。

●ペーパーガイドの右端の突起部を本体側の四角い穴に入れ、ネジで固定します。

② ペーパーガイドのネジを締めます。

記録紙の先端をペーパーガイドの下（黒い矢印の下）に挿入します。

●ペーパーガイドのフィルムから記録紙が見えるまで挿入します。記録紙がフィルムの赤い点線より外に出ないようにします。

トップカバーの両端を押さえて閉じます。

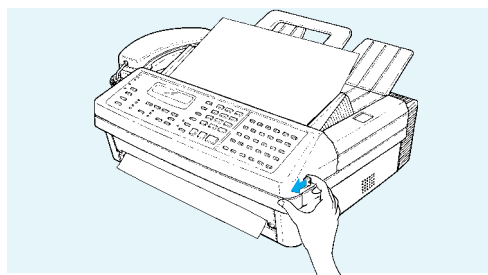
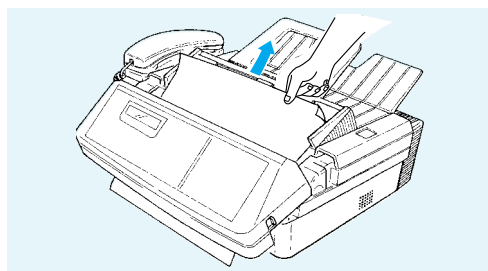
●トップカバーを閉じると、記録紙の先端をテストカットします。これが行われないときは、もう一度記録紙をセットし直してください。

2 原稿づまりを解除する

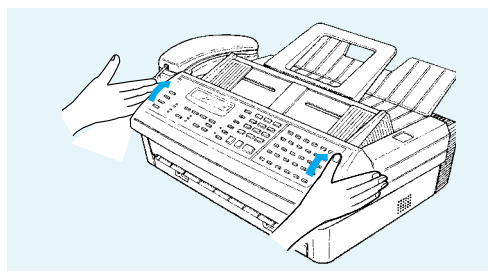
原稿がつまったときは、以下の手順でつまっている原稿を取り除いてください。

お願い

- 蓄積原稿が消えるおそれがありますので、電源を切らずに操作してください。
- 原稿を無理に引き抜かないでください。原稿が破れたり、故障の原因となったりします。

1 原稿カバーを開けます。

●原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開けます。

2 つまっている原稿を取り除きます。

3 原稿カバーを閉めます。

●原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。
●1枚目の原稿がつまった場合は始めから原稿セットし直してください。
●メモリに読み取り中のとき、2枚目以降の原稿がつまった場合は、手順4に進みます。
●ダイレクト送信のときや、コピーで部数を指定しなかったときに、2枚目以降の原稿がつまった場合は、つまった原稿からセットし直し、再度送信またはコピーしてください。

4 メモリに読み取り中のとき、2枚目以降の原稿がつまると、次のような表示が出ます。

ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ﾂﾂﾞｷﾉ ﾖﾐﾄﾘ　ｾｯﾄ/ｸﾘｱ

●読み取りを続ける場合は手順5へ進みます。
●読み取りを中止する場合は［クリア］キーを押します。
待機状態に戻ります。
●1分間何も押さないと蓄積した原稿を消去し、待機状態に戻ります。

5 ［セット］キーを押します。

●つまったページを表示します。

【例】メモリ送信のとき

2ﾍﾟｰｼﾞｶﾗ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃ
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

6 つまった原稿からセットし直し、表示されたキーを押します。

●原稿の読み取りを再開します。

3 済スタンプを交換する

済スタンプがうすくなったときは、済スタンプを交換してください。（済スタンプは別売品です）

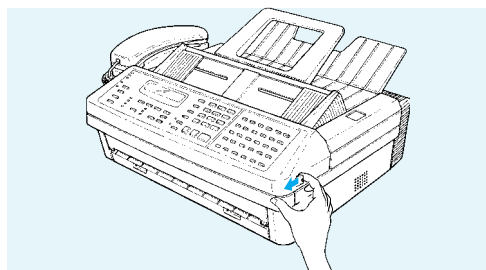
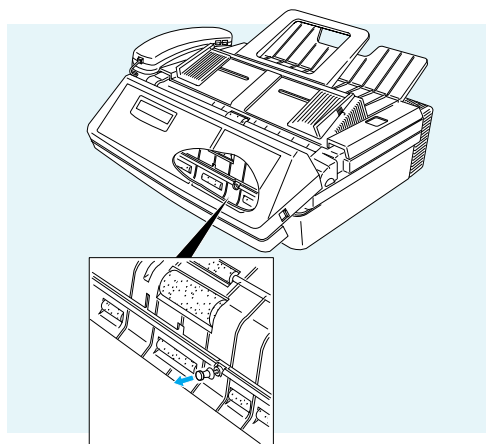
⚠注意

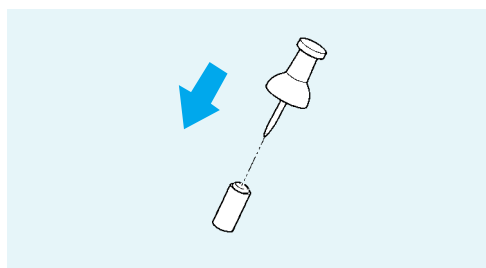
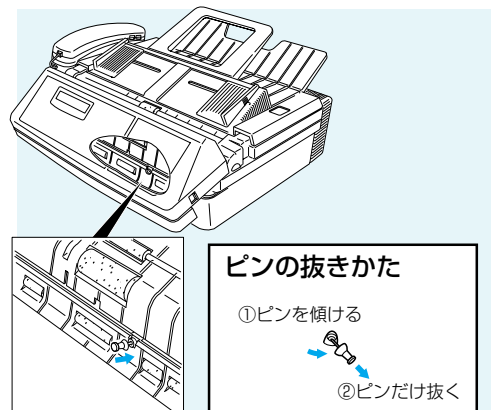
- 済スタンプを交換するときは、原稿カバーで手などをはさまないように片方の手で原稿カバーを押さえながら交換してください。
- 付属のピンは先がとがっています。指などに刺さらないようご注意ください。

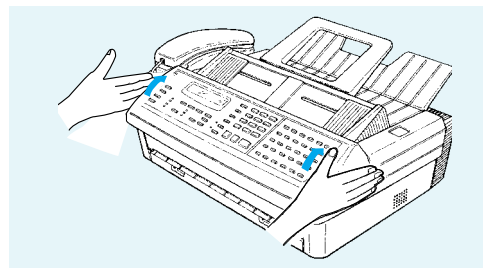
お願い

- スタンプ印面には、直接手を触れないでください。また、インクが手などに付着したときは、すぐに水で洗ってください。

1 原稿カバーを開けます。

●原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開けます。

2 交換する済スタンプの印面に付属のピンを刺し、済スタンプを引き抜きます。

3 交換用済スタンプの印面中央部に、付属のピンを刺します。

第5章 こんなときは

本体に差し込み、付属のピンだけを斜めに傾けて抜きます。

原稿カバーを閉めます。

●原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。

4 エラーメッセージ

アラームが鳴ったら

アラームは約4秒間鳴り、同時にアラームランプが点灯します。アラームの内容はエラーメッセージとしてディスプレイに表示されるか、チェックメッセージとして記録紙にプリントされますので、メッセージ内容を確認し対処してください。
ここに示した以外のエラーメッセージが表示またはプリントされた場合は、もう一度送り直していただき、それでも通信できない場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

● アラームランプは ストップ キーを押すと消灯します。

＊記録紙が無くなったり、記録紙がつまったりした場合や、原稿がつまったり、カバーが開いていたりする場合などの問題が発生しているときは、ストップ キーを押してもエラーランプは消えません。

メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
相手側機を確認して下さい	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機のモード、ファクス番号、相手側機の状態、パスコードなどの確認を依頼してください。	T.1.1、T.2.1 T.2.2、T.2.3 T.5.1、T.5.2 T.8.1、R.8.1 T.8.10、R.8.10 T.8.11、R.8.11
受信原稿を確認して下さい	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機の動作状態の確認を依頼してください。	T.4.2
もう一度送信して下さい	1. 原稿がスムーズに繰り込まれていない状態になっていることがあります。 ▶ 再度、送信操作をしてください。 2. 原稿枚数設定をしている場合、「設定枚数」より実際に送信した「実送枚数」のほうが少ないときに、このメッセージが出ます。（2枚送りなどが発生している可能性があります） ▶ 原稿枚数と相手先の受信枚数を確認して、再度送信操作をしてください。 3. 回線状態が悪いことがあります。 ▶ 再度、送信してください。 4. 「/」「！」の箇所で発信音がかえってきませんでした。 ▶ 「/」「！」の位置を確認して再送信してください。（交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。）	T.3.1 T.1.2 T.4.1 T.5.3 D.0.8
もう一度ダイヤルして下さい	1. 設定してある再ダイヤル回数分の電話をしても、相手先に送信できなかった場合です。 ▶ 改めて相手先のファクス番号を押し、送信してください。それでも再度このメッセージが出るときは、相手先に電話をかけて相手側機の状態を確認してください。 2. 回線設定が正しいか確認してください。（22ページ参照）	D.0.2
メモリオーバーしました	▶ 受信の場合は再度送信を依頼してください。また、記録紙切れや記録紙づまりが発生し、代行受信でメモリオーバーしている場合があります。その場合は、記録紙を交換したり、記録紙づまりを解除してください。 ▶ 送信の場合はダイレクト送信に設定して、再度送信してください。	R.4.4
メモリオーバー	▶ 原稿の蓄積中にメモリオーバーが発生しました。蓄積途中の原稿はメモリから消去されています。再度、蓄積してください。	
ダイヤル番号が登録されていません	▶ ワンタッチ・短縮ダイヤル番号をセットし直して、再度送信してください。	D.0.6
停止しました	▶ 通信がストップしました。再度通信してください。	D.0.3 T.1.4 R.1.4

エラーコード

D：ダイヤル時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	D.0.2	相手が話中	▶ 再送信してください。
	D.0.3	ストップ キーが押された	▶ 再送信してください。
	D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手先ファクス番号が登録されていない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	「/」「！」の箇所で発信音がかえってこなかった	▶ 「/」「！」の位置を確認して再送信してください。（交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。）

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	▶ 相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶ 相手先の受信方法を確認してください。
		相手機種がG3機でない	▶ 当機では通信できません。
	T.1.2	送信枚数設定の送信で2枚送りが発生した	▶ 相手側に受信枚数（ページ数）確認を依頼し、再送信してください。
	T.1.4	交信開始時に ストップ キーを押した（通信管理記録のみ表示）	▶ 再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
		相手機が閉域通信設定でパスコードが合わない	▶ 相手側の設定を確認してください。閉域通信設定で使用されていればパスコードを合わせてください。
	T.2.2	親展送信・中継指示送信で相手機にその機能がない、または親展送信で相手機に所定の親展者コードが設定されていない場合	▶ 相手先の機種および設定状況を確認してください。
	T.2.3	回線障害などが原因で、最低速度でも交信できない	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
	T.3.1	連続送信時2枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶ エラーが発生したページより再度送信してください。
		900 mm以上の原稿を送信した	▶ 1ページを900 mm以内に切って送信してください。
		交信中断のあと「ランプ カクニン」と表示した場合は光源の光量不足	▶ 電源スイッチをOFF→ONしてコピーをとってみてください。「ランプ カクニン」表示しなければ再度送信してください。コピーでも「ラン プカクニン」表示となる場合は当社のサービス取扱所にご連絡ください。
	T.3.2	回線障害などが原因で交信できなかった。	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
	T.4.2	相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶ 送信したページはすべて相手側に届いていますが、1部うつりが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。
	T.4.4	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
ECM送信	T.5.1	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
	T.5.2	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	
	T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	
	T.8.10、T.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった。	
	T.8.1	受信モードが合わない	▶ 相手側を確認して下さい。相手側機がファクスではないことがあります。

R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3受信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶ 送信側の操作ミスが考えられます。相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した（通信管理記録のみ表示）	
	R.1.4	受信中に ストップ キーを押した（通信管理記録のみ表示）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.5	回線障害などが原因で交信できなかった	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
	R.2.3	回線障害などが原因で回線が切れた	
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いたまたは ストップ キーを押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない（回線障害などが原因）	
	R.3.5	メモリオーバーで受信できなかった	▶ メモリ残量を確認してもう一度送信を依頼してください。
	R.4.2	受信中に信号が切れた（回線障害などが原因）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
	R.4.4	メモリ容量オーバー（通信管理記録にのみ記載）	
ECM受信	R.5.1	受信中に信号が途切れた送信側で ストップ キーを押した	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
	R.5.2	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.8.10、R.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶ 相手側を確認して下さい。（ポーリングにて、相手に原稿が無いなど。）

液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
数字ー数字　ヲ　ドウゾ （例：1 ー 99　ヲ　ドウゾ）	セットできない数字が入力されました。	▶ 表示されている範囲の数字を入力してください。	
キロクシ　ヲ　カクニン　シテクダサイ	記録紙がつまっています。	▶ つまっている記録紙を取り除いてください。	178
キロクシ　ヲ　ホキュウ　シテクダサイ	記録紙が無くなりました。	▶ 記録紙を補給してください。	18
ケタスウ　オーバー　デス	名前や番号入力のとき、最大桁数を越えました。	▶ 最大桁数内で入力し直してください。	134
●原稿 1 枚目でつまったとき ゲンコウカバー　ヲ　カイヘイシテ ゲンコウセット　ヤリナオシテクダサイ	原稿の読み取り中に原稿づまりが発生しました。	▶ つまった原稿を取り除き、セットし直してください。 ▶ 原稿カバーを開けて異物がないことを確認します。	180
●原稿 2 枚目でつまったとき ゲンコウガ　ツマリマシタ ツヅキノヨミトリ　セット／クリア	原稿の読み取り中に原稿づまりが発生しました。	▶ つまった原稿を取り除き、セットし直してください。 ▶ 原稿カバーを開けて異物がないことを確認します。 ▶ セット キーを押すと、読み取りを続ける操作を行います。 ▶ クリア キーを押すと、それまでに蓄積した原稿のデータは消え、待機状態になります。 ＊ 1 分間指示しない場合は、蓄積した原稿のデータを消去し、待機状態になります。	180
ゲンコウカバー　ヲ　トジテクダサイ トップカバー　ヲ　トジテクダサイ	表示されたカバーが開いています。	▶ 表示されたカバーを一度開けて、再度確実に閉め直してください。	102、114
ゲンコウ　ガ　アリマセン	親展受信原稿やポーリング原稿、F コードボックスに原稿がありません。	▶ 親展受信通知・F コードボックス受信通知を確認してください。 ▶ メモリ期間が過ぎており、消去されていることも考えられます。 ▶ F コード蓄積原稿リストをプリントして、原稿があるか確認してください。	117
ゲンコウ　ガ　セット　サレテイマス	ダイレクト送信中、予約中または原稿の読み取り中に スタート キーが押されました。	▶ 次のいずれかの操作をします。 1. ストップ キーを押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。	46
ゲンコウ　ガ　セット　ズミ　デス	ポーリング予約原稿に原稿が蓄積されています。	▶ 通常ポーリング原稿は 1 文書のみ蓄積できます。	98
ゲンコウ　ガ　チクセキサレテイマス	親展受信原稿が蓄積されています。	▶ 親展受信原稿が蓄積されているときは、ボックスを削除することはできません。	106
ゲンコウ　ヨミトリチュウ　デス	原稿読み取り中に右記の操作が行われました。	▶ コピー キーが押されました。 ▶ 他の宛先で送信が指示されました。 ▶ ポーリング予約文書の蓄積が指示されました。原稿の読み取りが終了してから、操作をしてください。	

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ゲンコウ　ヲ　セット　シテクダサイ	原稿をセットしないで送信やコピーをしようとしています。	▶ 原稿をセットして再度操作してください。	
コピーキンシ　チュウデス	コピー禁止セットがONになっている時に、コピーキーを押しました。	▶ コピー禁止セットをOFFにすると、コピーできます。	174
＊＊　シバラク　オマチクダサイ　＊＊	連続して印刷したり、印刷濃度の濃い印刷をしたりしてサーマルヘッドが高温になり、印字を中断しました。	▶ 印字可能状態になると、自動的に表示は消えます。そのままでしばらくお待ちください。	
ジュシン　ゲンコウ　ガ　アリマス	セキュリティ受信した原稿があるときに、右記の操作が行われました。	▶ セキュリティ受信を解除しようとしました。 ▶ プロテクトコードを消去しようとしました。	95 167
ジュワキ　ガ　アガッテイマス	交信終了時に受話器がはずれていたり、あがったりしたままです。	▶ 受話器を戻します。 ＊戻すまでアラームが鳴り続けます。	
シンテンボックス　デス	Fコード原稿蓄積・消去で選択したボックスが親展ボックスです。	▶ 掲示板ボックスを選択してください。	113、116 121
セット　サレテイマセン	ワンタッチ、短縮に相手先番号がセットされていません。 各種リストを出力しようとしたときに、何もセットされていません。	▶ ワンタッチ・短縮・プログラムワンタッチリストを確認のうえ操作してください。 ▶ 各種登録をしてから再度操作をしてください。	146、149 162
ダイヤルイン　セット　サレテイマセン	ダイヤルイン番号が登録されていないのに、ダイヤルインスイッチがONになっています。	▶ ダイヤルインセットをし直してください。またはダイヤルインスイッチをOFFにしてください。	60
タダシイ　バンゴウ　ヲ　ドウゾ	短縮ダイヤル、グループダイヤルで相手先を指定するときに、ダイヤルキー以外のキーが押されました。	▶ ダイヤルキーで正しい番号を入力してください。	
	親展ボックス指定時にボックス番号が入力されませんでした。	▶ ボックス番号を入力してください。	
チクセキ　デキマセン	Fコード原稿蓄積時、選択したボックスには、すでに30件蓄積されています。	▶ 原稿を消去するか、他のボックスを選択してください。	113、116

次のページへ

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
チョクセツダイヤル　1カショ　イナイ	FAXワープの転送先登録時、ダイヤルキーによる相手先番号の指定が2ケ所以上あります。	▶ ダイヤルキーによる相手先番号の指定数は1ヶ所だけです。	92
チョクセツダイヤル　20カショ　イナイ	同報送信などでダイヤルキーによる相手先番号の指定が20ヶ所を超えています。	▶ ダイヤルキーによる相手先番号の指定数は20ヶ所までです。	76
ツウシン　エラー	通信エラーが発生しました。	▶ 通信エラーの内容を確認して、再操作してください。 ＊エラーランプは ストップ キーを押すと消えます。	186
ツウシンケッカ　アリマセン	通信は一度も行われていません。		
ツウシン　デキマセン	送信・受信の指示登録が一杯です。	▶ 次のいずれかの操作をします。 1. ストップ キーを押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。 4. 手動送信を行います。	 46 42
ツウシンチュウ　デス	ポーリング送信中にポーリング原稿消去の操作が行われました。	▶ 通信終了後、再操作してください。	
ツウシンマチ　アリマセン	指定したファイル番号に予約がありません。	▶ 通信予約リストまたは、通信中止／確認 キーで予約状況を確認してください。	46 49
バンゴウ　ガ　チガイマス	暗証番号が間違っています。	▶ 正しい暗証番号を入力してください。	
バンゴウ　ガ　トウロクサレテイマス	すでに同じ番号が登録されています。	▶ リストなどで確認して、異なる番号を登録してください。	
バンゴウ　10カショ　イナイ	中継指示のグループ番号、ポーリングのファイル番号の指定など、最大10件以内の操作のときに10件以上入力しました。	▶ 10件以内でセットしてください。	87 100
ブモンコード　ガ　ミトウロクデス	部門管理コードが登録されていません。	▶ 部門管理コードを登録してください。	134
プリントチュウ　デス	プリント中にプリントさせる操作をしました。	▶ プリントが終了してから再操作してください。	
プロテクトコード　ガ　チガイマス	プロテクトコードが間違えて入力されました。	▶ 正しいプロテクトコードを入力し直してください。	135
プロテクトコード　ミトウロクデス	プロテクトコードが必要ですが登録されていません。	▶ プロテクトコードを登録してください。	167

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ボックス　シヨウチュウ	一括送信ボックスの登録・消去の時に、選択したボックスが使用されてます。	▶ 使用されている状態を解除してから、ボックスの登録・消去を行ってください。	84、85
	Fコードの原稿蓄積等で選択したボックスが使用中です。	▶ 使用されている状態を解除してから、原稿蓄積等を行ってください。	113
マイスウ　ヲ　カクニン　シテクダサイ	原稿枚数セットでセットした枚数より、読み取った枚数が少ないとき表示されます。	▶ 正しい枚数をセットしてください。 ▶ 原稿を重ねて読み取っていることがありますのでチェックしてください。	136
●原稿1枚目でメモリ容量オーバー メモリ　オーバー　デス	原稿の蓄積中にメモリ容量をオーバーしたことを示し、自動的に原稿の読み取りを中止します。	▶ 送信の場合、ダイレクト送信に切り換えて再度操作してください。	37
●原稿2枚目以降 メモリ　オーバー　デス メモリ　ブンノミ　スタート／クリア メモリ　オーバー　デス メモリ　ブンノミ　コピー／クリア	原稿の蓄積中にメモリ容量をオーバーしたことを示し、自動的に原稿の読み取りを中止します。	▶ スタート キーを押すと蓄積済みの原稿のうち、前ページまで登録完了とし、与えられた操作を行います。 ▶ クリア キーを押すと、それまでに蓄積した原稿のデータは消え、待機状態になります。 ＊ 1分間指示をしない場合 ・メモリ送信のとき蓄積した原稿を消去します。 ・コピーのときは蓄積した分のコピーを開始します。	73
メモリ ガ イッパイデス ジドウジュシン デキマセン	メモリがいっぱいです。原稿蓄積や自動受信ができません。	▶ メモリに保持された原稿をプリントしてください。 ▶ ポーリング原稿蓄積後にこのメッセージが表示された場合は、ポーリング送信ができませんので、一旦ポーリング原稿をクリアし、原稿枚数を減らすなどしてから再操作してください。 ▶ 通信予約(時刻指定送信など)を解除するか、通信予約された原稿の送信が終わるまで待ちます。	63 99 98 46
ヨヤクゲンコウ　ガ　アリマセン	通信予約原稿のプリント指示をした予約番号が、ダイレクト送信またはポーリングの予約でした。	▶ 予約原稿をプリントできるのは、メモリ内に原稿が蓄積される通信予約です。予約状況を確認のうえ、再操作してください。	46、49
ランプ　カクニン	原稿読み取り用の光源の光量不足または光源が不良です。	▶ 一度電源をOFF／ONにして、コピーし、光源がつくか確認してください。 ▶ 光源がつかない場合、エラーが消えない場合は当社のサービス取扱所にご連絡ください。	裏表紙

5 停電のとき

本体の動作

停電になったとき	通話中は...	引き続き通話ができます。
	送信中は...	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリ送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 ダイレクト送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
	受信中は...	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
	コピー中は... リストプリント中は...	プリントが途中で止まります。
	原稿の読み取り中は...	読み取りが途中で停止します。停電が復旧しても、読み取りは再開しません。復旧後は ストップ キーを押して原稿を排出してください。
停電中	電話をかける	受話器（本体電話機）のダイヤルキーを利用して、電話をかけることができます。保留はできません。
	電話を受ける	受話器（本体電話機）で、電話を受けることができます。保留はできません。 ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、特別な操作を行う必要があります。 【PBダイヤルインをご契約の場合】 ①呼び出しベルが2回鳴るまでに受話器（本体電話機）を上げる。 ②プッシュ信号「ピッポッパッ」という発信音を聞く。 ③発信音の後、2秒以内に受話器（本体電話機）を元に戻す。 ④もう一度、受話器（本体電話機）を上げると通話できる。 【モデムダイヤルインまたはナンバー・ディスプレイをご契約の場合】 ①短い間隔の呼び出しベルが鳴り終わるまで待つ。約6秒（ベル音約7回） ②呼び出しベルの間隔が長くなったときに受話器（本体電話機）を上げると通話できる。 ＊①の呼び出しベルで受話器（本体電話機）を上げた場合、「ピーガー」という発信音を聞いたら直ぐに受話器を元に戻してください。その後、再び呼び出しベルが鳴りますので、受話器を上げると通話できます。
	ファクス送信	送信できません。
	ファクスの受信	受信できません。

メモリバックアップ

- メモリに蓄積された画像データは、停電や電源をOFFにしたときでも、約50時間保持されます。ただし、あらかじめ24時間連続して通電されている必要があります。

消去通知

- メモリに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。
- 下記は、代行受信文書が消去された場合の消去通知例です。このほか「親展受信消去通知」「通信予約消去通知」「ポーリング原稿消去通知」「Fコードボックス原稿消去通知」がプリントされる場合があります。

（プリント例）

ABC商事㈱　Fax:123-456-7890

代行受信消去通知

P.1

通番	相手先名	モード	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
1	2	3	4	5	6	7	8	9
001	ｷﾖｳﾄｼﾃﾝ	標準	14,12:38	0'29"	1	0000	* O K	

代行受信原稿が消去されました。. . . . . .

1. 通番
通信の番号です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
（3）相手先の自局名
（4）相手先の自局ID
（5）空白

3. モード
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所用時間です。

6. 枚数
通信した枚数です。

7. 部門
部門管理を設定しているときに、部門番号が記録されます。

8. 結果
通信結果です。
- ・OK ………… 正常終了しました。
- ・* …………… ECMモードで通信しました。
- ・# …………… スーパーG3で通信しました。
- ・エラーコード　異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては184ページ参照）

9. 備考
- ・親　　展 …… 親展送信、親展受信です。
- ・ポーリング … ポーリング受信です。
- ・手　　動 …… 手動送信です。
- ・検索ポー …… 検索ポーリングです。
- ・F ポー ……… Fコードポーリングです。
- ・F 親展 ……… Fコード親展受信です。
- ・F 中継 ……… Fコード中継受信です。
- ・F 掲示板 …… Fコード掲示板受信です。

6 故障かなと思ったら

故障かなと思ったときにお読みください。万一ここで書かれた処置を行っても異常が直らない場合には当社のサービス取扱所にご連絡ください。

こんなときは	原因／チェック項目	処　　　理	参照ページ
動作しない ・ディスプレイに何も示されない ・パネルのキーを押しても受け付けない ・原稿が自動的に引き込まれない	1. 電源コードはしっかりと差し込んでありますか。	▶ 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	16
	2. 電源スイッチは ON になっていますか。	▶ 電源スイッチを ON にしてください。	11
ダイヤルできない	1. 電話機ひもが本商品と電話回線に正しく接続されていますか。	▶ 正しく接続してください。	17
	2. 電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	22
ダイヤルしても送信できない	1. 電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	22
	2. 原稿は正しくセットされていますか。	▶ 正しくセットしてください。	32
	3. 相手機に記録紙がセットされていますか。	▶ 相手に記録紙をセットするよう連絡をしてください。	
	4. 電話番号が間違っていませんか。またワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録してある電話番号が間違っていませんか。	▶ 正しい電話番号をダイヤル、もしくは登録しなおしてください。	
	5. 本商品が自動リダイヤルをしたにも関わらず、相手が応答しなかったのではないのですか。	▶ もう一度はじめからやりなおしてください。	
電源は入るが送信できない	1. 送信の手順をまちがえていませんか。	▶ もう一度、送信の手順を確認してからやりなおしてください。	
	2. 電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	22
	3. 相手先のファクスにトラブルが発生したかもしれません。以下のことを確認してください。 ① 相手先のファクス切り替えが正常に行われていますか？	▶ 手動で相手先のファクス番号にかけ、ファクスに切り替わるかどうかを確認してください。相手先のファクスが作動しなかった場合、相手先に以下の②～④の項目を確認してください。	42

こんなときは	原因／チェック項目	処　　理	参照ページ
電源は入るが送信できない	② 相手先のファクスの電源は入っていますか？	▶ 電源を入れてもらってください。	
	③ 相手先のファクスが自動受信になっていますか？	▶ 自動受信にしてもらってください。	
	④ 相手先のファクスの記録紙がなくなっていませんか？	▶ 記録紙を補給してもらってください。	
原稿が連続して送信されない	1. 原稿を正しくセットしていますか。	▶ 原稿をそろえ正しくセットしてください。	32
	2. セットした原稿の中に最小幅（120 mm）より狭い幅の原稿がセットされていませんか。	▶ 最小幅より狭い原稿はキャリアシートに入れ、残りの原稿とは別に送信してください。	34
	3. キャリアシートが原稿に混ざっていませんか。	▶ キャリアシートを使うと原稿分離が不十分になりやすいので、1 枚ずつ送信してください。	33
手動送信できない	受話器を置いた後で スタート キーを押したのではないですか。	▶ 受話器を置く前に スタート キーを押してください。もう一度はじめからやりなおしてください。	42
メモリ送信のとき原稿が読み込まれない	1. 原稿は正しくセットされていますか。	▶ 正しく原稿をセットしてください	32
	2. メモリがいっぱいではありませんか。	▶ メモリ容量を確認してください。	35
親展送信できない	1. 相手機に親展受信機能はありますか。	▶ 相手機が親展受信機能をもっていなければ、親展送信はできません。	101
	2. 相手機にも親展セットされていますか。	▶ 相手機で親展セットしていただいてください。	102
自動受信しない	1. 液晶表示にカレンダーが表示されていますか。	▶ 表示されていないときは、電源スイッチを入れてください。	11
	2. 自動受信モードになっていますか。	▶ 自動受信ランプが点灯していないときは 自動受信 キーを押して点灯させてください。	52
	3. メモリがいっぱいではありませんか。	▶ メモリ容量を確認してください。	35
手動受信できない	受話器を置いた後で スタート キーを押したのではないですか。	▶ 受話器を置く前に スタート キーを押してください。	58
ポーリング受信ができずにチェックメッセージがプリントされる	1. パスコードが相手機と一致していますか。	▶ パスコードを一致させて、交信しなおしてください。	97
	2. 相手先がポーリング原稿を登録していますか。	▶ 相手先にポーリング原稿の登録を依頼してください。	
受信画像がうすい	1. 原稿の画像がうすい。（鉛筆書きの原稿など）	▶ 相手先に原稿を濃くしてもらうか、濃度調整を依頼してください。	

こんなときは	原因／チェック項目	処　　理	参照ページ
受信画像がうすい	2. 原稿の色が黄色や緑色などである。	▶ 相手先に原稿の色を黒系統に変えていただくように依頼してください。（コピーをとられることをおすすめします。）	
	3. 当社指定以外の記録紙を使っていませんか。	▶ 当社指定の記録紙をご使用ください。	212
受信画像が濃い	1. 原稿の地色が濃い。	▶ 相手先の原稿を確認して、原稿の地色部と画像にコントラスト（明暗）をつけてもらうか、濃度調整を依頼してください。	
	2. 当社指定以外の記録紙を使っていませんか。	▶ 当社指定の記録紙をご使用ください。	212
受信画像が何も写らない	送信側で原稿を表裏逆に送っていませんか。	▶ 相手先に表裏を確認して、もう一度送信を依頼してください。	
受信画像が真っ黒である		▶ 当社のサービス取扱所にご連絡ください。	裏表紙
画像にムラ（乱れ）がある	相手の送信のしかたに問題があるのではないですか。	▶ 本商品でコピーをしてみてきれいにとれるようであれば、相手に電話をかけて正しく送信するように指示してください。	
記録紙が出てこない	記録紙がつまっていませんか。（「キロクシ　ヲ　トリノゾイテクダサイ」が表示されていますか）	▶ エラーメッセージを確認の上、つまっていれば取り除いてください。	183
原稿が出てこない	原稿がつまっていませんか。	▶ つまった原稿を取り出し、再セットしてください。	180
コピーをしても記録紙が何も印字されない	原稿を裏表逆にセットしているのではないですか。	▶ 正しく原稿をセットしてください。	32
時計データやワンタッチダイヤル等の登録内容が消えてしまう	長時間電源を切ったままにしたり、日常電源を切って使用することをしていませんでしたか。	▶ 登録内容を保持しているバッテリの寿命がきたことが考えられます。当社のサービス取扱所にご連絡ください。	
電話が通じない（電話機を上げても発信音「ツー」が聞こえない）	1. 通信中ではありませんか。（ディスプレイの表示を確認してください。）	▶ 通信終了までお待ちください。	
	2. 電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	22
トップカバーが閉まらない	カバーの片方を押していませんか	▶ 両端を押して閉めてください。	

第6章
付録

もくじ

1 文字一覧表

発信元名やメッセージ送信の登録で漢字コード入力する場合や、相手先名などでコード入力する場合、登録する文字の文字コードが必要となります。
ここでは、漢字コードの入力、コード入力、またローマ字の入力のしかた等を表にして記載しています。
コード入力やローマ字の入力のしかたがわからないときは、この文字対応表を参照してください。

文字コードの探しかた

ここでは、例として宛先の「宛」の文字の文字コードを探すときについて説明します。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
あ	302		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	303	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	304	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						

「宛」の左にある①欄の数字／記号に、上にある②欄の数字を組み合わせたものが、「宛」の文字コード番号になります。

3 0 3 8
①（303）②（8）

コード入力文字対応表

コードキーを押して入力します。
実際にディスプレイに表示、または用紙にプリントされる文字／記号は、ここに記載してある文字／記号とは若干形状が異なります。

半角文字コード表

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記号・英／数字・カタカナ	2	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
	3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
	4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
	6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	→	←
	8																
	9																
	A	SP	｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
	B	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
	C	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
	D	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

漢字コード入力文字対応表

発信元名登録、メッセージ登録のときに入力できます。
実際にディスプレイに表示、または用紙にプリントされる文字／記号は、ここに記載してある文字／記号とは若干形状が異なります。

全角文字コード表

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記号	212		SP	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
	213	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
	214	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
	215	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
	216	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	217	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	222		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
英／数字	233	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	234		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	235	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
	236		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	237	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ひらがな	242		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
	243	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
	244	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
	245	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
	246	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	247	ゐ	ゑ	を	ん												
カタカナ	252		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
	253	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
	254	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	255	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
	256	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	257	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
ギリシャ文字	262		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
	263	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
	264		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
	265	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
ロシア文字	272		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
	273	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
	274	Ю	Я														
	275		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
	276	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	277	ю	я														

漢字文字コード表／読み対応表

補足：表中のかなの文字コードについては、ひらがな／カタカナの文字コード表を参照してください。

	②／①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
あ	302		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	303	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	304	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						
い	304											以	伊	位	依	偉	囲
	305	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	306	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	307	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	312		院	陰	隠	韻	吋										
う	312							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
	313	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
	314	雲															
え	314		荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	315	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
	316	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	317	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩									
お	317								於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
	322		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
	323	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音				
か	323													下	化	仮	何
	324	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	325	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	326	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	327	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
	332		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
	333	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
	334	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
	335	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
	336	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	337	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
	342		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
	343	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
	344	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	345	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
	346	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願					

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
き	346												企	伎	危	喜	器
	347	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	352		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
	353	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
	354	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	355	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	356	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	357	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
	362		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
	363	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
	364	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
	365	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
	366	謹	近	金	吟	銀											
く	366						九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	367	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
	372		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
	373	薫	訓	群	軍	郡											
け	373						卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
	374	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
	375	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
	376	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	377	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	382		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
	383	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	384	言	諺	限													
こ	384				乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
	385	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	386	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	387	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	392		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	393	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	394	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	395	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
	396	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	397	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
	3A2		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
	3A3	紺	艮	魂													
さ	3A3				些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
	3A4	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
さ	3A5	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
	3A6	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	3A7	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
	3B2		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
	3B3	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
	3B4	酸	餐	斬	暫	残											
し	3B4						仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
	3B5	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
	3B6	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	3B7	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
	3C2		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
	3C3	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
	3C4	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
	3C5	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
	3C6	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	3C7	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
	3D2		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
	3D3	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
	3D4	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
	3D5	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D6	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D7	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E2		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
	3E3	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3E4	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3E5	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
	3E6	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3E7	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
	3F2		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3F3	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3F4	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3F5	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭						
す	3F5											笥	諏	須	酢	図	厨
	3F6	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3F7	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	
	402		澄	摺	寸												
せ	402					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	403	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	404	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
	405	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
	406	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
せ	407	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	412		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
	413	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎							
そ	413										噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
	414	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
	415	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
	416	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	417	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
	422		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	423	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
た	423															他	多
	424	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
	425	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
	426	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	427	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
	432		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	433	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
	434	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談			
ち	434														値	知	地
	435	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	436	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	437	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
	442		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	443	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
	444	沈	珍	賃	鎮	陳											
つ	444						津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
	445	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
	446	釣	鶴														
て	446			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	447	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
	452		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
	453	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
	454	点	伝	殿	澱	田	電										
と	454							兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
	455	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	456	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	457	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
	462		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働

第6章 付録

	② ①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
と	463	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
	464	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
	465	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
な	466	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	467	軟	難	汝													
に	467				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
	472		如	尿	韮	任	妊	忍	認								
ぬ	472									濡							
ね	472										禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
	473	念	捻	撚	燃	粘											
の	473						乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
	474	農	覗	蚤													
は	474				巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
	475	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	476	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	477	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	
	482		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
	483	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
	484	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
	485	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮					
ひ	485												匪	卑	否	妃	庇
	486	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	487	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
	492		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
	493	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
	494	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
	495	賓	頻	敏	瓶												
ふ	495					不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
	496	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	497	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
	4A2		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4A3	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞						
へ	4A3											丙	併	兵	塀	幣	平
	4A4	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
	4A5	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭			

	① ＼ ②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ほ	4A5														保	舗	鋪
	4A6	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4A7	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4B2		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
	4B3	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4B4	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
	4B5	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
ま	4B6	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4B7	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	
	4C2		漫	蔓													
み	4C2				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
	4C3	粍	民	眠													
む	4C3				務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘			
め	4C3														冥	名	命
	4C4	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺		
も	4C4															摸	模
	4C5	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
	4C6	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁							
や	4C6										也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4C7	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓					
ゆ	4C7												愉	愈	油	癒	
	4D2		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4D3	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕			
よ	4D3														予	余	与
	4D4	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
	4D5	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
	4D6	沃	浴	翌	翼	淀											
ら	4D6						羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4D7	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧								
り	4D7									利	吏	履	李	梨	理	璃	
	4E2		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
	4E3	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
	4E4	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力

	② ①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
り	4E5	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟				
る	4E5													瑠	塁	涙	累
	4E6	類															
れ	4E6		令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4E7	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4F2		蓮	連	錬												
ろ	4F2					呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
	4F3	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
	4F4	論															
わ	4F4		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
	4F5	椀	湾	碗	腕												

第二水準対応漢字一覧

コード	漢字
5047	佛
5464	壺
565E	巖
5722	廣
5B58	檜
5B6A	條
5F37	澤
6326	礒
6446	籠
6471	糀
6549	緝
6646	翔
666A	肛
685F	萬
687A	蓼
6B7A	證
6D52	輌
6E67	鈑
6F2A	鍼
6F45	鐵
7057	靭
7073	頌
723F	鮨
734F	麸
7A7C	熚
2D6A	㈱
2D6B	㈲

ローマ字変換表

ア行	ア	A	イ	I	ウ	U	エ	E	オ	O
	ァ	XA	ィ	XI	ゥ	XU	ェ	XE	ォ	XO
		LA		LI		LU		LE		LO
	ウァ	WHA	ウィ	WHI	ウ	WHU	ウェ	WHE	ウォ	WHO
カ行	カ	KA	キ	KI	ク	KU	ケ	KE	コ	KO
		CA				CU				CO
	キャ	KYA	キィ	KYI	キュ	KYU	キェ	KYE	キョ	KYO
	クァ	QWA	クィ	QWI	クゥ	QWU	クェ	QWE	クォ	QWO
		QA		QI	ク	QU		QE		QO
	クャ	QYA		QYI	クュ	QYU		QYE	クョ	QYO
サ行	サ	SA	シ	SI	ス	SU	セ	SE	ソ	SO
				CI				CE		
	シャ	SYA	シィ	SYI	シュ	SYU	シェ	SYE	ショ	SYO
		SHA	シ	SHI		SHU		SHE		SHO
	スァ	SWA	スィ	SWI	スゥ	SWU	スェ	SWE	スォ	SWO
タ行	タ	TA	チ	TI	ツ	TU	テ	TE	ト	TO
				CHI		TSU				
					ッ	XTU				
						LTU				
	チャ	TYA	チィ	TYI	チュ	TYU	チェ	TYE	チョ	TYO
		CYA		CYI		CYU		CYE		CYO
		CHA				CHU		CHE		CHO
	ツァ	TSA	ツィ	TSI			ツェ	TSE	ツォ	TSO
	テャ	THA	ティ	THI	テュ	THU	テェ	THE	テョ	THO
	トァ	TWA	トィ	TWI	トゥ	TWU	トェ	TWE	トォ	TWO
ナ行	ナ	NA	ニ	NI	ヌ	NU	ネ	NE	ノ	NO
	ニャ	NYA	ニィ	NYI	ニュ	NYU	ニェ	NYE	ニョ	NYO
ハ行	ハ	HA	ヒ	HI	フ	HU	ヘ	HE	ホ	HO
						FU				
	ヒャ	HYA	ヒィ	HYI	ヒュ	HYU	ヒェ	HYE	ヒョ	HYO
	ファ	FWA	フィ	FWI	フゥ	FWU	フェ	FWE	フォ	FWO
		FA		FI				FE		FO
	フャ	FYA		FYI	フュ	FYU		FYE	フョ	FYO
マ行	マ	MA	ミ	MI	ム	MU	メ	ME	モ	MO
	ミャ	MYA	ミィ	MYI	ミュ	MYU	ミェ	MYE	ミョ	MYO

ヤ行	ヤ	YA	イ	YI	ユ	YU	イェ	YE	ヨ	YO
	ャ	XYA	ィ	XYI	ュ	XYU	ェ	XYE	ョ	XYO
		LYA		LYI		LYU		LYE		LYO
ラ行	ラ	RA	リ	RI	ル	RU	レ	RE	ロ	RO
	リャ	RYA	リィ	RYI	リュ	RYU	リェ	RYE	リョ	RYO
ワ行	ワ	WA	ウィ	WI	ウ	WU	ウェ	WE	ヲ	WO
ン	ン	NN								
		XN								
ガ行	ガ	GA	ギ	GI	グ	GU	ゲ	GE	ゴ	GO
	ギャ	GYA	ギィ	GYI	ギュ	GYU	ギェ	GYE	ギョ	GYO
	グァ	GWA	グィ	GWI	グゥ	GWU	グェ	GWE	グォ	GWO
ザ行	ザ	ZA	ジ	ZI	ズ	ZU	ゼ	ZE	ゾ	ZO
				JI						
	ジャ	ZYA	ジィ	ZYI	ジュ	ZYU	ジェ	ZYE	ジョ	ZYO
		JYA		JYI		JYU		JYE		JYO
		JA				JU		JE		JO
ダ行	ダ	DA	ヂ	DI	ヅ	DU	デ	DE	ド	DO
	ヂャ	DYA	ヂィ	DYI	ヂュ	DYU	ヂェ	DYE	ヂョ	DYO
	デャ	DHA	ディ	DHI	デュ	DHU	デェ	DHE	デョ	DHO
	ドァ	DWA	ドィ	DWI	ドゥ	DWU	ドェ	DWE	ドォ	DWO
バ行	バ	BA	ビ	BI	ブ	BU	ベ	BE	ボ	BO
	ビャ	BYA	ビィ	BYI	ビュ	BYU	ビェ	BYE	ビョ	BYO
パ行	パ	PA	ピ	PI	プ	PU	ペ	PE	ポ	PO
	ピャ	PYA	ピィ	PYI	ピュ	PYU	ピェ	PYE	ピョ	PYO
ヴァ行	ヴァ	VA	ヴィ	VI	ヴ	VU	ヴェ	VE	ヴォ	VO
	ヴャ	VYA	ヴィ	VYI	ヴュ	VYU	ヴェ	VYE	ヴョ	VYO
ッ	・後ろに子音を2つ続けます。「例」ダッタ…DATTA ・XTU,LTU…単独で入力するとき									

第6章 付録

文字コード入力例

467C	4B5C
日	本

4B4C	3324	463B
北	海	道

4B5C	3D23
本	州

3B4D	3971
四	国

3665	3D23
九	州

3458	456C
関	東

3458	403E
関	西

3661	3526
近	畿

4366	3971
中	国

4044	3F39
青	森

3464	3C6A
岩	手

355C	3E6B
宮	城

3D29	4544
秋	田

3B33	3741
山	形

4A21	4567
福	島

3071	3E6B
茨	城

464A	4C5A
栃	木

3732	474F
群	馬

3A6B	364C
埼	玉

4069	4D55
千	葉

456C	357E
東	京

3F40	4660	406E
神	奈	川

3B33	4D7C
山	梨

3F37	3363
新	潟

4439	4C6E
長	野

4959	3B33
富	山

4050	406E
石	川

4A21	3066
福	井

3474	496C
岐	阜

4045	322C
静	岡

3026	434E
愛	知

3B30	3D45
三	重

3C22	326C
滋	賀

4267	3A65
大	阪

357E	4554
京	都

4A3C	384B
兵	庫

4F42	324E	3B33
和	歌	山

4660	4E49
奈	良

443B	3C68
鳥	取

4567	3A2C
島	根

322C	3B33
岡	山

392D	4567
広	島

3B33	387D
山	口

4641	4567
徳	島

3961	406E
香	川

3026	4932
愛	媛

3962	434E
高	知

4A21	322C
福	岡

3A34	326C
佐	賀

4439	3A6A
長	崎

3727	4B5C
熊	本

4267	4A2C
大	分

355C	3A6A
宮	崎

3C2F	3B79	4567
鹿	児	島

322D	466C
沖	縄

3B25	4B5A
札	幌

4067	4266
仙	台

3223	494D
横	浜

4C3E	3845	3230
名	古	屋

3F40	384D
神	戸

4554
都

495C
府

3829
県

3B54
市

442E
町

423C
村

3668
区

456C
東

403E
西

466E
南

4B4C
北

4A3F	402E
平	成

472F
年

376E
月

467C
日

3861	4130
午	前

3861	3865
午	後

3B7E
時

4A2C
分

4943
秒

3374	3C30	3271	3C52
株	式	会	社

4B5C	3C52
本	社

3B59	4539
支	店

3144	3648	3D6A
営	業	所

3D50	4425	3D6A
出	張	所

3E26	3B76
商	事

4974
部

325D
課

3738
係

3E4A
省

3649
局

3C3C
室

4B5C	4974
本	部

3B76	3648	4974
事	業	部

3C52	4439
社	長

3E6F	4C33
常	務

3C21	4439
次	長

4542
殿

4D4D
様

486B	3D71
秘	書

416D	4C33
総	務

3750	4D7D
経	理

3449	4D7D
管	理

332B	482F
開	発

482F	3F2E
発	信

3C75	3F2E
受	信

3971	3A5D
国	際

3324	3330
海	外

323C	352D
下	記

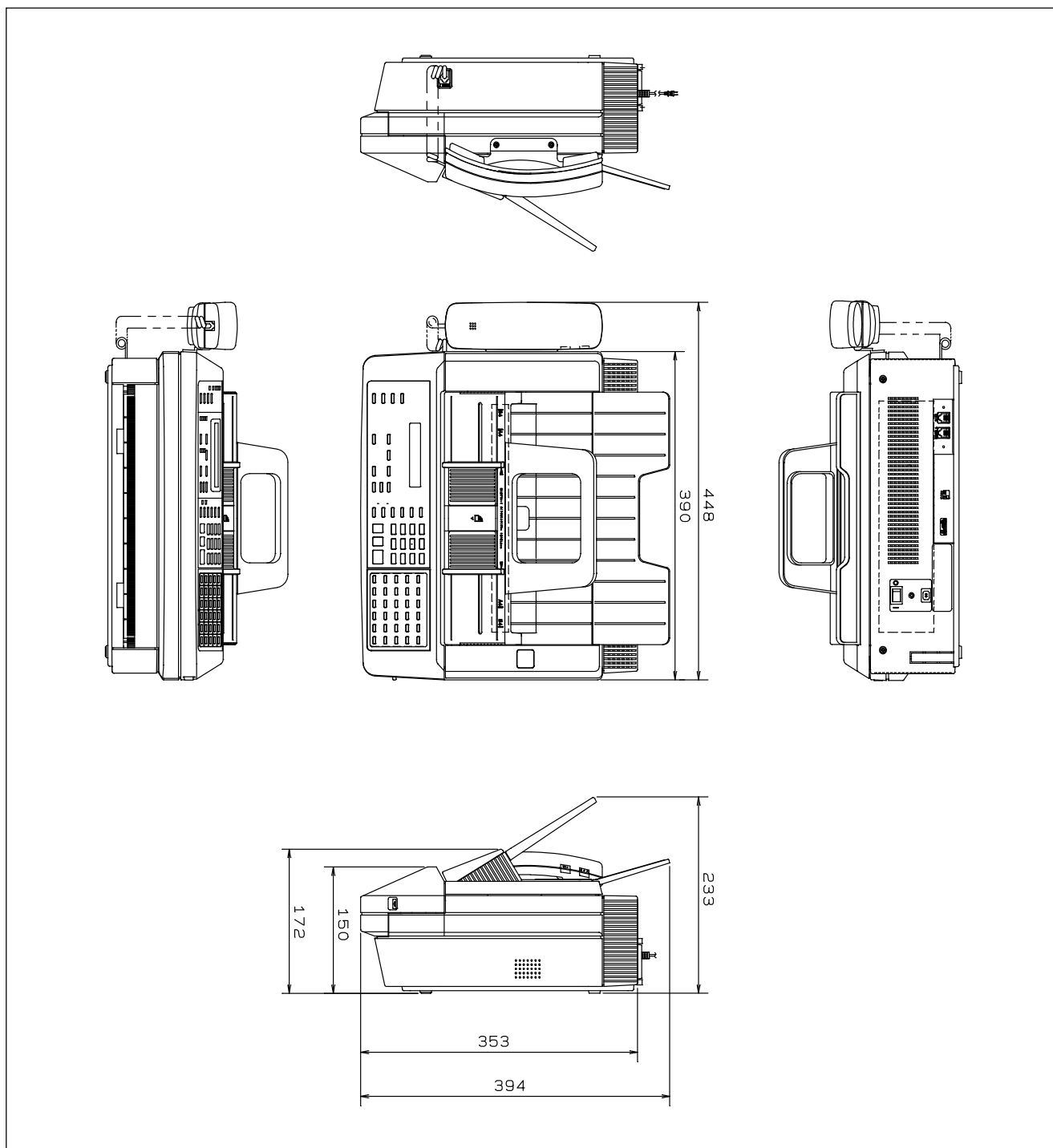
3374
株

4D2D
有

2 主な仕様

仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

	NTTFAX　T-340
形　　　　　式	卓上型、送受信兼用
原　　　　　稿	サイズ　　　　　幅　：120～280 mm　長さ：100～900 mm 最大セット枚数　　30枚
記　　録　　紙	感熱記録紙　　　　　：B4/A4（257mm/216mm幅）×100mロール1インチ紙管 普通紙ライク感熱記録紙：B4/A4（257mm/216mm幅）×80mロール1インチ紙管
走 査 線 密 度	超高画質モード：主走査　8 画素/mm×副走査 15.4 本/mm　＊1 高画質モード　：主走査　8 画素/mm×副走査　7.7 本/mm　＊1 標準モード　　：主走査　8 画素/mm×副走査　3.85 本/mm
通　信　速　度＊2	33600,31200,28800,26400,24000,21600,19200,16800,14400,12000, 9600,7200,4800,2400bit/s（自動切替）
走　査　方　式	送信部：CCDイメージセンサーによる固体電子平面走査 受信部：サーマルヘッドによる固体走査
記　録　方　式	感熱記録方式
適　用　回　線	加入電話回線（ファクシミリ通信網を含む）NCC回線
電　送　速　度＊3	2秒台（33.6Kbit/s）／3秒台（28.8Kbit/s）
符 号 化 方 式	MH/MR/MMR/JBIG/MSE（独自）
画像メモリ容量	3.2 MB（バッテリーにより、約50時間のメモリバックアップ可）＊4
電　　　　　源	AC100±10 V、50 Hz/60 Hz共用
消　費　電　力	待機時　　　　：9.4 W 送信時　　　　：56 W 受信時　　　　：68 W コピー時　　　：94 W 最大時　　　　：360 W
電　　流　　値	4.2 A
直 流 抵 抗 値	290.7Ω
質　　　　　量	本体：8.2 kg（付属品を除く）受話器（本体電話機）：0.25 kg
外　形　寸　法	幅 390×奥行き 353×高さ 172 mm （突起部分は含みません）
環　境　条　件	動作温度：5～35 ℃ 動作湿度：10～80 %

＊1　該当モードを持たない装置とは交信できません。
＊2　一般の電話回線での通信速度は、回線の条件・状況等によって33600bit/sの速度以下になる場合もあります。
＊3　A4判700字程度の原稿を、標準的画質（8×3.85 本/mm）、スーパーG3モード（ITU-T V.34準拠、33600bit/s：2秒台／28800bit/s：3秒台）で送ったときの時間です。画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。G3機との通信(同じ原稿を14.4Kbit/sで送ったとき）では6秒台になります。
＊4　あらかじめ24時間以上通電されている必要があります。

●このモデルは日本仕様の認可機です。日本国内でのみ設置できます。（日本から海外のファクシミリとの国際電話による交信もできます。）
This facsimile machine is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

デュアルアクセスについて

デュアルアクセスとは、1つの作業をしているときに別の作業を同時にさせることのできる機能のことです。この機能により、送信やプリントをしているときに別の送信やコピーの指示をすることができます。並行させることのできる動作は下表を参照してください。

○…できる　　×…できない

作業中の動作＼同時に行う動作	コピー	原稿蓄積	蓄積原稿プリント	リストプリント	ダイレクト送信	メモリ送信	受信
コピー	×	×	×	×	×	○	○
原稿蓄積	×	×	○	○	×	○	○
蓄積原稿プリント	×	○	×	×	○	○	○
リストプリント	×	○	×	×	○	○	○
ダイレクト送信	×	×	○	○	×	×	×
メモリ送信	○	○	○	○	×	×	×
受信	○	○	○	○	×	×	×

3 消耗品・別売品について

消耗品について

本商品には、以下の消耗品が用意されています。これらは、機械に最も適した規格で作られているため、必ず以下のものを使用してください。

消耗品	梱包形態
感熱記録紙（6本セットで販売しています。）	100m 1インチ 外径93mm：A4×6本
	100m 1インチ 外径93mm：B4×6本
普通紙ライク感熱記録紙（6本セットで販売しています。） ＊普通紙のような少し厚手の感熱記録紙です。	80m 1インチ 外径91mm：A4×6本
	80m 1インチ 外径91mm：B4×6本

＊同梱内容・形態は予告なく変更することがあります。

別売品について

別売品のご購入に関しては、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●**済スタンプ**　※済スタンプ3個、交換用ピン1個

●**キャリアシート　B4用　A4用**
　※紙厚が薄い原稿やカールした原稿を送信・コピーするときに使用します。

●**ドキュメントトラック**
　※排出された原稿をためることができます。

ワンポイント

●上記以外の消耗品・別売品を使用して発生したトラブルについて、修理を依頼されますと保証期間内であっても有償になることがあります。
●消耗品は以下のような場所を避けて保管してください。
　・高温多湿の場所　・火気のある場所　・直射日光の当たる場所　・ほこりの多い場所
●消耗品はご使用になるまで包装された状態で保管してください。

4 さくいん

環境基準ラベル「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>

- ●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- ●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制すると共に物質名・量を管理します。
- ●酸性雨で地中に溶け出して人体に営業がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- ●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるＰＶＣ（ポリ塩化ビニル）、非デカプロ系難燃剤以外のハロゲン系の難燃剤の製品への使用を抑制します。
- ●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- ●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質などの含有禁止物質を含まないものを使用します。

<リサイクルしやすい設計>

- ●製品のリサイクル可能率70%を以上とします。
- ●リサイクルを容易にするために、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

<環境に配慮した梱包材>

- ●発泡スチロールの使用量を削減します。

<省エネルギー>

- ●省エネルギーを考慮した設計を行います。
- ●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本商品はダイナミックエコマーク認定商品です。

使い方等でご不明の点がございましたら、 NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■ NTT東日本エリア(新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以東の各都道県)でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-970413

■ NTT西日本エリア(富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県)でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

この取扱説明書は、R100マーク認定の再生紙及び大豆油インクを使用しています。

本2360-5（2005.03）
G3-＜40＞＜T340＞-FAXﾄﾘｾﾂ
D86-90090-65